

原子力発電所周辺環境放射能測定結果

(平成27年度 第3四半期)

福 島 県

目 次

測定結果の概要

1 空間放射線	
(1) 空間線量率	1
(2) 空間積算線量	2
2 環境試料	
(1) 大気浮遊じん	2
(2) 環境試料の核種濃度	3

測定結果

1 測定項目	10
2 測定方法	11
3 測定結果	
(1) 空間放射線	16
(2) 環境試料	23
4 比較対照地点の測定結果	
(1) 空間線量率	40
(2) 環境試料	41
試料採取時の付帯データ集	45
環境試料放射能測定方法詳細一覧表	46

必要に応じて、福島県原子力安全対策課のホームページに掲載している原子力用語集をご活用下さい。

○URL

http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=33709

○または、
福島県原子力安全対策課トップページ → 参考資料 → 原子力用語集

この報告書は、平成28年2月9日に開催された「福島県原子力発電所の廃炉に関する安全監視協議会 環境モニタリング評価部会」において、平成27年度第3四半期（平成27年10月～平成27年12月）の調査結果について検討された内容を取りまとめたものです。

平成27年度第3四半期（平成27年10月～12月）の測定結果の概要

1 空間放射線

(1) 空間線量率

36地点で空間線量率を常時測定しました。各地点の測定結果は以下のとおりです。
 詳細な測定値は16～18ページを参照。

ア 月間平均値

各測定地点における月間平均値は、東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故（以下「事故」という）の影響により、依然として事故前の月間平均値を上回っていますが、全体として年月の経過とともに減少する傾向にありました。

各地点の空間線量率の月間平均値 (単位：nGy/h)

測定地点数	今期間の各地点の月間平均値の範囲			過去の月間平均値(*1)	
	10月	11月	12月	事故後	事故前
36	61～13,507	59～12,859	57～12,774	54～176,000	33～54

(注) *1 「過去の月間平均値」の範囲は、

事故前：平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。ただし、測定地点を変更した双葉町郡山、富岡町上郡山、楢葉町繁岡はそれぞれ平成16年度、21年度、22年度からの範囲。

事故後：平成22年度第4四半期（平成23年3月11日）から平成27年度第2四半期まで。

イ 1時間値の変動状況

空間線量率の1時間値は、降雨によりおよそ300nGy/h以下の低線量地域では一時的に上昇し、およそ300nGy/hを超える高線量地域では一時的に低下するという変動が見られます。

また、浜通り沿岸部で11月18日の降雨時に通常よりやや大きな空間線量率の変動が観測されましたが、各モニタリングポストのガンマ線スペクトルを解析した結果、天然放射性核種の影響であることを確認しています。

各地点の空間線量率の最大値(1時間値)(*1) (単位：nGy/h)

測定地点数	今期間の各地点の月間最大値の範囲			過去の月間最大値(*2)	
	10月	11月	12月	事故後	事故前
36	69～13,797	73～13,655	67～12,987	65～1,591,000	85～157

(注) *1 最大値が、最小の測定地点～最大の測定地点の値を示している。

*2 「過去の月間最大値」の範囲は、上記月間平均値に記載した(注)*1に同じ。

(2) 空間積算線量

64地点で蛍光ガラス線量計（RPLD）により空気中の放射線量を測定しました。詳細な測定値は19～22ページを参照。

90日換算値は、事故の影響により事故前の測定値の範囲を上回っていますが、年月の経過とともに減少する傾向にありました。

空間積算線量の90日換算値 (mGy/90日)

測定地点数	積算線量 (平成27年10月15日 ～平成28年1月21日)	前回の測定値(*1) (平成27年7月16日～ 平成27年10月15日)	過去の測定値(*2)	
			事故後	事故前
64	0.17～31	0.18～35	0.17～137.79	0.10～0.14

(注) *1 平成27年度第2四半期の値。

*2 「過去の測定値」の範囲は、

事故前：事故前から測定していた20地点における平成15年度第1四半期から平成22年度第3四半期までの値。

事故後：平成22年度第4四半期から平成27年度第2四半期までの値。

地点数の経過：平成22年度第4四半期から平成23年度 15地点

平成24年度 17地点

平成25年度第1四半期 20地点

平成25年度第2四半期 35地点

平成25年度第3四半期 64地点（うち17地点は期間途中での設置）

2 環境試料

(1) 大気浮遊じん

14地点で大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能の連続測定を実施しました。詳細な測定値は23～24ページを参照。

ア 月間平均値

全アルファ放射能及び全ベータ放射能の月間平均値は、いずれも事故前の月間平均値と同程度でした。

各地点の大気浮遊じんの月間平均値 (単位：Bq/m³)

項目	測定 地点数	各地点の月間平均値の範囲			過去の月間平均値(*1)	
		10月	11月	12月	事故後	事故前
全アルファ 放射能	14	0.008～ 0.069	0.009～ 0.055	0.011～ 0.049	0.004～0.088	0.007～0.076
全ベータ 放射能		0.024～ 0.12	0.026～ 0.081	0.027～ 0.071		

(注) *1 「過去の月間平均値」の範囲は、

事故前：事故前から測定している5地点（檜葉町繁岡、富岡町富岡、大熊町大野、大熊町夫沢、双葉町郡山）における機器変更後の平成13年9月から平成23年3月10日まで。

事故後：平成22年度第4四半期（平成23年3月11日）から平成27年度第2四半期まで。

ただし、檜葉町繁岡、富岡町富岡、大熊町大野の3地点は平成23年度第1四半期から、双葉町郡山は平成23年度第2四半期から、大熊町夫沢と平成26年度に追加した8地点は平成26年度第1四半期から、浪江町幾世橋は平成27年度第1四半期から開始。

イ 変動状況

全アルファ放射能及び全ベータ放射能の最大値は、事故前の最大値を下回りました。
 なお、各地点の最大値の出現は、巻末のグラフ集(51～57ページ)の全アルファ・全ベータ放射能の相関図に示したとおり良い相関が見られたことから、自然放射能レベルの変動によるものと考えられます。

各地点の大気浮遊じんの最大値 (単位：Bq/m³)

項目	測定地点数	各地点の最大値の範囲			過去の最大値(*1)	
		10月	11月	12月	事故後	事故前
全アルファ放射能	14	0.026～ 0.29	0.030～ 0.28	0.030～ 0.23	0.35	0.58
全ベータ放射能		0.053～ 0.34	0.058～ 0.33	0.058～ 0.27	52	0.78

(注) *1 「過去の最大値」の範囲は、上記月間平均値に記載した(注) *1に同じ。

(2) 環境試料の核種濃度

ア ガンマ線放出核種

今期間に測定した環境試料は、大気浮遊じんが36地点238試料、降下物が17地点51試料、陸土が15地点15試料、上水が11地点11試料、海水が8地点20試料、海底沈積物が8地点8試料、松葉が15地点15試料の7品目で合計358試料でした。詳細な測定値は25～39ページを参照。

上水を除く6品目の97試料からセシウム-134が、全7品目の205試料からセシウム-137が検出され、事故の影響により多くの試料で事故前の測定値の範囲を上回りましたが、概ね横ばいか減少傾向にあります。なお、上水の一部からセシウム-137が検出されておりますが、摂取基準である10Bq/kg(10Bq/L)を大きく下回っています。

環境試料のガンマ線放出核種濃度

試料名	試料数	ガンマ線放出核種	単位	測定値	過去の測定値(*1)	
					事故後	事故前
大気浮遊じん	69	セシウム-134	mBq/m ³	ND～0.15	ND～1,100	ND
		セシウム-137		ND～0.66	ND～990	ND
大気浮遊じん(強化*2)	169	セシウム-134		ND～0.22	ND～0.14	—
		セシウム-137		ND～0.97	ND～0.46	—
降下物	51	セシウム-134	Bq/m ² (MBq/km ²)	ND～110	ND～5,000,000	ND
		セシウム-137		ND～480	ND～5,600,000	ND～0.15
陸土	15	セシウム-134	Bq/kg湿	4.9～ 48,000	10～ 230,000	ND
		セシウム-137		29～ 230,000	32～ 310,000	ND～16
		コバルト-60		ND	ND～1.9	ND
上水	11 (*3)	セシウム-134	Bq/ℓ	ND	ND～0.17	ND
		セシウム-137		ND～0.070	ND～0.29	ND
海水	20	セシウム-134	Bq/ℓ	ND～0.10	ND～2.4	ND
		セシウム-137		ND～0.46	ND～5.0	ND～0.003

試料名	試料数	ガンマ線放出核種	単位	測定値	過去の測定値(*1)	
					事故後	事故前
海底沈積物	8	セシウム-134	Bq/kg乾	12～130	7.6～450	ND
		セシウム-137		55～570	28～970	ND～0.97
		マンガン-54		ND	ND～1.3	ND
		コバルト-60		ND	ND～1.1	ND
松葉	15	セシウム-134	Bq/kg生	ND～350	ND～210,000	ND
		セシウム-137		ND～1,600	ND～230,000	ND～1.2

(注) *1 「過去の測定値」の範囲は、

事故前：平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。

事故後：平成22年度第4四半期（平成23年3月11日）から平成27年度第2四半期まで。

*2 大気モニタリングの強化として、毎週調査を実施した。「過去の測定値」の事故後の範囲は平成27年度第1四半期から第2四半期まで。

*3 事故前の採取地点である富岡町役場が水道未復旧であり、代替地点として配水系が異なる富岡南配水池で採取したため、測定値については参考値扱いとする。

イ ベータ線放出核種

上水11地点11試料、海水8地点20試料の合計31試料について、トリチウムの調査を実施しました。詳細な測定値は37～38ページを参照。

このうち、上水9地点9試料、海水4地点4試料からトリチウムが検出されましたが、事故前の測定値の範囲内でした。

海水6地点18試料、海底沈積物6地点6試料について、ストロンチウム-90の調査を実施しました。詳細な測定値は38ページを参照。

このうち、海水全試料、海底沈積物5地点5試料からストロンチウム-90が検出されており、事故直後の値と比較すると大幅に低下したものの、多くの試料で依然として事故前の測定値の範囲を上回ったまま横ばい傾向にあります。

環境試料中のベータ線放出核種濃度

試料名	試料数	ベータ線放出核種	単位	測定値	過去の測定値(*1)	
					事故後	事故前
陸土	—	ストロンチウム-90	Bq/kg乾	—	ND～81	ND～3.5
上水	11(*2)	トリチウム	Bq/l	ND～0.94	ND～0.96	ND～1.2
	—	ストロンチウム-90	Bq/l	—	ND～0.002	0.001～0.002
海水	20	トリチウム	Bq/l	ND～2.1	ND～6.2	ND～2.9
	18	ストロンチウム-90	Bq/l	0.001～0.27	0.001～2.9	ND～0.002
海底沈積物	6	ストロンチウム-90	Bq/kg乾	ND～0.57	ND～1.3	ND

(注) *1 「過去の測定値」の範囲は、

事故前：平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。

事故後：平成22年度第4四半期（平成23年3月11日）から平成27年度第2四半期まで。

*2 事故前の採取地点である富岡町役場が水道未復旧であり、代替地点として配水系が異なる富岡南配水池で採取したため、測定値については参考値扱いとする。

ウ アルファ線放出核種

今期間に採取した環境試料は、海水が6地点18試料、海底沈積物が6地点6試料でした。詳細な測定値は38ページを参照。

このうち、海水6地点9試料、海底沈積物全試料からプルトニウム-239+240が検出されましたが、事故前の測定値の範囲内でした。

環境試料中のアルファ線放出核種濃度

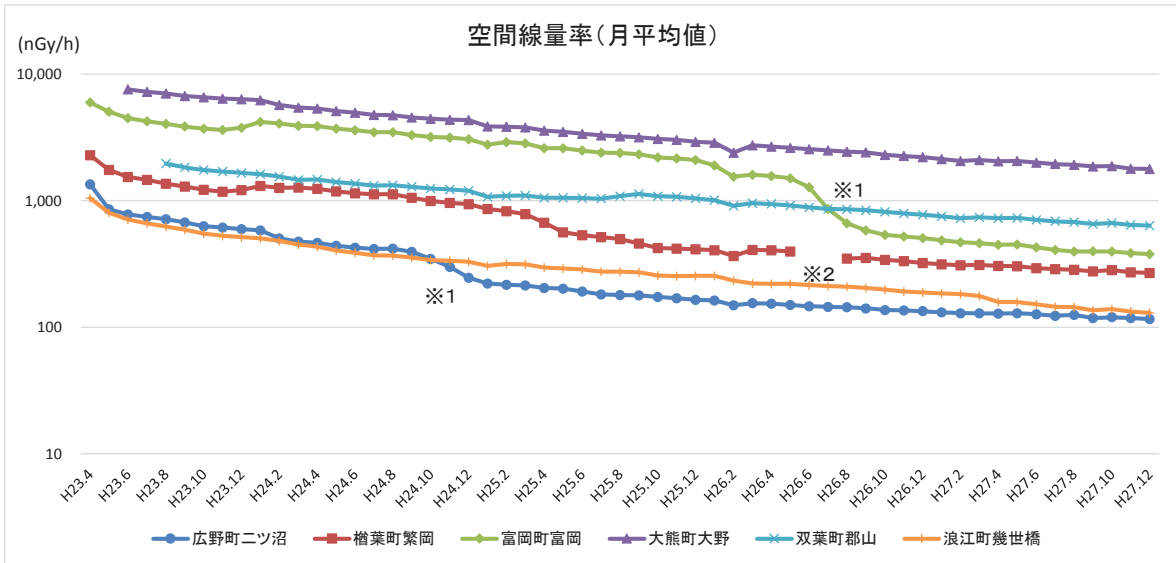
試料名	試料数	アルファ線 放出核種	単位	測定値	過去の測定値(*1)	
					事故後	事故前
陸土	-	プルトニウム-238	Bq/kg乾	-	ND~0.09	ND~0.03
		プルトニウム-239 +240		-	ND~1.4	ND~0.44
		アメリシウム-241		-	ND~0.44	-
		キュリウム-244		-	ND	-
上水	-	プルトニウム-238	mBq/l	-	ND	-
		プルトニウム-239 +240		-	ND	ND
海水	18	プルトニウム-238	mBq/l	ND	ND	-
		プルトニウム-239 +240		ND~0.013	ND~0.020	ND~0.013
海底 沈積物	6	プルトニウム-238	Bq/kg乾	ND	ND~0.020	-
		プルトニウム-239 +240		0.17~0.42	0.08~0.52	0.15~0.61

(注) *1 「過去の測定値」の範囲は、

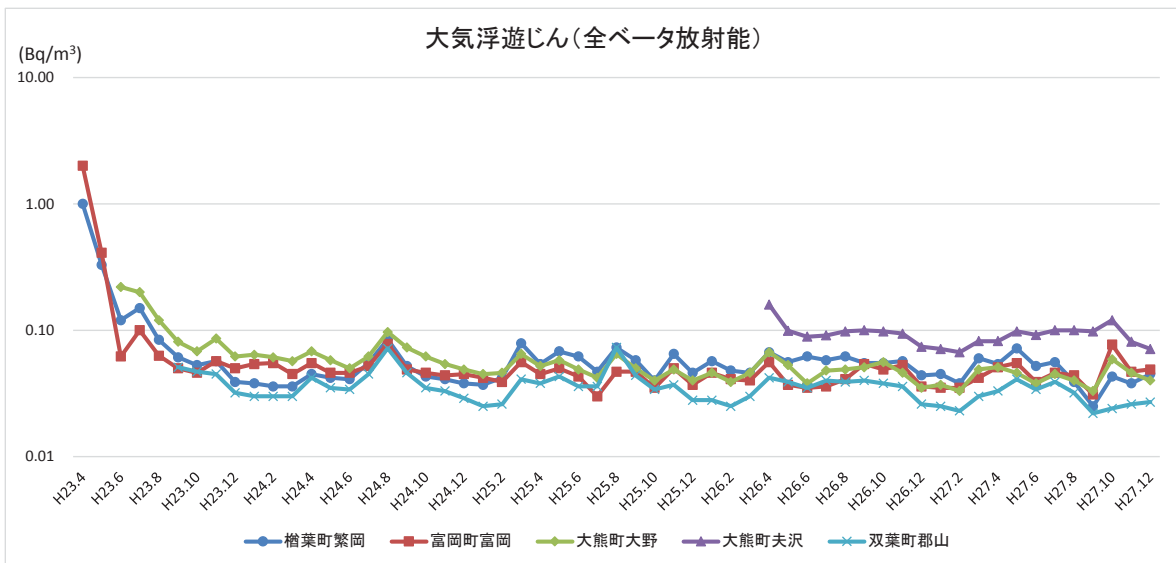
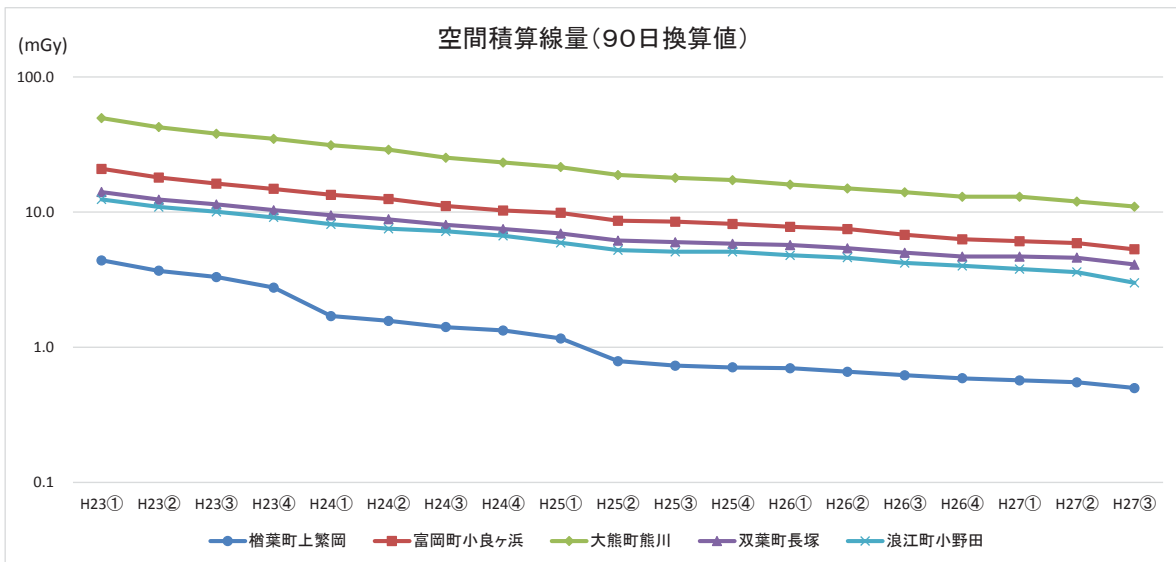
事故前：平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。

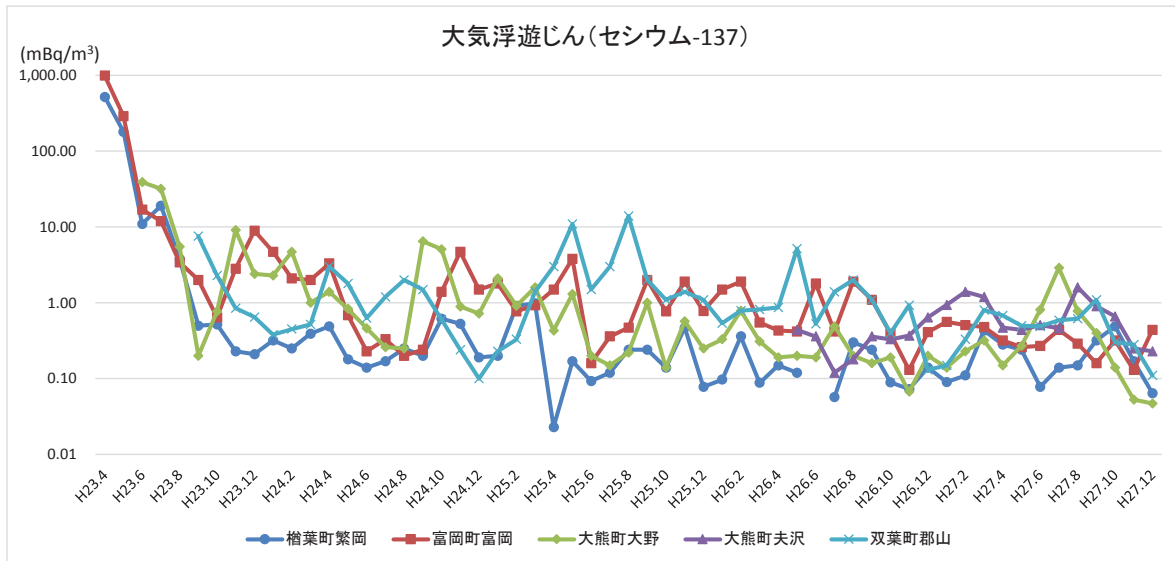
事故後：平成22年度第4四半期（平成23年3月11日）から平成27年度第2四半期まで。

事故後の各項目毎のトレンドグラフ

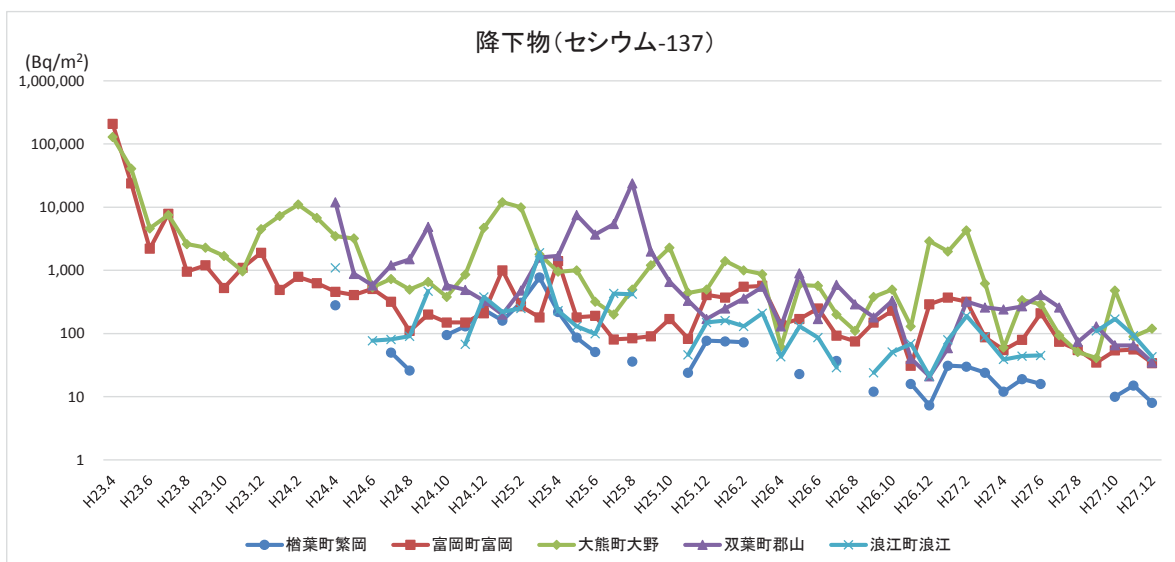


※1: 除染による減少、※2: 欠測

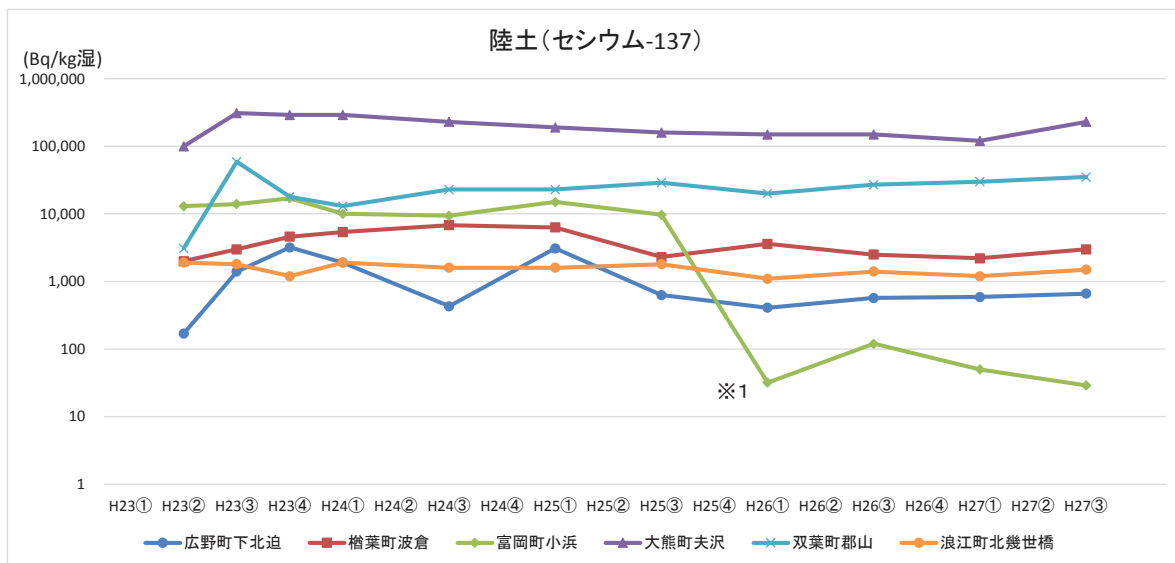




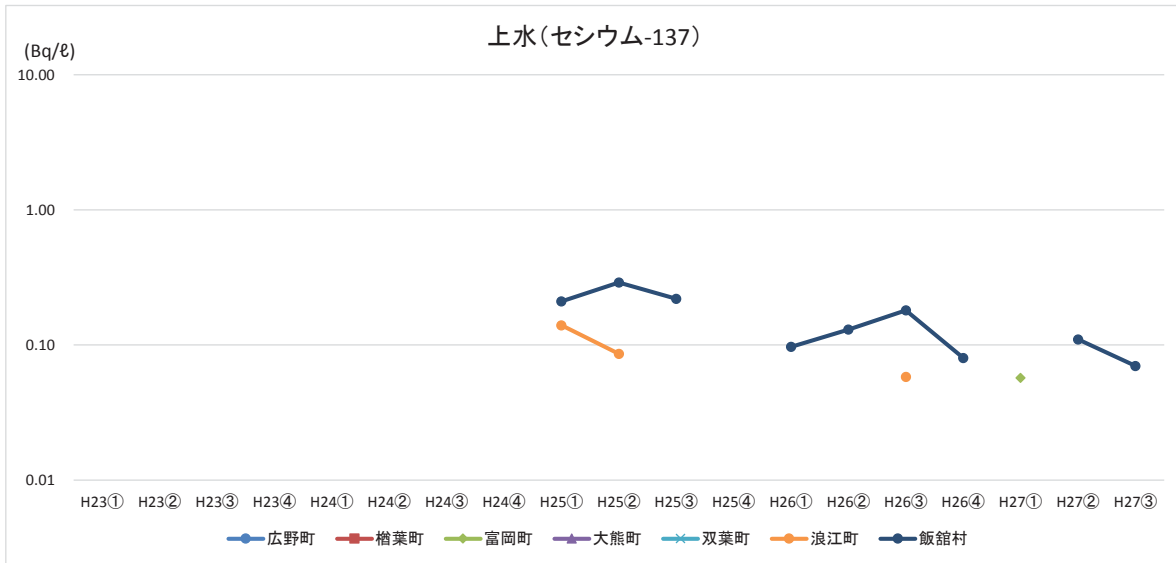
※グラフの途切れは検出下限値未満



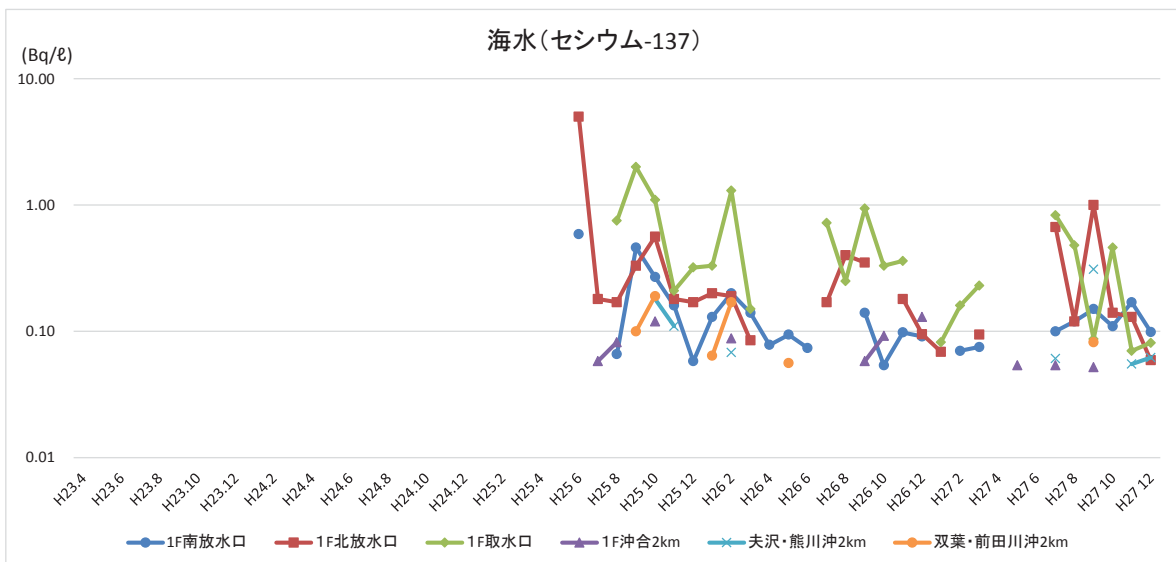
※グラフの途切れは検出下限値未満



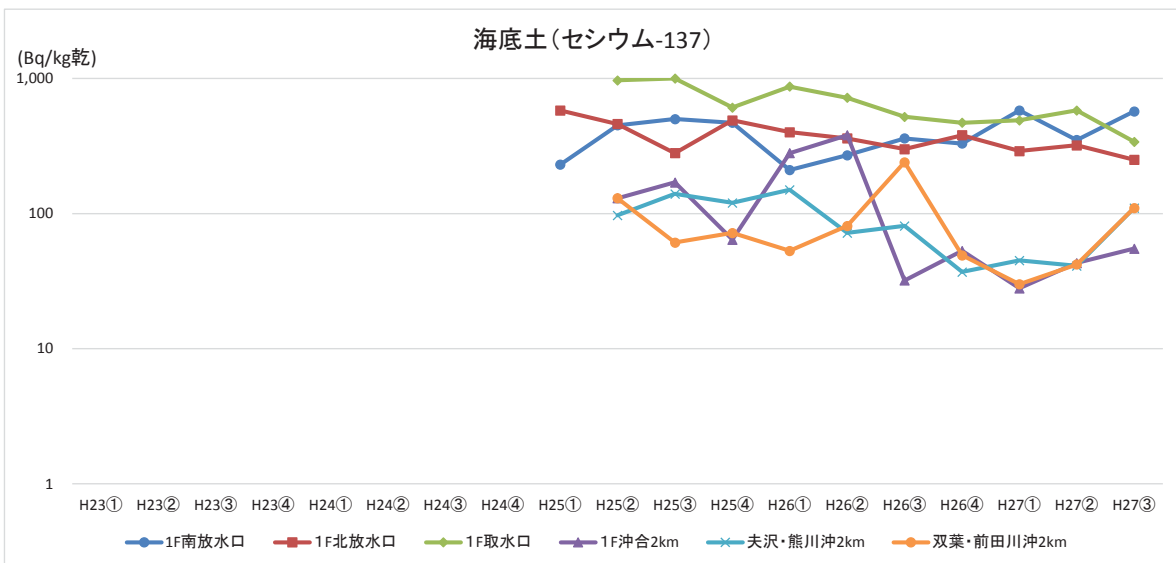
※1: 除染による減少

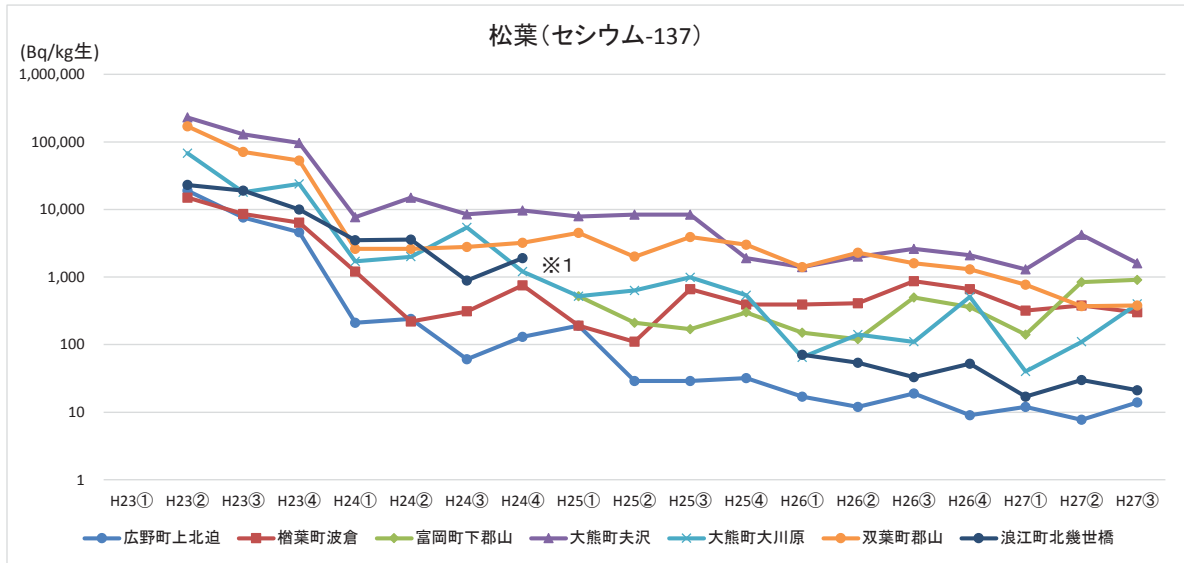


※グラフの途切れは検出下限値未満



※グラフの途切れは検出下限値未満





※1: 浪江町北幾世橋は平成25年度は調査未実施

平成27年度第3四半期 測定分

平成27年10月～平成27年12月

1 測定項目

(1) 空間放射線

項目	地点数	測定頻度	実施機関
空間線量率	36	連続	環境創造センター
空間積算線量	64	3ヵ月積算	

(2) 環境試料

区分	試料名	地点数	採取頻度	採取回数 (今期)	測定試料数(今期)							実施機関
					全β	γ	¹³¹ I	³ H	Sr	Pu	Am,Cm	
大 気	大気浮遊じん	14	毎月	3	連続 全α全β	42						環境創造 センター
		9		3		27						
		13	毎週	13		169						
降下物	降下物	17	毎月	3		51						
陸 土表	土	15	年2回	1		15						
			年1回	0				0	0	0		
陸 水上	水	11	年4回	1		11		11				
			年1回	0				0	0			
海 水海	水	6(*1)	毎月	3	18	18		18	18	18		
			年4回	1	2	2		2				
		2(*2)	年1回	0				0	0			
海底沈積物	海底沈積物	6(*1)	年4回	1		6			6	6		
			年4回	1		2						
		2(*2)	年1回	0				0	0			
指標植物	松葉	15	年4回	1		15	15					

*1 東京電力(株)福島第一原子力発電所周辺海域

*2 東京電力(株)福島第二原子力発電所周辺海域

(3) 測定項目(比較対照地点調査)

ア 空間放射線

項目	地点数	測定頻度	実施機関
空間線量率	3	連続	環境創造センター

イ 環境試料

区分	試料名	地点数	採取頻度	採取回数 (今期)	測定試料数(今期)							実施機関
					全β	γ	¹³¹ I	³ H	Sr	Pu	Am,Cm	
大 気	大気浮遊じん	7	毎月	3		21						環境創造 センター
	大気中水分	1		3				3				
降下物	降下物	9	毎月	3		27						
陸 土表	土	7	年1回	0		0			0	0	0	
陸 水上	水	2	年1回	0		0			0	0		
海 水海	水	1	年1回	1	1	1		1	1	1		
海底沈積物	海底沈積物	1	年1回	1		1			1	1		
指標植物	松葉	5	年4回	1		5	5					

2 測定方法

測定項目		測定装置	測定方法
空間放射線	空間線量率	モニタリングポスト	検出器：低線量 2"φ×2"NaI(Tl)シンチレーション検出器 (東芝製他、温度補償・エネルギー補償回路付) 高線量 14Lアルミ製加圧型球形電離箱検出器 測定位置：地表上約3m、約1m 校正線源：Co-60、Cs-137及びRa-226
	空間積算線量	蛍光ガラス線量計	測定法：文部科学省編「蛍光ガラス線量計を用いた環境γ線量測定法」(平成14年制定) 検出器：蛍光ガラス線量計、AGCテクノグラス SC-1 測定器：AGCテクノグラス FGD-202 測定位置：地表上約1m 校正線源：Cs-137
環境試料	大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能	ダストモニタ	測定法：6時間連続集じん、6時間放置後全アルファ及び全ベータ放射能を同時測定 集じん法：ろ紙ステップ式(使用ろ紙：HE-40T) 吸引量：約90m ³ /6時間 検出器：ZnS(Ag)シンチレータとプラスチックシンチレータのほり合わせ検出器 (日立アロカメディカル ADC-121他) 採取位置：地表上約3m、約2.3m 校正線源：U ₃ O ₈
	全ベータ放射能	β線自動測定装置 (福島支所)	測定法：文部科学省編「全ベータ放射能測定法」(昭和51年改訂) 検出器：ローバックグラウンドガスフローカウンタ(日立アロカメディカル LBC-420 2B 3台) 校正線源：U ₃ O ₈ (海水)
核種濃度	核種濃度	γ線放出核種分析装置	測定法：文部科学省編「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」(平成4年改訂)及び「トリチウム分析法」(平成14年改訂)に準拠 測定器：Ge半導体検出器(キャンベラ GC3018 CC-HI-U 他13台) 波高分析器(キャンベラ LINX DSA MCA(4096ch) 14台) ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置(日立アロカメディカル LSC-LB7)
		β線自動測定装置 (福島支所)	Ge半導体検出器(ORTEC GEM30185 他2台) 波高分析器(キャンベラ LINX DSA MCA(4096ch) 3台) ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置(日立アロカメディカル LSC-LB7 他1台)
	放射性ストロンチウム濃度	β線自動測定装置 (福島支所)	測定法：文部科学省編「放射性ストロンチウム分析法」(平成15年改訂)に定めるイオン交換法 測定器：ローバックグラウンドガスフローカウンタ(日立アロカメディカル LBC-4202 B 3台) 校正線源：Sr-89及びSr-90
放射線	アメリカシウム、キュリウム及びプルトニウム濃度	α線放出核種分析装置 (福島支所)	測定法：文部科学省編「プルトニウム分析法」(平成2年改訂)及び「アメリカシウム分析法」(平成2年)に定めるイオン交換法 測定器：Si半導体検出器(ORTEC BU-017-450 他12台) 波高分析器(ORTEC デジタlmca(ソフトウェア) 他1台) 校正線源：Np-239、Am-241及びCm-244

図1-1 環境放射能等測定地点

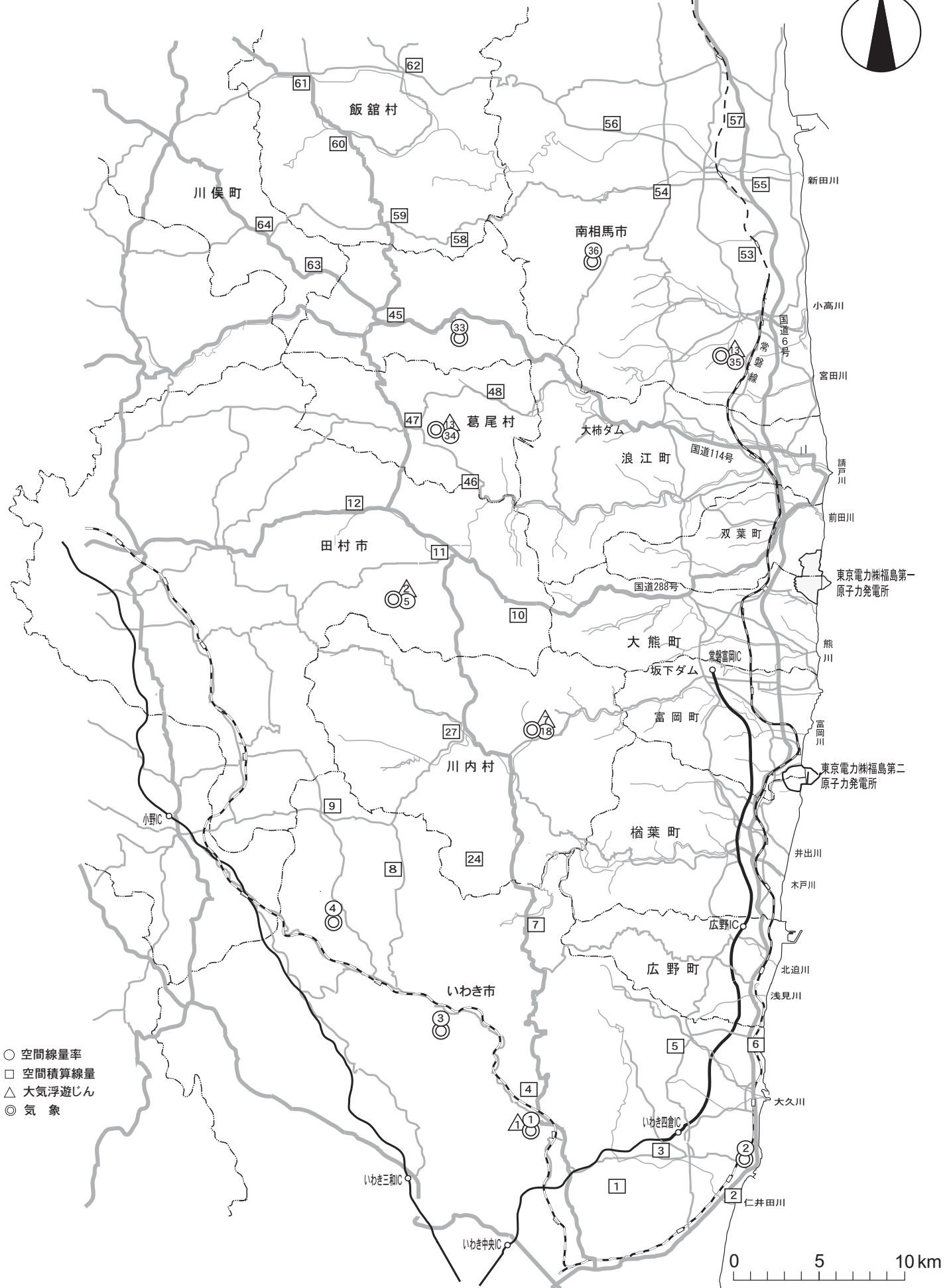


図1-2 環境放射能等測定地点

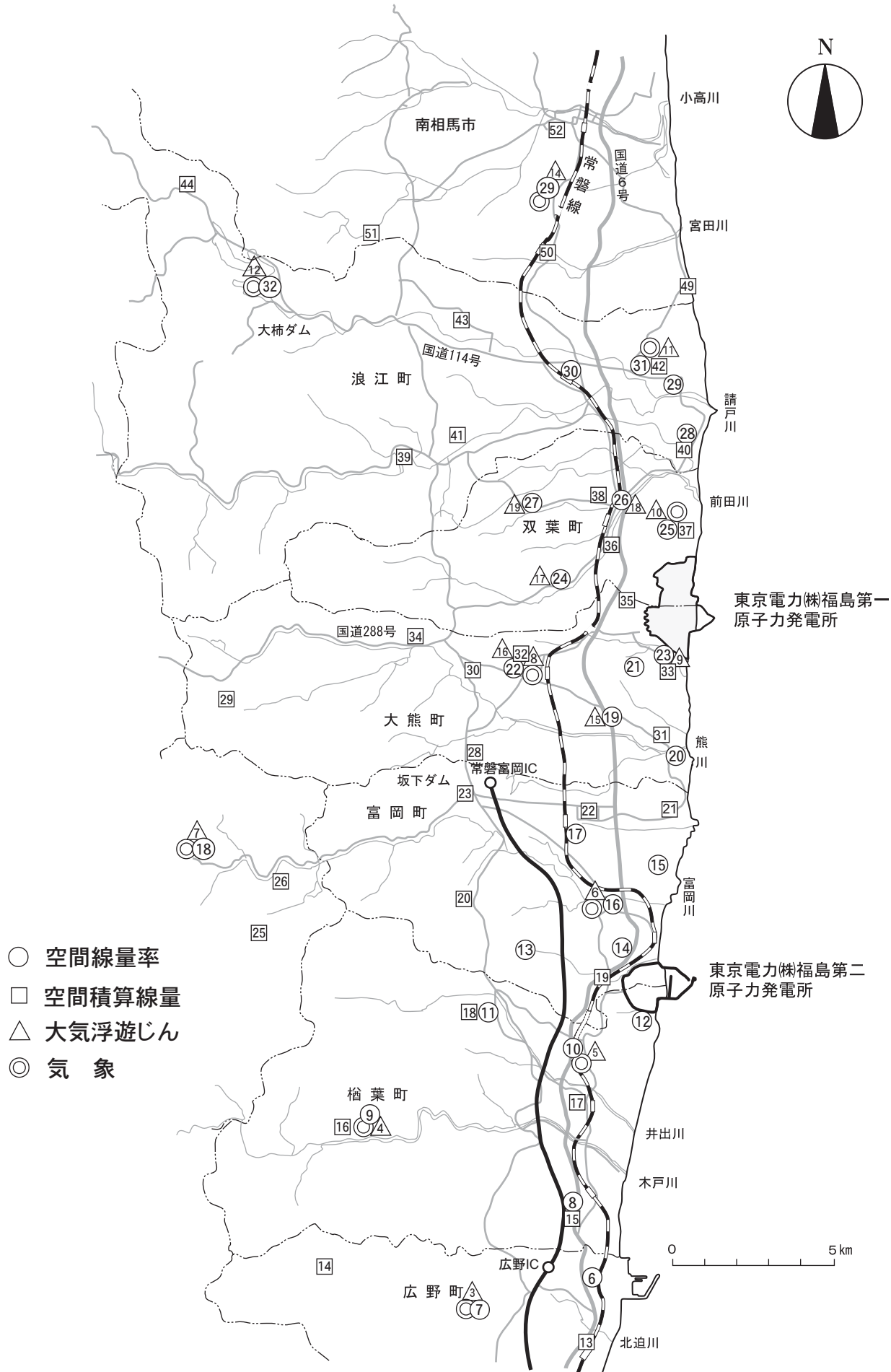


図2-1 環境試料採取地点

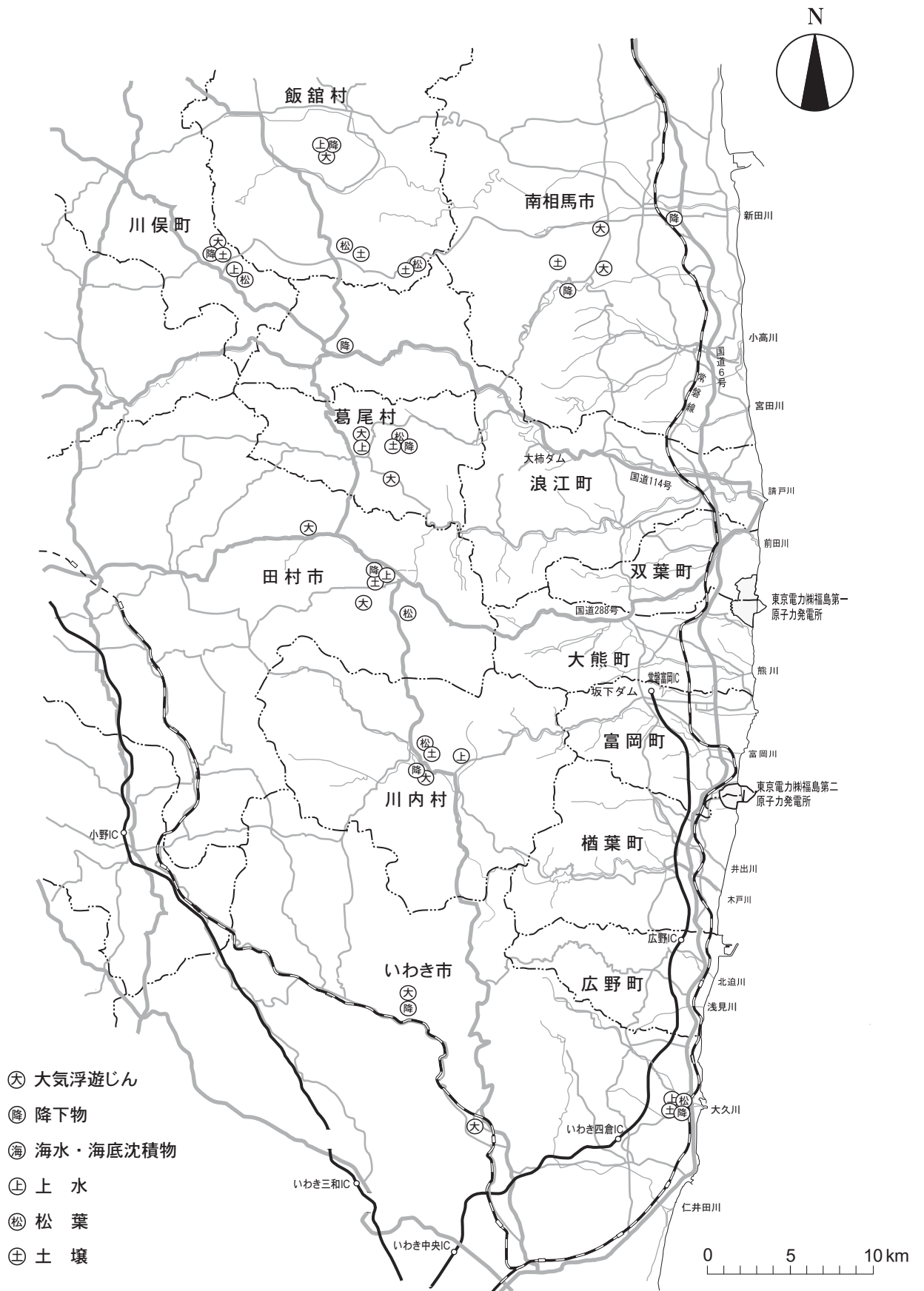
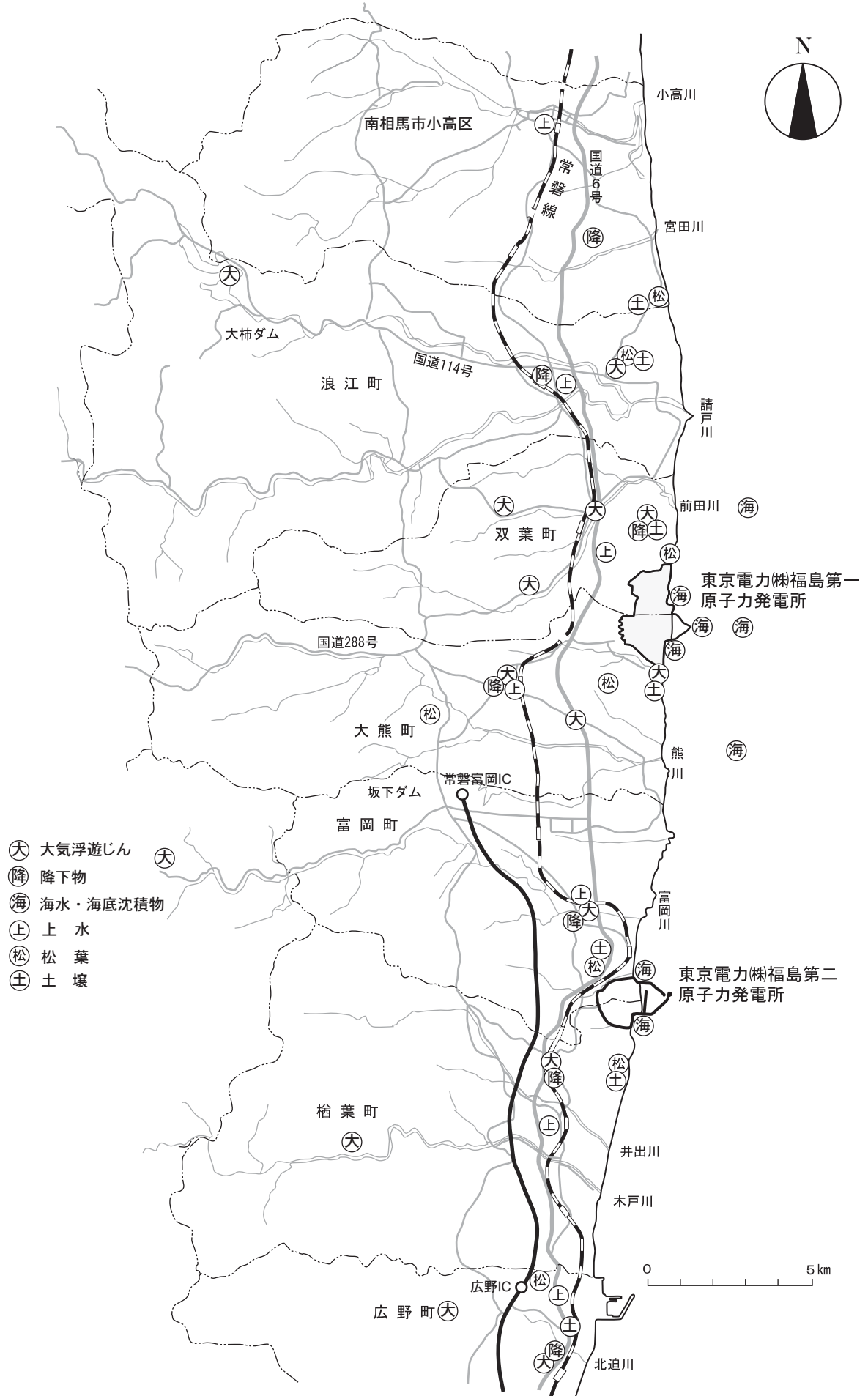


図2-2 環境試料採取地点



3 測定結果

(1) 空間放射線

ア 空間線量率

※ 1000n (ナノ) = 1 μ (マイクロ)

測定年月		平成27年10月				平成27年11月				平成27年12月					
測定項目		空間線量率				空間線量率				空間線量率					
測定値	測定時間	備考	最大値	平均値	最大値	平均値	測定時間	備考	最大値	平均値	最大値	平均値	測定時間	備考	
No.	地点名	(nGy/h)	(h)	(nGy/h)	(nGy/h)	(h)	(nGy/h)	(h)	(nGy/h)	(nGy/h)	(nGy/h)	(h)	(nGy/h)	(h)	
1	いわき市 小川	61	744	69	61	744	59	714	73	59	73	714	67	743	点検/1
2	いわき市 久之浜	107	744	112	107	744	102	713	117	102	117	713	98	743	点検/1
3	いわき市 下桶売	69	744	78	69	744	67	713	82	67	82	713	65	743	点検/1
4	いわき市 川前	75	744	83	75	744	74	714	91	74	91	714	72	744	
5	田村市 都路馬洗戸	121	744	129	121	744	117	720	134	117	134	720	111	738	点検/6
6	広野町 二ツ沼	120	744	132	120	744	118	720	165	118	165	720	116	744	
7	広野町 小滝平	112	744	120	112	744	109	720	153	109	153	720	105	739	点検/5
8	檜葉町 山田岡	87	744	97	87	744	85	720	109	85	109	720	82	744	
9	檜葉町 木戸ダム	143	744	149	143	744	139	715	166	139	166	715	128	744	点検/5
10	檜葉町 繁岡	283	744	292	283	744	272	720	303	272	303	720	269	744	
11	檜葉町 松館	311	744	319	311	744	301	720	341	301	341	720	298	744	
12	檜葉町 波倉	356	744	362	356	744	348	720	368	348	368	720	346	744	

測定年月		平成27年10月						平成27年11月						平成27年12月							
測定項目		空間線量率						空間線量率						空間線量率							
No.	測定値	平均値	最大値	測定時間	備考	備考	平均値	最大値	測定時間	備考	備考	平均値	最大値	測定時間	備考	備考	平均値	最大値	測定時間	備考	
	地点名	(nGy/h)	(nGy/h)	(h)	(欠測理由/時間)	(欠測理由/時間)	(nGy/h)	(nGy/h)	(h)	(欠測理由/時間)	(欠測理由/時間)	(nGy/h)	(nGy/h)	(h)	(欠測理由/時間)	(欠測理由/時間)	(nGy/h)	(nGy/h)	(h)	(欠測理由/時間)	
13	富岡町	かみこおりやま 上郡山	605	613	744		571	610	720			564	583	744							
14	富岡町	しもこおりやま 下郡山	325	337	744		312	340	720			310	317	744							
15	富岡町	ふかや 深谷*1	288	300	744		271	332	720			261	275	744							
16	富岡町	とみお 富岡	397	407	744		385	422	720			378	394	744							
17	富岡町	よりのもり 夜の森	1,387	1,420	744		1,303	1,375	720			1,286	1,313	744							
18	川内村	しもかわうち 下川内	325	337	744		307	342	714	点検/6		271	300	742							点検/2
19	大熊町	かいは 向畑	2,553	2,583	744		2,423	2,574	720			2,404	2,445	744							
20	大熊町	くまかわ 熊川*1	3,000	3,180	744		2,794	3,149	720			2,725	2,892	743							点検/1
21	大熊町	みなみだい 南台*2	7,879	7,992	744		7,491	7,950	720			7,386	7,543	744							
22	大熊町	おのの 大野	1,873	1,886	744		1,796	1,872	720			1,782	1,816	744							
23	大熊町	おつとざわ 夫沢*2	13,507	13,797	744		12,859	13,655	720			12,774	12,987	744							
24	双葉町	やまだ 山田*2	7,543	7,716	739	点検/5	6,973	7,680	720			6,994	7,150	744							
25	双葉町	おおりやま 郡山	668	674	739	点検/5	643	681	720			636	666	744							
26	双葉町	しんざ 新山	2,462	2,533	744		2,304	2,499	720			2,296	2,333	744							

測定年月		平成27年10月				平成27年11月				平成27年12月				
測定項目		空間線量率				空間線量率				空間線量率				
測定値	測定時間	備考	最大値	平均値	最大値	平均値	測定時間	備考	最大値	平均値	最大値	平均値	測定時間	備考
No.	地点名	(nGy/h)	(h)	(nGy/h)	(nGy/h)	(nGy/h)	(h)	(nGy/h)	(nGy/h)	(nGy/h)	(nGy/h)	(nGy/h)	(h)	(nGy/h)
27	双葉町 上羽鳥	897	738	912	856	911	720	点検/6	847	885	744			
28	浪江町 請戸*1	143	744	152	135	194	691		130	158	744			
29	浪江町 棚塩*1	100	744	109	97	172	720		94	126	743		点検/1	
30	浪江町 浪江	351	737	360	333	355	720	点検/7	329	355	744			
31	浪江町 幾世橋	139	738	150	133	177	720	点検/6	130	152	744			
32	浪江町 大柿ダム	1,140	744	1,166	1,070	1,156	713		1,030	1,051	743		点検/1	
33	浪江町 南津島	1,978	744	2,049	1,836	2,044	714		1,691	1,750	743		点検/1	
34	葛尾村 夏湯	198	744	207	187	207	714	点検/6	179	220	744			
35	南相馬市 泉沢	180	744	187	170	213	714	点検/6	161	194	742		点検/2	
36	南相馬市 横川ダム	378	744	387	362	388	720		329	365	737		点検/7	

注) *1 可搬型モニタリングポストによる測定

*2 空間線量率の測定はモニタリングポスト (NaIシンチレーション検出器、単位：ナノグレイ/時) により行ったが、概ね10,000nGy/h

(10 μ Gy/h)を超えた場合は、併設している高線量用モニタリングポスト (電離箱検出器、単位：ナノグレイ/時) の測定値で補完した。

*3 断続的に通信異常が発生した。原因は通信機であることが判明し、交換作業を実施した。

イ 空間積算線量

測定期間		平成 27 年 10 月 15 日 ~ 平成 28 年 1 月 21 日 *1			
No.	測定項目 地点名	積算線量*2 (mGy)	測定日数 (日)		備考
1	いわき市 岩 槻 森	0.28 (0.25)	98		
2	いわき市 四 倉	0.35 (0.32)	98		
3	いわき市 大 野	0.26 (0.24)	98		
4	いわき市 福 岡	0.28 (0.26)	98		
5	いわき市 大 欠	0.28 (0.26)	98		
6	いわき市 末 続	0.42 (0.38)	98		
7	いわき市 上 小 川	0.53 (0.49)	98		
8	いわき市 志 田 名	0.51 (0.47)	98		
9	いわき市 小 白 井	0.25 (0.23)	98		
10	田村市 場 々	0.49 (0.45)	98		
11	田村市 吉 道	0.28 (0.26)	99	回収日 : H28. 1. 22	
12	田村市 岩 井 沢	0.25 (0.23)	98		
13	広野町 下 浅 見 川	0.27 (0.25)	98		
14	広野町 箒 平	0.34 (0.31)	98		
15	檜葉町 山 田 岡	0.31 (0.28)	98		
16	檜葉町 乙 次 郎	0.35 (0.32)	98		
17	檜葉町 井 出	0.35 (0.32)	98		
18	檜葉町 上 繁 岡	0.55 (0.50)	98		
19	富岡町 太 田	0.71 (0.65)	98		
20	富岡町 赤 木	0.65 (0.59)	98		

測定期間		平成 27 年 10 月 15 日 ~ 平成 28 年 1 月 21 日 ^{*1}			
No.	測定項目 地点名	積算線量 ^{*2} (mGy)	測定日数 (日)		備考
21	富岡町 小良ヶ浜 おらがはま こらがはま	5.7 (5.3)	98		
22	富岡町 夜の森北 よのもりきた のの森北	2.6 (2.4)	98		
23	富岡町 上手岡 かみて おか	1.3 (1.2)	98		
24	川内村 三ツ石 みついし	0.92 (0.84)	98		
25	川内村 貝ノ坂 かいのさか	1.4 (1.2)	99	回収日 : H28. 1. 22	
26	川内村 五枚沢 ごまいざわ	0.63 (0.57)	99	回収日 : H28. 1. 22	
27	川内村 上川内 かみかわうち	0.26 (0.23)	99	回収日 : H28. 1. 22	
28	大熊町 大川原 おおくまがわら	0.58 (0.54)	98		
29	大熊町 旭ヶ丘 あさひがたか	0.67 (0.62)	98		
30	大熊町 野上 のがみ	4.5 (4.2)	98		
31	大熊町 熊川 くまがわ	12 (11)	98		
32	大熊町 大野 おおくまのの	13 (12)	98		
33	大熊町 天沢 あまざわ	34 (31)	98		
34	大熊町 湯の神 ゆのかみ	3.6 (3.3)	98		
35	大熊町 長者原 ちやうじやばら	9.9 (9.1)	98		
36	双葉町 清戸迫 きよとど	2.1 (1.9)	98		
37	双葉町 郡山 ぐんやま	1.7 (1.6)	98		
38	双葉町 長塚 ながつか	4.5 (4.1)	98		
39	浪江町 井手 いでの	24 (22)	98		
40	浪江町 請戸 うけとど	0.44 (0.40)	98		

測定期間		平成 27 年 10 月 15 日 ~ 平成 28 年 1 月 21 日 ^{*1}			
No.	測定項目 地点名	積算線量 ^{*2} (mGy)	測定日数		備考
			(日)		
41	浪江町 小野田	3.3 (3.0)	98		
42	浪江町 幾世橋	0.41 (0.38)	98		
43	浪江町 刈宿	1.6 (1.5)	98		
44	浪江町 昼菅根	13 (12)	98		
45	浪江町 津島	5.1 (4.7)	98		
46	葛尾村 大放	0.55 (0.51)	98		
47	葛尾村 落合	0.73 (0.67)	98		
48	葛尾村 野行	4.8 (4.4)	98		
49	南相馬市 浦尻	0.32 (0.30)	98		
50	南相馬市 耳谷	0.41 (0.38)	98		
51	南相馬市 川房	2.6 (2.4)	98		
52	南相馬市 関場	0.97 (0.89)	98		
53	南相馬市 高	0.30 (0.28)	98		
54	南相馬市 大木戸	0.24 (0.22)	98		
55	南相馬市 萱浜	0.18 (0.17)	98		
56	南相馬市 大原	1.0 (0.95)	98		
57	南相馬市 川子	0.36 (0.33)	98		
58	飯館村 巖平	1.2 (1.1)	98		
59	飯館村 長泥	5.1 (4.7)	98		
60	飯館村 飯樋	0.89 (0.82)	98		

測定期間		平成27年10月15日～平成28年1月21日 ^{*1}		
No.	測定項目 地点名	積算線量 ^{*2} (mGy)	測定日数 (日)	備考
62	飯館村 草野 ^の	1.4 (1.3)	98	
63	川俣町 山木屋坂下 ^{やまぎ}	1.4 (1.3)	98	
64	川俣町 山木屋 ^{やまぎ}	0.50 (0.46)	98	

注) *1 一部地点を除く

*2 () 内は90日換算値

(2) 環境試料

ア 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能

No.	地点名	測定年月	全アルファ放射能				全ベータ放射能			
			平均値 (Bq/m ³)	最大値 (Bq/m ³)	測定時間 (h)	備考 (欠測理由/ 時間)	平均値 (Bq/m ³)	最大値 (Bq/m ³)	測定時間 (h)	備考 (欠測理由/ 時間)
1	いわき市 おがわ川	平成27年10月	0.060	0.21	744		0.077	0.23	744	
		平成27年11月	0.034	0.13	720		0.050	0.14	720	
		平成27年12月	0.035	0.23	684	点検/60	0.050	0.25	684	点検/60
2	田村市 みやこじょうまあるんど 都路馬洗戸	平成27年10月	0.020	0.096	744		0.035	0.11	744	
		平成27年11月	0.016	0.083	720		0.030	0.10	720	
		平成27年12月	0.012	0.051	684	点検/60	0.027	0.071	684	点検/60
3	広野町 こたきだいら 小滝平	平成27年10月	0.026	0.082	744		0.044	0.11	744	
		平成27年11月	0.017	0.075	720		0.033	0.10	720	
		平成27年12月	0.014	0.047	696	点検/48	0.031	0.074	696	点検/48
4	檜葉町 きどダム	平成27年10月	0.038	0.15	744		0.054	0.17	744	
		平成27年11月	0.028	0.11	660	点検/60	0.044	0.13	660	点検/60
		平成27年12月	0.020	0.075	744		0.035	0.095	744	
5	檜葉町 しげおか岡	平成27年10月	0.018	0.16	744		0.043	0.27	744	
		平成27年11月	0.016	0.11	660	点検/60	0.038	0.19	660	点検/60
		平成27年12月	0.020	0.16	744		0.045	0.27	744	
6	富岡町 とみおか岡	平成27年10月	0.050	0.21	696	点検/48	0.077	0.27	696	点検/48
		平成27年11月	0.028	0.18	720		0.047	0.24	720	
		平成27年12月	0.029	0.099	744		0.049	0.15	744	
7	川内村 しもかわうち 内	平成27年10月	0.044	0.21	744		0.059	0.22	744	
		平成27年11月	0.041	0.23	690	点検/30	0.056	0.23	690	点検/30
		平成27年12月	0.031	0.12	714	点検/30	0.054	0.15	714	点検/30

No.	地名	測定年月	全アルファ放射能				全ベータ放射能			
			平均値 (Bq/m ³)	最大値 (Bq/m ³)	測定時間 (h)	備考 (欠測理由/ 時間)	平均値 (Bq/m ³)	最大値 (Bq/m ³)	測定時間 (h)	備考 (欠測理由/ 時間)
8	大熊町 大野	平成27年10月	0.026	0.13	696	点検/48	0.059	0.20	696	点検/48
		平成27年11月	0.019	0.13	720		0.046	0.22	720	
		平成27年12月	0.016	0.066	744		0.040	0.12	744	
9	大熊町 おとさわ 沢	平成27年10月	0.028	0.21	696	点検/48	0.12	0.33	696	点検/48
		平成27年11月	0.026	0.17	720		0.081	0.29	720	
		平成27年12月	0.020	0.076	744		0.071	0.15	744	
10	双葉町 こおりやま 山	平成27年10月	0.008	0.026	744		0.024	0.053	744	
		平成27年11月	0.009	0.030	660	点検/60	0.026	0.058	660	点検/60
		平成27年12月	0.011	0.030	744		0.027	0.058	744	
11	浪江町 よほし 橋	平成27年10月	0.039	0.13	744		0.063	0.17	744	
		平成27年11月	0.022	0.12	672	点検/48	0.042	0.17	672	点検/48
		平成27年12月	0.022	0.097	744		0.041	0.14	744	
12	浪江町 おおたき 大柿ダム	平成27年10月	0.055	0.17	732	停電/12	0.079	0.22	732	停電/12
		平成27年11月	0.040	0.12	660	点検/60	0.064	0.15	660	点検/60
		平成27年12月	0.041	0.17	744		0.065	0.22	744	
13	葛尾村 なつ 湯	平成27年10月	0.069	0.29	744		0.094	0.34	744	
		平成27年11月	0.055	0.28	720		0.079	0.33	720	
		平成27年12月	0.049	0.19	624	点検/120	0.067	0.23	672	点検/72
14	南相馬市 いずみさき 沢	平成27年10月	0.029	0.099	744		0.043	0.11	744	
		平成27年11月	0.020	0.078	660	点検/60	0.034	0.099	660	点検/60
		平成27年12月	0.017	0.064	744		0.031	0.082	744	

イ 大気浮遊じん中の核種濃度

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)															
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce					
1	いわき市 おがわ 小川 (連続ダストモニタ)	H27.10.1 ~ H27.11.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H27.11.1 ~ H27.12.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.12.1 ~ H28.1.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
2	田村市 みやこじりまあらいど 都路馬洗戸 (連続ダストモニタ)	H27.10.1 ~ H27.11.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.11.1 ~ H27.12.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.12.1 ~ H28.1.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
3	広野町 こたきだいら 小滝平 (連続ダストモニタ)	H27.10.1 ~ H27.11.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.11.1 ~ H27.12.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.12.1 ~ H28.1.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
4	檜葉町 きど 木戸ダム (連続ダストモニタ)	H27.10.1 ~ H27.11.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.11.1 ~ H27.12.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.12.1 ~ H28.1.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
5	檜葉町 しげ 繁岡 (連続ダストモニタ)	H27.10.1 ~ H27.11.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	0.49	0.17	ND	ND
		H27.11.1 ~ H27.12.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.043	0.17	0.064	ND	ND
		H27.12.1 ~ H28.1.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.016	0.32	0.13	ND	ND
6	富岡町 とみ 富岡 (連続ダストモニタ)	H27.10.1 ~ H27.11.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.080	0.32	0.13	ND	ND
		H27.11.1 ~ H27.12.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.027	0.13	0.044	ND	ND
		H27.12.1 ~ H28.1.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.093	0.44	0.17	ND	ND
7	川内村 しもかわうち 下川内 (連続ダストモニタ)	H27.10.1 ~ H27.11.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.11.1 ~ H27.12.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.12.1 ~ H28.1.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.033	0.14	0.053	ND
8	大熊町 おお 大野 (連続ダストモニタ)	H27.10.1 ~ H27.11.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	0.66	0.047	ND	ND
		H27.11.1 ~ H27.12.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.054	0.25	0.047	ND	ND
		H27.12.1 ~ H28.1.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.053	0.23	0.047	ND	ND
9	大熊町 おと 天沢 (連続ダストモニタ)	H27.10.1 ~ H27.11.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.054	0.25	0.047	ND	ND
		H27.11.1 ~ H27.12.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.054	0.25	0.047	ND	ND
		H27.12.1 ~ H28.1.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.053	0.23	0.047	ND	ND

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)												
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce		
10	双葉町 こおりやま 郡山 (連続ダストモニタ)	H27.10.1 ~ H27.11.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.069	0.30	ND
		H27.11.1 ~ H27.12.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.065	0.28	ND
		H27.12.1 ~ H28.1.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	ND
11	浪江町 きよはし 幾世橋 (連続ダストモニタ)	H27.10.1 ~ H27.11.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.028	ND
		H27.11.1 ~ H27.12.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.019	ND
		H27.12.1 ~ H28.1.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
12	浪江町 おおがき 大柵ダム (連続ダストモニタ)	H27.10.1 ~ H27.11.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.022	0.11	ND
		H27.11.1 ~ H27.12.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.020	0.076	ND
		H27.12.1 ~ H28.1.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.058	ND
13	葛尾村 なつ 夏湯 (連続ダストモニタ)	H27.10.1 ~ H27.11.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.036	ND
		H27.11.1 ~ H27.12.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.046	ND
		H27.12.1 ~ H28.1.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.022	ND
14	南相馬市 いづみ 泉沢 (連続ダストモニタ)	H27.10.1 ~ H27.11.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.026	ND
		H27.11.1 ~ H27.12.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.12.1 ~ H28.1.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
15	大熊町 むかい 向畑 (リアルタイムダストモニタ)	H27.9.30 ~ H27.10.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.073	0.26	ND
		H27.10.31 ~ H27.11.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.070	0.28	ND
		H27.11.30 ~ H27.12.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.067	0.27	ND
16	大熊町 おお 大野 (リアルタイムダストモニタ)	H27.10.1 ~ H27.10.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	0.47	ND
		H27.10.31 ~ H27.11.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	ND
		H27.11.30 ~ H27.12.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.072	ND
17	双葉町 やま 山田 (リアルタイムダストモニタ)	H27.9.30 ~ H27.10.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	0.49	ND
		H27.10.31 ~ H27.11.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.079	0.37	ND
		H27.11.30 ~ H27.12.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.076	0.35	ND
18	双葉町 しん 新山 (リアルタイムダストモニタ)	H27.10.1 ~ H27.11.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.052	0.18	ND
		H27.10.31 ~ H27.12.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.070	ND
		H27.12.1 ~ H27.12.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.046	ND

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)																		
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce								
36	南相馬市 じき 櫓 原 (簡易型ダストサンプラワー)	H27.9.30 ~ H27.10.7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
		H27.10.7 ~ H27.10.14*2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.095	0.32	0.095	ND	ND	ND		
		H27.10.14 ~ H27.10.21*2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.063	0.063	ND	ND	ND	ND	
		H27.10.21 ~ H27.10.28*2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.069	0.27	0.069	ND	ND	ND	ND	
		H27.10.28 ~ H27.11.4*2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.050	0.050	ND	ND	ND	ND	
		H27.11.4 ~ H27.11.11	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.040	0.040	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.11.11 ~ H27.11.18	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.038	0.038	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.11.18 ~ H27.11.25	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.027	0.027	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.11.25 ~ H27.12.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	0.11	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.12.2 ~ H27.12.9	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.049	0.049	ND	ND	ND	ND	ND
H27.12.9 ~ H27.12.16	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.026	0.026	ND	ND	ND	ND	ND		
H27.12.16 ~ H27.12.24	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.051	0.051	ND	ND	ND	ND	ND		
H27.12.24 ~ H27.12.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.062	0.062	ND	ND	ND	ND	ND		

(注) 1 「ND」：検出限界未満

- 2 上記の他、人工放射性核種は検出されなかった。
- 3 ろ紙の灰化処理はせず、ろ紙を直接U8容器で測定した。
- 4 *1 電源断により採取時間が短いため参考値
- 5 *2 採取装置近傍で掘削工事実施

4 比較対照地点の測定結果

(1) 空間線量率

測定年月		平成 27 年 10 月				平成 27 年 11 月				平成 27 年 12 月			
測定項目		空間線量率				空間線量率				空間線量率			
No.	測定地点名	平均値	最大値	測定時間	備考	平均値	最大値	測定時間	備考	平均値	最大値	測定時間	備考
		(nGy/h)	(nGy/h)	(h)		(nGy/h)	(nGy/h)	(h)		(nGy/h)	(nGy/h)	(h)	
1	福島市 みじやま*1 紅葉山	153 ----- 166	163	738	点検/6	147	168	714	点検/6	146	195	744	
2	郡山市 ひわだ 日和田	169	178	744		164	180	714	点検/6	162	220	742	停電/2
3	いわき市 たいら 平	68	78	744		70	83	714	点検/6	69	79	744	

注) 1 *1 上段は高さ2.5m地点で測定した値、下段は高さ1m地点で測定した値

(2) 環境試料
ア 大気浮遊じん核種濃度

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)															
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce					
1	福島市 ほうきだ 方木田	H27.10.15 ~ H27.10.16	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H27.11.12 ~ H27.11.13	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.041	ND	ND	ND
		H27.12.16 ~ H27.12.17	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.071	ND	ND	ND
2	会津若松市 おち 追手町	H27.10.13 ~ H27.10.14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.11.9 ~ H27.11.10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.12.7 ~ H27.12.8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
3	郡山市 はやま 麓山	H27.10.15 ~ H27.10.16	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.11.11 ~ H27.11.12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.12.9 ~ H27.12.10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
4	いわき市 たいら 平	~																
		~																
		~																
5	白河市 しほら 昭和町	H27.10.13 ~ H27.10.14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.11.9 ~ H27.11.10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.12.7 ~ H27.12.8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
6	南相馬市 じきばら 槽原	~																
		~																
		~																
7	相馬市 たまの 宝野	H27.10.15 ~ H27.10.16	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.069	ND	ND	ND
		H27.11.11 ~ H27.11.12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.12.9 ~ H27.12.10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
8	伊達市 とみなり 富成	H27.10.15 ~ H27.10.16	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.11.11 ~ H27.11.12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.12.9 ~ H27.12.10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
9	南会津町 たじま 島	H27.10.13 ~ H27.10.14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.11.9 ~ H27.11.10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.12.7 ~ H27.12.8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND

(注) 1 「ND」：検出限界未満

2 上記の他、人工放射性核種は検出されなかった。

3 いわき市平及び南相馬市槽原は、それぞれ平成26年11月5日及び平成26年12月10日から強化モニタリングの対象としたため、発電所周辺環境モニタリングに移記した。

4 ろ紙の灰化処理はせず、ろ紙を直接U8容器で測定した。

イ 大気中水分のトリチウム濃度

No.	地点名	採取期間	トリチウム濃度		備考
			大気中濃度 (mBq/m ³)	(参考値) 捕集水濃度 (Bq/l)	
1	福島市 ほうき末田 ^だ	H27.10.1 ~ H27.11.2	ND	ND	大気中水分量 (g/m ³)
		H27.11.2 ~ H27.12.1	ND	ND	
		H27.12.1 ~ H28.1.4	1.9	0.51	

ウ 降下物の核種濃度

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (Bq/m ² (MBq/km ²))												
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce		
1	福島市 ほうき 方木田	H27.10.1 ~ H27.11.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	7.4	31	ND
		H27.11.2 ~ H27.12.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.6	6.5	ND
		H27.12.1 ~ H28.1.4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5.4	24	ND
2	会津若松市 ちろ 追手町	H27.10.6 ~ H27.11.4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.11.4 ~ H27.12.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.12.2 ~ H28.1.6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
3	郡山市 はやま 麓山 *1	H27.10.6 ~ H27.11.4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	7.3	ND
		H27.11.4 ~ H27.12.3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3.3	ND
		H27.12.3 ~ H28.1.6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	4.3	ND
4	いわき市 ないら 平	H27.10.5 ~ H27.11.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	7.9	ND
		H27.11.2 ~ H27.12.3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3.7	ND
		H27.12.3 ~ H28.1.5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	8.6	ND
5	白河市 しやうわ 昭和町	H27.10.6 ~ H27.11.4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	12	ND
		H27.11.4 ~ H27.12.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.12.2 ~ H28.1.6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	6.1	ND
6	相馬市 たまの 野	H27.10.5 ~ H27.11.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	11	48	ND
		H27.11.2 ~ H27.12.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	9.2	ND
		H27.12.1 ~ H28.1.5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5.1	20	ND
7	伊達市 とみなり 富成	H27.10.5 ~ H27.11.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	100	430	ND
		H27.11.2 ~ H27.12.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5.7	31	ND
		H27.12.1 ~ H28.1.5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18	91	ND
8	川俣町 ぐちの 樋ノ口	H27.10.5 ~ H27.11.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	6.9	ND
		H27.11.2 ~ H27.12.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.5	ND
		H27.12.1 ~ H28.1.5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	12	ND
9	南会津町 たじま 田島	H27.10.6 ~ H27.11.4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.11.4 ~ H27.12.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H27.12.2 ~ H28.1.5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND

(注) 1 「ND」: 検出限界未満

2 上記の他、人工放射性核種は検出されなかった。

3 採取全量を2Lまで濃縮し、2Lマリネリで測定した。ただし、No.1福島市方木田のみ、U8容器で乾固させ測定した。

4 *1 平成27年4月より採取地点を郡山市朝日町から変更。

エ 環境試料中の核種濃度

試料名	種別 又は 部位	採取地点番号 及び採取地点名		採取 年月日	単位	全 ^α - 放射能 測定値	核種											天然 核種																									
							濃度	種	濃	度	種	濃	度	種	濃	度	種		濃	度																							
海	表面水	1	相馬市	松川浦	E27.11.11	Bq/ℓ Puは mBq/ℓ	0.02	⁵¹ Cr	ND	⁵⁴ Mn	ND	⁵⁸ Co	ND	⁵⁹ Fe	ND	⁶⁰ Co	ND	⁹⁶ Zr	ND	⁹⁷ Nb	ND	¹⁰⁶ Ru	ND	¹³⁴ Cs	ND	¹³⁷ Cs	ND	¹⁴⁴ Ce	ND	³ H	ND	¹³¹ I	/	⁸⁸ Sr	/	⁹⁰ Sr	0.001	²³⁸ Pu	ND	²³⁹⁺²⁴⁰ Pu	ND	⁴⁰ K	11
	海底沈積物	1	相馬市	松川浦	E27.11.11	Bq/kg乾	/	⁵¹ Cr	ND	⁵⁴ Mn	ND	⁵⁸ Co	ND	⁵⁹ Fe	ND	⁶⁰ Co	ND	⁹⁶ Zr	ND	⁹⁷ Nb	ND	¹⁰⁶ Ru	ND	¹³⁴ Cs	0.95	¹³⁷ Cs	4.3	¹⁴⁴ Ce	/	³ H	/	¹³¹ I	/	⁸⁸ Sr	/	⁹⁰ Sr	ND	²³⁸ Pu	ND	²³⁹⁺²⁴⁰ Pu	0.18	⁴⁰ K	460
松	葉	1	福島市	杉妻町	E27.12.25	Bq/kg生	/	⁵¹ Cr	ND	⁵⁴ Mn	ND	⁵⁸ Co	ND	⁵⁹ Fe	ND	⁶⁰ Co	ND	⁹⁶ Zr	ND	⁹⁷ Nb	ND	¹⁰⁶ Ru	ND	¹³⁴ Cs	11	¹³⁷ Cs	43	¹⁴⁴ Ce	/	³ H	/	¹³¹ I	ND	⁸⁸ Sr	/	⁹⁰ Sr	/	²³⁸ Pu	/	²³⁹⁺²⁴⁰ Pu	/	⁴⁰ K	63
		2	郡山市	麓山	E27.12.3			⁵¹ Cr	ND	⁵⁴ Mn	ND	⁵⁸ Co	ND	⁵⁹ Fe	ND	⁶⁰ Co	ND	⁹⁶ Zr	ND	⁹⁷ Nb	ND	¹⁰⁶ Ru	ND	¹³⁴ Cs	4.5	¹³⁷ Cs	23	¹⁴⁴ Ce	/	³ H	/	¹³¹ I	ND	⁸⁸ Sr	/	⁹⁰ Sr	/	²³⁸ Pu	/	²³⁹⁺²⁴⁰ Pu	/	⁴⁰ K	73
		3	白河市	昭和田	E27.12.22			⁵¹ Cr	ND	⁵⁴ Mn	ND	⁵⁸ Co	ND	⁵⁹ Fe	ND	⁶⁰ Co	ND	⁹⁶ Zr	ND	⁹⁷ Nb	ND	¹⁰⁶ Ru	ND	¹³⁴ Cs	ND	¹³⁷ Cs	17	¹⁴⁴ Ce	/	³ H	/	¹³¹ I	ND	⁸⁸ Sr	/	⁹⁰ Sr	/	²³⁸ Pu	/	²³⁹⁺²⁴⁰ Pu	/	⁴⁰ K	59
		4	会津若松市	城東町	E27.12.22			⁵¹ Cr	ND	⁵⁴ Mn	ND	⁵⁸ Co	ND	⁵⁹ Fe	ND	⁶⁰ Co	ND	⁹⁶ Zr	ND	⁹⁷ Nb	ND	¹⁰⁶ Ru	ND	¹³⁴ Cs	ND	¹³⁷ Cs	ND	¹⁴⁴ Ce	ND	³ H	/	¹³¹ I	ND	⁸⁸ Sr	/	⁹⁰ Sr	/	²³⁸ Pu	/	²³⁹⁺²⁴⁰ Pu	/	⁴⁰ K	54
		5	南会津町	永由	E27.12.22			⁵¹ Cr	ND	⁵⁴ Mn	ND	⁵⁸ Co	ND	⁵⁹ Fe	ND	⁶⁰ Co	ND	⁹⁶ Zr	ND	⁹⁷ Nb	ND	¹⁰⁶ Ru	ND	¹³⁴ Cs	ND	¹³⁷ Cs	ND	¹⁴⁴ Ce	ND	³ H	/	¹³¹ I	ND	⁸⁸ Sr	/	⁹⁰ Sr	/	²³⁸ Pu	/	²³⁹⁺²⁴⁰ Pu	/	⁴⁰ K	82

(注) 1 「ND」：検出限界未満「/」：対象外核種

2 松葉は灰化せず、生試料をU8容器で測定した。

試料採取時の付帯データ集
(原子力発電所周辺等環境放射能測定)

1 上水

No.	採取地点名	採取年月日	気温 (°C)	水温 (°C)	p H
1	いわき市	H27.10.22	18.2	19.0	7.6
2	田村市	H27.10.20	20.3	15.2	7.9
3	広野町	H27.10.22	17.4	17.3	7.7
4	檜葉町	H27.10.22	16.8	18.4	7.1
5	富岡町	H27.10.22	16.1	15.7	7.2
6	川内村	H27.10.20	20.5	16.0	7.6
7	大熊町	—	—	—	—
8	双葉町	—	—	—	—
9	浪江町	H27.10.19	19.7	21.7	7.8
10	葛尾村	H27.10.20	20.0	15.5	7.9
11	南相馬市	H27.10.19	18.0	22.0	7.3
12	飯舘村	H27.10.19	17.5	19.3	7.4
13	川俣町	H27.10.19	16.3	17.4	7.6

2 海水

No.	採取地点名	採取年月日	気温 (°C)	水温 (°C)	p H	Cl ⁻ (%)
1	第一(発)南放水口	H27.10.13	21.0	18.5	8.2	18
		H27.11.17	16.5	17.0	8.2	19
		H27.12.14	10.0	11.7	8.2	18
2	第一(発)北放水口	H27.10.13	20.0	18.2	8.2	18
		H27.11.17	17.5	17.0	8.1	18
		H27.12.14	10.0	11.4	8.2	18
3	第一(発)取水口	H27.10.13	20.5	18.2	8.2	18
		H27.11.17	16.0	17.0	8.2	18
		H27.12.14	10.0	11.5	8.2	17
4	第一(発)沖合	H27.10.13	21.5	18.7	8.2	18
		H27.11.17	18.0	17.0	8.2	18
		H27.12.14	9.5	11.5	8.2	18
5	夫沢・熊川沖	H27.10.13	20.5	18.6	8.2	19
		H27.11.17	18.0	17.0	8.2	18
		H27.12.14	9.5	12.1	8.2	18
6	双葉・前田川沖	H27.10.13	20.5	18.6	8.2	18
		H27.11.17	17.5	16.5	8.2	18
		H27.12.14	10.0	11.5	8.2	18
7	第二(発)南放水口	H27.11.18	16.4	14.5	7.6	19
8	第二(発)北放水口	H27.11.18	16.3	14.5	7.7	19
9	相馬市松川浦	H27.11.11	18.5	16.3	7.9	18

環境試料放射能測定方法詳細一覧表
(ガンマ線放出核種濃度・トリチウム濃度・ストロンチウム-90濃度)

項目	試料名	大気浮遊じん				陸土		海水		
		福島県ダストサンプラー(福島第一原子力発電所から30km圏内)	福島県ダストサンプラー(比較地点域)	連続ダストモニタ	リアルタイムダストモニタ	Co-134, Cs-137	Sr-90	Co-134, Cs-137	H-3	Sr-90
試料採取	採取方法	ハイボリュームエアサンプラーによる24時間採取 ・採取位置:地表上約1m ・使用する紙:GB-100R	ダストモニタによる連続採取 ・採取位置:地表上約2~3m ・使用する紙:HE-40T	ダストモニタによる連続採取 ・採取位置:地表上約2m ・使用する紙:ICAM/ROLL (フィルターコード:FSLW)	ダストモニタによる連続採取 ・採取位置:地表上約2m ・使用する紙:ICAM/ROLL (フィルターコード:FSLW)	採取はU8容器を用い、様未耕土の表層深さ(0mmから50mm)から一地点あたり5箇所より、約100g程度ずつ5検体、計500g採取する。	採取はU8容器を用い、様未耕土の表層深さ(0mmから50mm)から一地点あたり5箇所より、約100g程度ずつ5検体、計500g採取する。	海面より深さ1mにホースを入れ、ポンプにて2Lポリビンに採取する。	海面より深さ1mにホースを入れ、ポンプにて1Lポリビンに採取する。	海面より深さ1mにホースを入れ、ポンプにて20Lポリタンクに採取する。
	採取容器	ろ紙(GB-100R)	ろ紙(HE-40T)	ろ紙(ICAM/ROLL (フィルターコード:FSLW))	ろ紙(ICAM/ROLL (フィルターコード:FSLW))	U8	U8(採土器使用の場合はビニール袋)	ポリビン	ポリビン	ポリタンク
	採取量	約1.150m ³	約11,000m ³	約1,250m ³	約1,250m ³	約100g×5	約100g×5(採土器使用の場合は約1.2kg×5)	2L	1L	40L
	現場での前処理(酸などの薬品添加を実施しているか)	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	採取器具のコンタミ防止(試料採取器具を適切に使用しているか)	ろ紙に触れる部分を使用毎に洗浄している。	試料毎に分けて採取している。	試料毎に分けて採取している。	試料毎に分けて採取している。	U8容器を直接土壌に埋め込む。U8容器は使い捨て。	U8容器を直接土壌に埋め込む。U8容器は使い捨て。	採取容器については、採取地点毎に新品の容器を使用し、試料水にて共洗いを実施している。	採取容器については、採取地点毎に新品の容器を使用し、試料水にて共洗いを実施している。	採取容器については、採取地点毎に新品の容器を使用し、試料水にて共洗いを実施している。
前処理	方法	24時間集塵し、ろ紙を全量丸めてU8容器底面に収納する。	1ヶ月分の集じんろ紙の集じん箇所を打ち抜き型を用いて打ち抜き、U8容器に収納する。	1ヶ月分の集じんろ紙を全量丸めてU8容器に収納する。	1ヶ月分の集じんろ紙を全量丸めてU8容器に収納する。	採取したU8容器をビニールで密閉し、そのまま測定する。5地点の平均を値とする。	1地点当たり数箇所から採取した試料を混合し、さらに、その試料から均等に分割している。(インクリメント縮分法)	なし	減圧蒸留法	イオン交換法
	分取、縮分の代表性(高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	ろ紙を全量丸めてU8容器底面に収納する。	50φミリの円の中心から47φミリの打ち抜き型を用いて、ろ紙には均等に採取されている。	1ヶ月分の集じんろ紙を全量丸めてU8容器に収納する。	1ヶ月分の集じんろ紙を全量丸めてU8容器に収納する。	5地点で採取した試料を全量測定することで、インクリメント縮分に代えている。	1地点当たり数箇所から採取した試料を混合し、さらに、その試料から均等に分割している。(インクリメント縮分法)	採取容器から全量を測定容器(マリネリ)に移す。	震災前と変更なし	震災前と変更なし
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	・U8容器は、新品を使用しラッピングしている。	・打ち抜きに使用する器具は、検体毎に洗浄している。 ・U8容器は、新品を使用しラッピングしている。	・U8容器は、新品を使用しラッピングしている。	・U8容器は、新品を使用しラッピングしている。	U8容器を包むビニールは表面が汚染する可能性があるため、さらにその上からビニールを被せる。	・試料毎に前処理皿は新品を使用している。 ・試料処理毎に汚染確認を行い、問題ないことを確認している。	測定容器(マリネリ)は測定容器に新品または洗浄品を使用している。 濃度により前処理の建物分けを行っている。	濃度により前処理の建物分けを行っている。	・試料毎に前処理容器は新品または洗浄品を使用している。 ・試料処理毎に汚染確認を行い、問題ないことを確認している。
測定	測定装置	Ge半導体検出装置				Ge半導体検出装置	ローバックグラウンドガスフロー計数装置	Ge半導体検出装置	ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置	ローバックグラウンドガスフロー計数装置
	測定試料状態	生				湿土	乾土	生	生	生
	測定容器	U8容器				U8容器	ステンレス皿(25mmφ)	2Lマリネリ容器	100mLフロンバイアル	ステンレス皿(25mmφ)
	供試料	測定吸気量:約1150m ³ /24h (ろ紙枚数:1枚)		測定吸気量:約90m ³ /6h (ろ紙枚数:約12枚)	測定吸引量:約10.5m ³ /6h(ろ紙1ロール)	約100g×5	100g	2L	50mL	40L
	測定時間	21,600秒	20,000秒	21,600秒	80,000秒	3,600秒	3,600秒	80,000秒	500分	3,600秒
	測定下限値	約0.05~0.08mBq/m ³	約0.03~0.08mBq/m ³	約0.01~0.03mBq/m ³	約0.05~0.08mBq/m ³	約5~20Bq/kg湿	約0.2~0.5Bq/kg	約0.05~0.1Bq/L	約0.32~0.46Bq/L	約0.0007~0.01Bq/L
	測定時間の設定理由	Cs核種の検出を考慮し、測定可能な時間を採用した。				Cs核種が検出される時間に設定。	震災前と変更なし	震災前と変更なし	震災前と変更なし	震災前と変更なし
	測定下限値の設定理由	21,600秒測定したときの数値である。	20,000秒測定したときの数値である。	21,600秒測定したときの数値である。	80,000秒測定したときの数値である。	3,600秒測定したときの数値である。	震災前と変更なし	震災前と同様の測定時間で得られる検出下限値。	震災前と変更なし	震災前と変更なし
	測定値の補正計算法(半減期、含水率など)	震災前と同様に核種毎の半減期による補正を行い、試料採取日の濃度としている。		震災前と同様に核種毎の半減期による補正を行い、試料採取日の濃度としている。	核種毎の半減期による補正を行う。核種毎の濃度としている。	震災前と同様に核種毎の半減期による補正を行い、試料採取日の濃度としている。乾土率補正は未実施である。	震災前と変更なし	震災前と同様に核種毎の半減期による補正を行い、試料採取日の濃度としている。	震災前と変更なし	震災前と変更なし
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。				定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	試料毎に新品のバイアルス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。
校正	使用線源	Cd-109, Co-57.60, Cs-137, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-54, Y-88				Cd-109, Co-57.60, Cs-137, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-54, Y-88	Sr-90	Cd-109, Co-57.60, Cs-137, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-54, Y-88	H-3	Sr-90
		日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。								
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施				(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)JOC分析確認調査時使用試料にて効率確認。	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)メーカーによる簡易点検、精密点検、各1回。精密点検時に、密封線源により効率確認。	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)JOC分析確認調査時使用試料にて効率確認。
BG測定頻度	月1回 200,000秒				月1回 200,000秒	測定の都度	月1回 200,000秒	測定の都度	測定の都度	
事故後の測定法の採用理由	震災前の環境放射能測定マニュアルに準拠しつつ、測定可能な方法(測定器、環境)を考慮し採用した。									
マニュアル(事故前)との違い	なし	ろ紙の灰化処理をしていない。(震災後はろ紙直接測定)	ろ紙の灰化処理をしていない。(ろ紙直接測定。震災前は未実施。)	ろ紙の灰化処理をしていない。自然乾燥含め乾燥作業はしていない。	なし	なし	リンモリブデン酸アンモニウム法及び二酸化マンガンを共洗剤を用いた前処理をしていない。(採取した海水を直接マリネリ容器にて測定)	なし	なし	
マニュアル(事故前)に戻せない理由	—	—	高濃度から低濃度まで様々な濃度がある。福島市世木野に原子力センターを移設するにあたり、付近住民との申し合わせで放射性物質の濃縮や化学分離操作などの前処理を行わないことになっていた。環境放射能センターが開所したため、平成28年度からマニュアルに戻していく予定。	高濃度から低濃度まで様々な濃度がある。福島市世木野に原子力センターを移設するにあたり、付近住民との申し合わせで放射性物質の濃縮や化学分離操作などの前処理を行わないことになっていた。環境放射能センターが開所したため、平成28年度からマニュアルに戻していく予定。	—	—	福島市世木野に原子力センターを移設するにあたり、付近住民との申し合わせで放射性物質の濃縮や化学分離操作などの前処理を行わないことになっていた。環境放射能センターが開所したため、平成28年度からマニュアルに戻していく予定。	—	—	
その他、日頃、分析を行う上で課題となっている事項	測定地点の整理(測定継続の有無)。継続の場合、分析方法の検討(震災前の方法を目指すものと緊急時モニタリングの方法を継続するもの)	分析方法の検討(ろ紙の灰化処理の実施等。)	測定地点の整理(測定継続の有無)。継続の場合、分析方法の検討(震災前の方法を目指すものと緊急時モニタリングの方法を継続するもの)	測定地点の整理(測定継続の有無)。継続の場合、分析方法の検討(震災前の方法を目指すものと緊急時モニタリングの方法を継続するもの)	—	—	震災前の前処理方法への移行方法と移行時期。試料数とそれに対応する設備・器具・分析員の手配。	—	—	

項目	試料名	海産土		松葉		降下物			陸水	
		種類	Ce-134, Ce-137	Sr-90	福島第一原子力発電所から30km圏内	比較地点※1	福島第一原子力発電所から30km圏内	比較地点※1		比較地点(福島市方木田)
試料採取	採取方法	探泥器により、バケツに採取する。	探泥器により、バケツに採取する。	採取地点付近にある樹木より2年葉を採取する。	採取地点毎に新品の袋に採取している。	建物屋上に水盤を設置し、1ヶ月後に盤内の水を全量採取する。	容器は据え置き又は地点毎に専用としている。	地点毎に専用としている。	容器は据え置き。	各地点の上水(水道水)を蛇口よりポリタンクに採取。
	採取容器	バケツ	バケツ	ビニール袋		ポリタンク				ポリタンク
	採取量	3kg程度	3kg程度	40g程度		降水量により異なる				20L
	現場での前処理(酸などの薬品添加を実施しているか)	なし	なし	なし		なし				なし
	採取器具のコンタミ防止(試料採取器具を適切に使用しているか)	使用毎に洗浄している	探泥器は地点毎に新品を使用し、探泥器は使用毎に洗浄している。							
前処理	方法	105°Cの乾燥機にて乾燥させ、インクリメント縮分方法により縮分する。	105°Cに調整した乾燥機で乾燥し放冷し、インクリメント縮分方法により縮分した試料を用いてイオン交換法	松葉の入ったビニール袋を丸めてU8容器に収納する。(灰化せず生状態で測定)	採取時点て40gを全量U8容器に入れる	均一になるようにかき混ぜながら、2L分取する。	全量をガスコンロで2Lまで濃縮する。	全量をガスコンロで濃縮し、残渣をU8容器に採取する。		無し
	分取、縮分の代表性(高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	1地点当たり数箇所から採取した試料を混合し、さらにその試料から均等に分取している。(インクリメント縮分法)	1地点当たり数箇所から採取した試料を混合し、さらにその試料から均等に分取している。(インクリメント縮分法)			撚拌を行う		なし		撚拌を行う
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	試料毎に、U8容器は新品を使用しラッピングしている。	・試料毎に前処理皿は新品を使用している。 ・試料処理毎に汚染確認を行い、問題ないことを確認している。	試料毎に、U8容器は新品を使用しラッピングしている。			測定容器(マリネリ内)を養生するビニール袋は測定の都度新品に交換している。	測定容器(U-8)は試料毎に新品を使用している。		
測定	測定装置	Ge半導体検出装置	ローバックグラウンドガスフロー計数装置	Ge半導体検出装置		Ge半導体検出装置				Ge半導体検出装置
	測定試料状態	乾土	乾土	生		生		乾		生
	測定容器	U8容器	ステンレス皿(25mmφ)	U8容器		2Lマリネリ容器		U8容器		2Lマリネリ容器
	供試料	約100g	100g	約40g		2L		残渣量により異なる。		2L
	測定時間	80,000秒	3,600秒	3,600秒	10,800秒	80,000秒	21,600秒	80,000秒		80,000秒
	測定下限値	約0.5~1.5Bq/kg乾	約0.15~0.25Bq/kg	約6~10Bq/Kg生	約4~6Bq/Kg生	降水量により異なる	約2.0~4.0MBq/km ²	約0.1~0.2MBq/km ² 程度		約0.05~0.1Bq/L
	測定時間の設定理由	震災前と変更なし	震災前と変更なし	Cs核種の検出を考慮し、測定可能な時間を採用した。		震災前と変更なし	Cs核種の検出を考慮し、測定可能な時間を採用した。	震災前と変更なし		震災前と変更なし
	測定下限値の設定理由	震災前と同様の測定時間で得られる検出下限値。	震災前と変更なし	3,600秒測定したときの数値である。	10,800秒測定したときの数値である。	震災前と変更なし	21,600秒測定したときの数値である。	震災前と変更なし		震災前と変更なし
	測定値の補正計算法(半減期、含水率など)	震災前と同様に核種毎の半減期による補正を行い、試料採取日の濃度としている。	震災前と変更なし	震災前と同様に核種毎の半減期による補正を行い、試料採取日の濃度としている。 なお、灰化率の補正は未実施である。		震災前と同様に核種毎の半減期による補正を行い、試料採取日の濃度としている。		震災前と同様に核種毎の半減期による補正を行い、試料採取日の濃度としている。		震災前と同様に核種毎の半減期による補正を行い、試料採取日の濃度としている。
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。		定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。		定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。		定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。
校正	使用線源	Cd-109, Co-57,60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-54, Y-88	Sr-90	Cd-109, Co-57,60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-54, Y-88		Cd-109, Co-57, 60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-54, Y-88		Cd-109, Co-57,60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-54, Y-88		Cd-109, Co-57,60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-54, Y-88
		日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。								
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	(納入時)メーカーにて効率校正 (年1回)JCAC分析確認調査時使用試料にて効率確認	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施		(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施		(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施		(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施
BG測定頻度	月1回 200,000秒	測定の都度	月1回 200,000秒		月1回 200,000秒		月1回 200,000秒		月1回 200,000秒	
事後の測定法の採用理由	—	なし	震災前の環境放射能測定マニュアルに準拠しつつ、測定可能な方法(測定器、環境)を考慮し採用した。		震災前の環境放射能測定マニュアルに準拠しつつ、測定可能な方法(測定器、環境)を考慮し採用した。		—		震災前の環境放射能測定マニュアルに準拠しつつ、測定可能な方法(測定器、環境)を考慮し採用した。	
マニュアル(事故前)との違い	なし	なし	試料を直接測定しており、マニュアルに示す灰化は実施していない。		蒸発乾固濃縮していない。	濃縮を行うが、乾固はさせず2Lマリネリ容器で測定。	なし。		蒸発乾固濃縮していない	
マニュアル(事故前)に不適合理由	—	—	高濃度から低濃度まで様々なため、灰化した場合にコンタミの恐れがある。福島市笹木野に原子力センターを移設するにあたり、付近住民との申し合わせで放射性物質の濃縮や化学分離操作などの前処理を行わないことになっていた。環境放射能センターが開設したため、平成28年度からマニュアルに戻していく予定。		高濃度から低濃度まで様々なため、灰化した場合にコンタミの恐れがある。福島市笹木野に原子力センターを移設するにあたり、付近住民との申し合わせで放射性物質の濃縮や化学分離操作などの前処理を行わないことになっていた。環境放射能センターが開設したため、平成28年度からマニュアルに戻していく予定。	時間が掛かるため、結果を速やかに出すことができない。	—		高濃度から低濃度まで様々なため、灰化した場合にコンタミの恐れがある。福島市笹木野に原子力センターを移設するにあたり、付近住民との申し合わせで放射性物質の濃縮や化学分離操作などの前処理を行わないことになっていた。環境放射能センターが開設したため、平成28年度からマニュアルに戻していく予定。	
その他、日頃、分析を行う上で課題となっている事項	—	—	測定地点の整理(測定継続の有無)。継続の場合、分析方法の検討(震災前の方法を目指す物と緊急時モニタリングの方法を継続する物の整理)		測定地点の整理(測定継続の有無)。継続の場合、分析方法の検討(震災前の方法を目指す物と緊急時モニタリングの方法を継続する物の整理)		—		震災前の前処理方法への移行方法と移行時期。試料数とそれに対応する設備・器具・分析員の手配。	

※1平成27年6月分以降の検体のみ(平成27年5月分までは福島第一原子力発電所から30km以内と同様。)

各地点の空間線量率等の変動グラフ

平成27年10月～12月

福島県

目次

空間線量率

1	いわき市小川	1
2	いわき市久之浜	2
3	いわき市下桶売	3
4	いわき市川前	4
5	田村市都路馬洗戸	5
6	広野町二ツ沼	6
7	広野町小滝平	7
8	檜葉町山田岡	8
9	檜葉町木戸ダム	9
10	檜葉町繁岡	10
11	檜葉町松館	11
12	檜葉町波倉	12
13	富岡町上郡山	13
14	富岡町下郡山	14
15	富岡町深谷	15
16	富岡町富岡	16
17	富岡町夜の森	17
18	川内村下川内	18
19	大熊町向畑	19
20	大熊町熊川	20
21	大熊町南台	21
22	大熊町大野	22
23	大熊町夫沢	23
24	双葉町山田	24
25	双葉町郡山	25
26	双葉町新山	26
27	双葉町上羽鳥	27
28	浪江町請戸	28
29	浪江町棚塩	29
30	浪江町浪江	30
31	浪江町幾世橋	31
32	浪江町大柿ダム	32
33	浪江町南津島	33
34	葛尾村夏湯	34
35	南相馬市泉沢	35
36	南相馬市横川ダム	36

大気浮遊じん(推移)

1	いわき市小川	37
2	田村市都路馬洗戸	38
3	広野町小滝平	39
4	檜葉町木戸ダム	40
5	檜葉町繁岡	41
6	富岡町富岡	42
7	川内村下川内	43
8	大熊町大野	44
9	大熊町夫沢	45
10	双葉町郡山	46
11	浪江町幾世橋	47
12	浪江町大柿ダム	48
13	葛尾村夏湯	49
14	南相馬市泉沢	50

大気浮遊じん(相関図)

1	いわき市小川	51
2	田村市都路馬洗戸	51
3	広野町小滝平	52
4	檜葉町木戸ダム	52
5	檜葉町繁岡	53
6	富岡町富岡	53
7	川内村下川内	54
8	大熊町大野	54
9	大熊町夫沢	55
10	双葉町郡山	55
11	浪江町幾世橋	56
12	浪江町大柿ダム	56
13	葛尾村夏湯	57
14	南相馬市泉沢	57

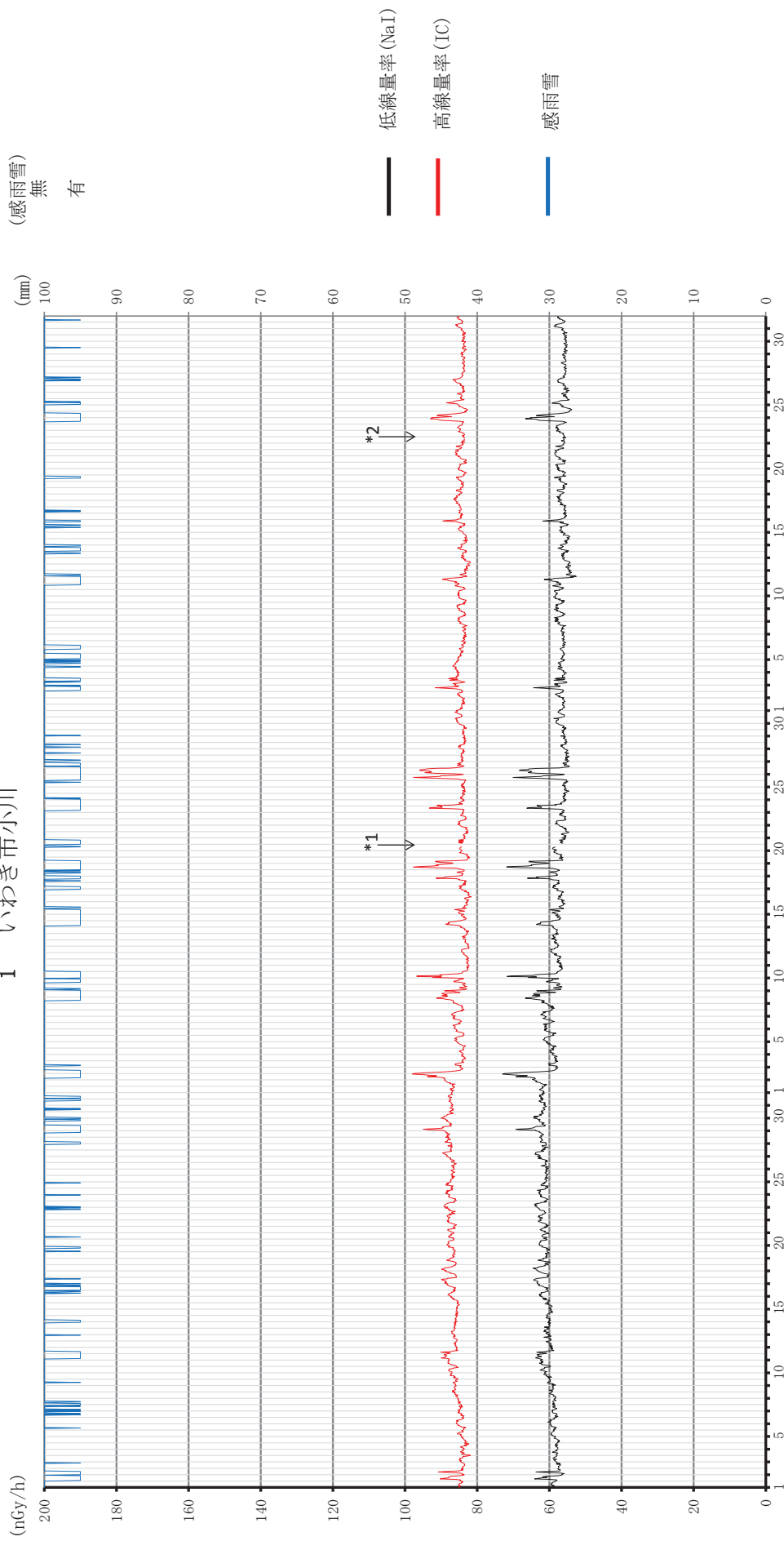
空間線量率(比較対照)

1-1	福島市紅葉山(3m)	58
1-2	福島市紅葉山(1m)	59
2	郡山市日和田	60
3	いわき市平	61

※ 図中の「事故前の最大値」は、平成23年3月10日までに観測された最大値

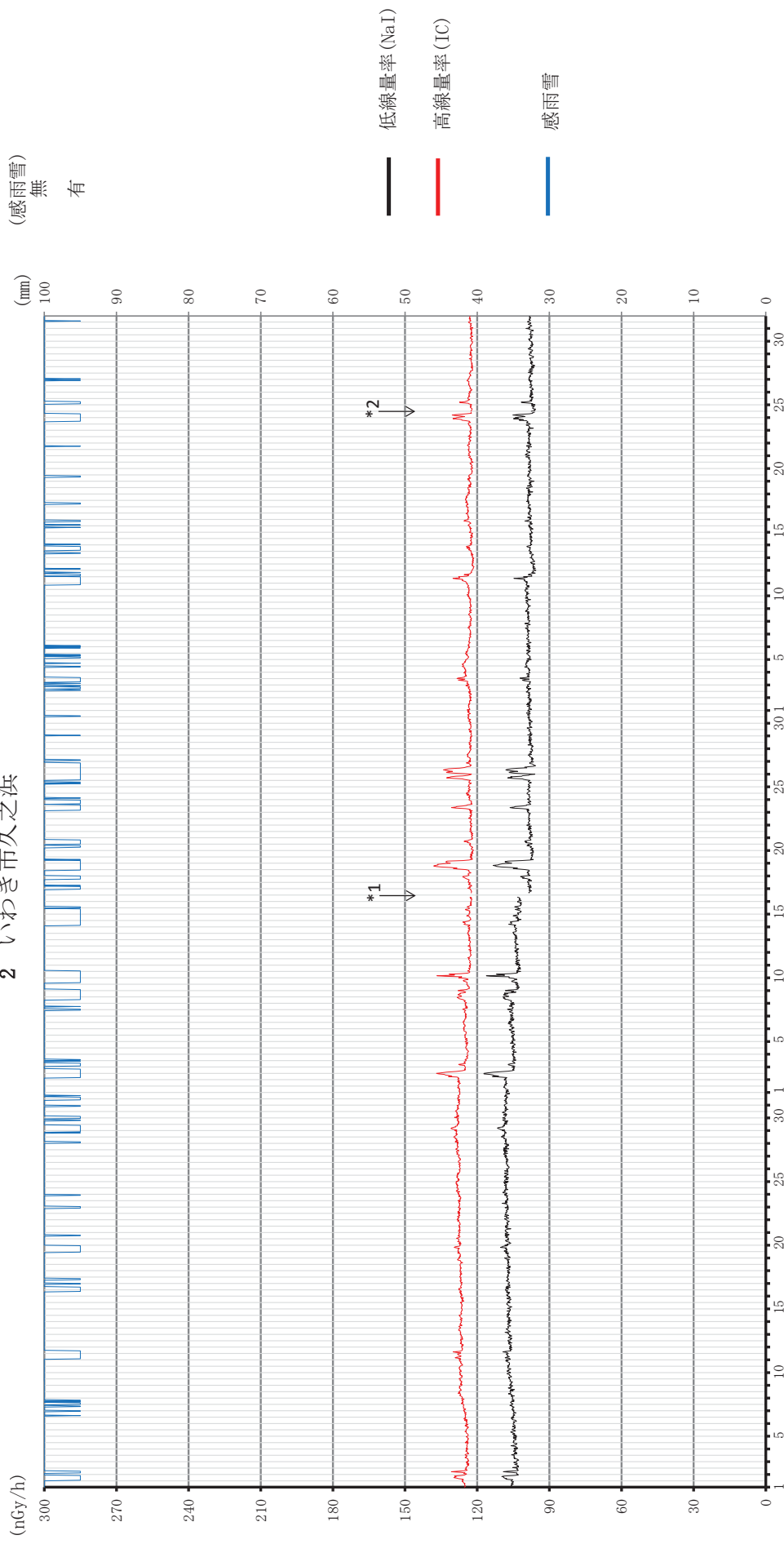
空間線量率の変動グラフ

1 いわき市小川



*1 11月20日はシステム点検(測定局)のため欠測
*2 12月22日はシステム改修作業のため欠測

空間線量率の変動グラフ
2 いわき市久之浜



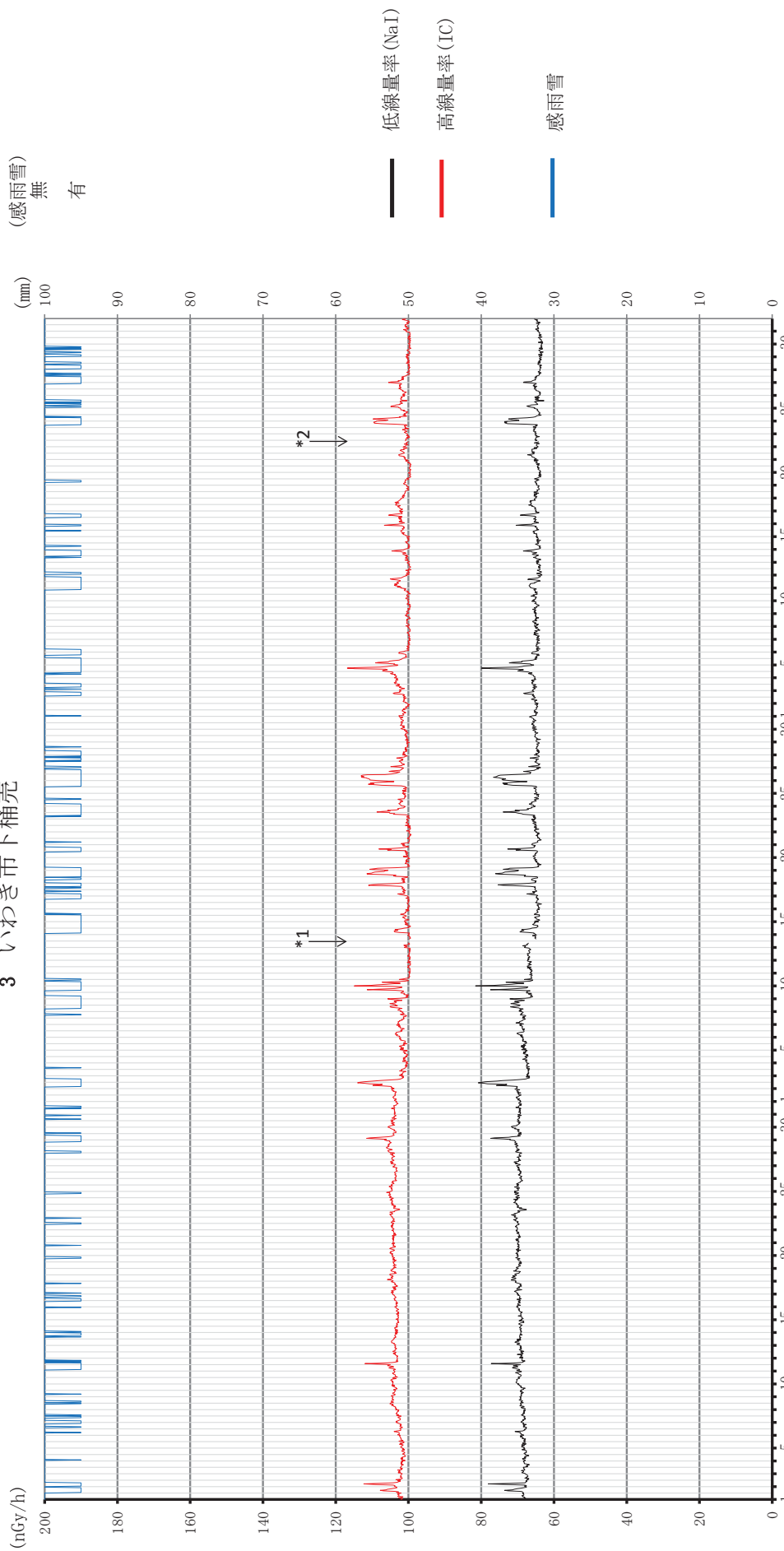
10月

11月

12月

*1 11月16日はシステム点検(測定局)のため欠測
*2 12月24日はシステム改修作業のため欠測

空間線量率の変動グラフ
3 いわき市下桶売



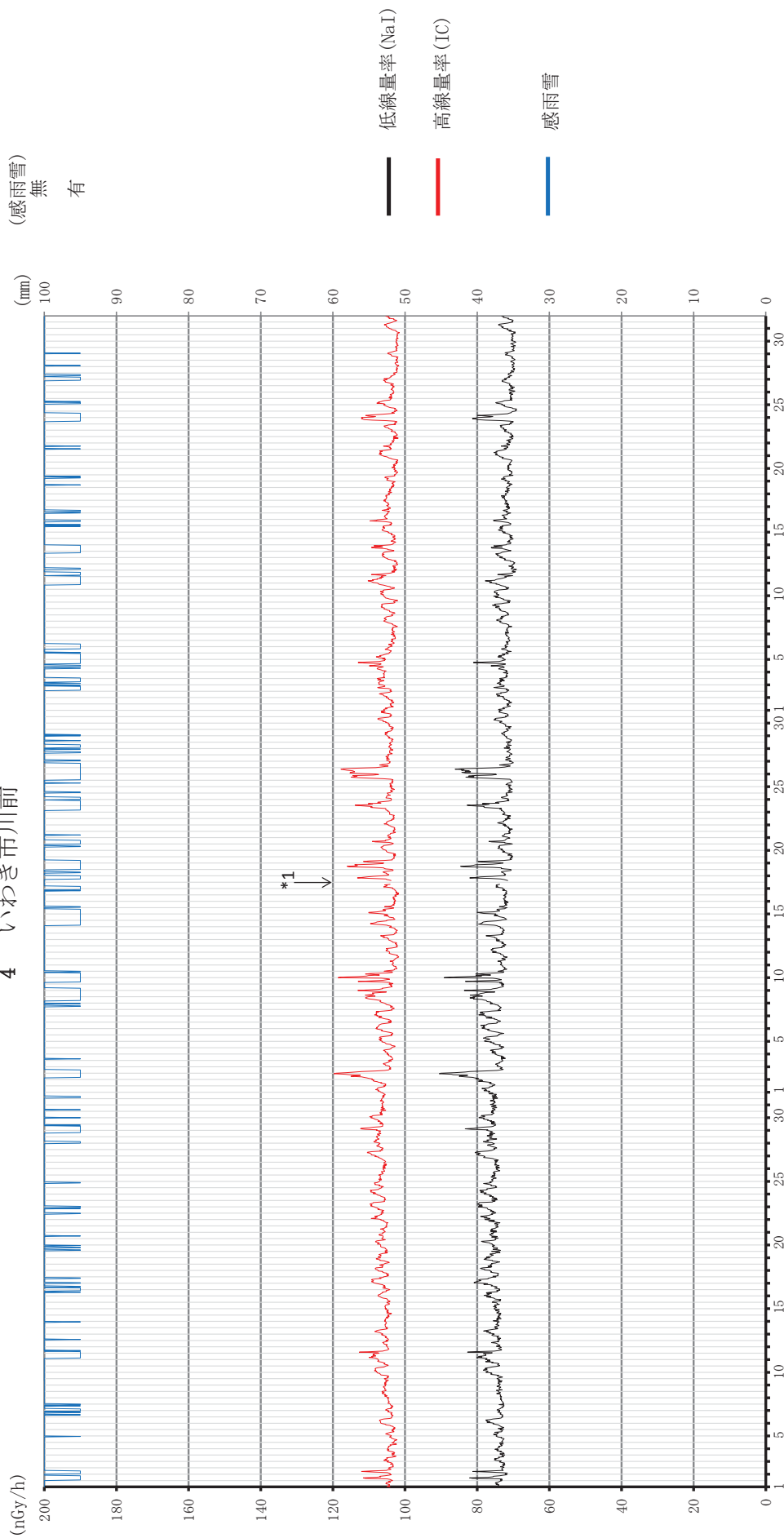
10月

11月

12月

*1 11月13日はシステム点検（測定局）のため欠測、なお、低線量計の調整の影響により指示値が低下した
*2 12月22日はシステム改修作業のため欠測

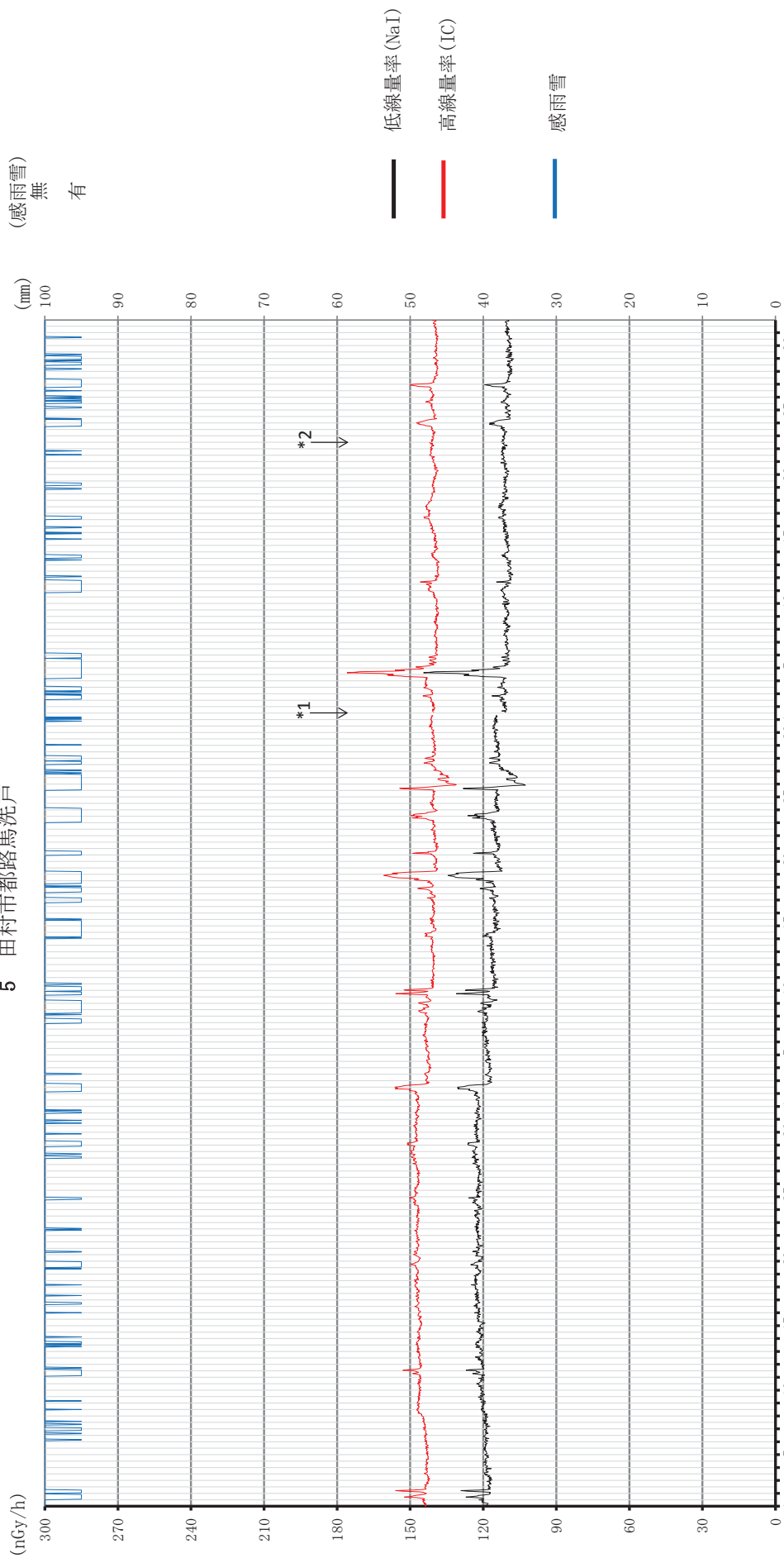
空間線量率の変動グラフ
4 いわき市川前



11月
*1 11月17日はシステム点検（測定局）のため欠測

空間線量率の変動グラフ

5 田村市都路馬洗戸



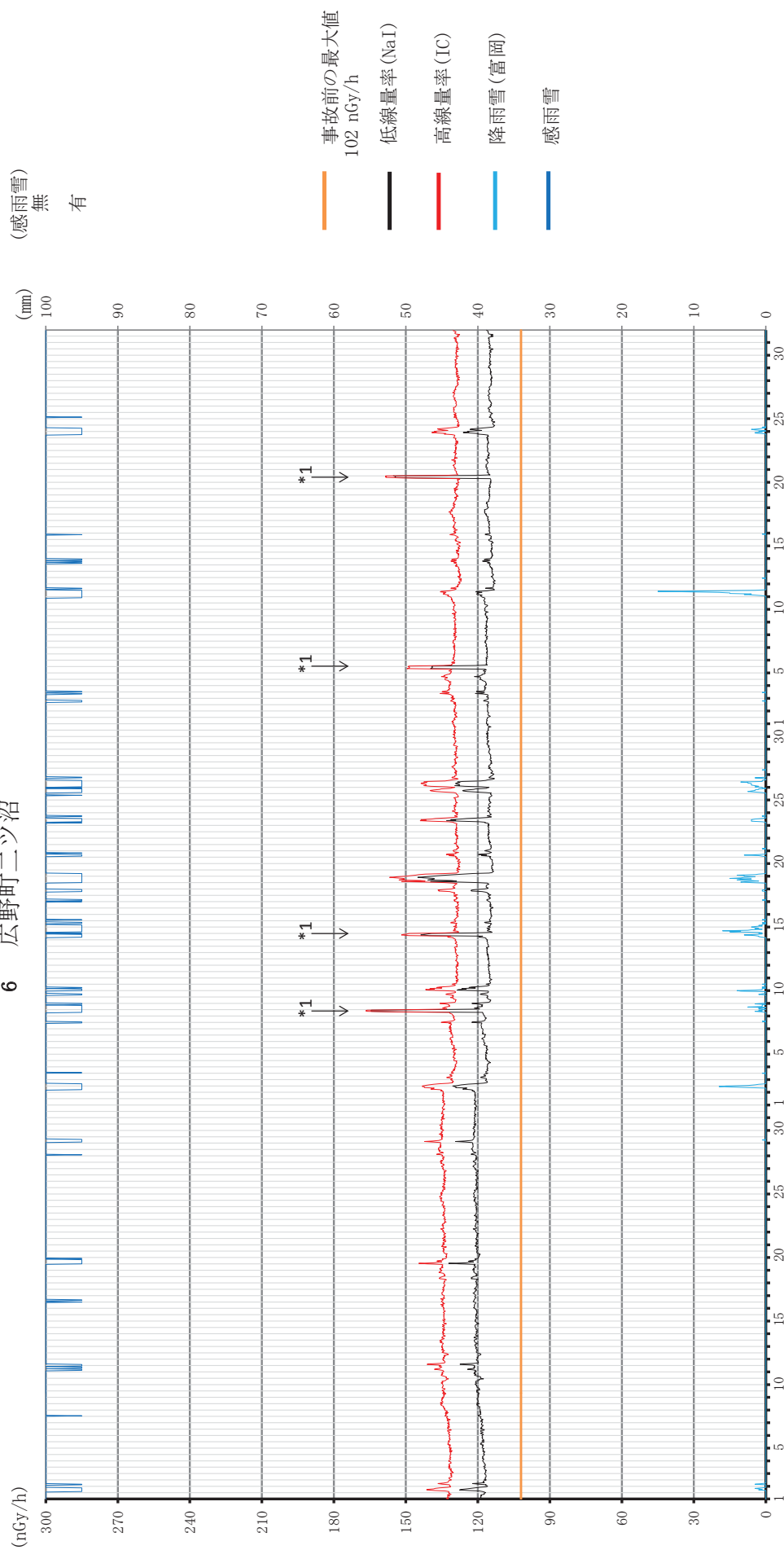
10月

11月

12月

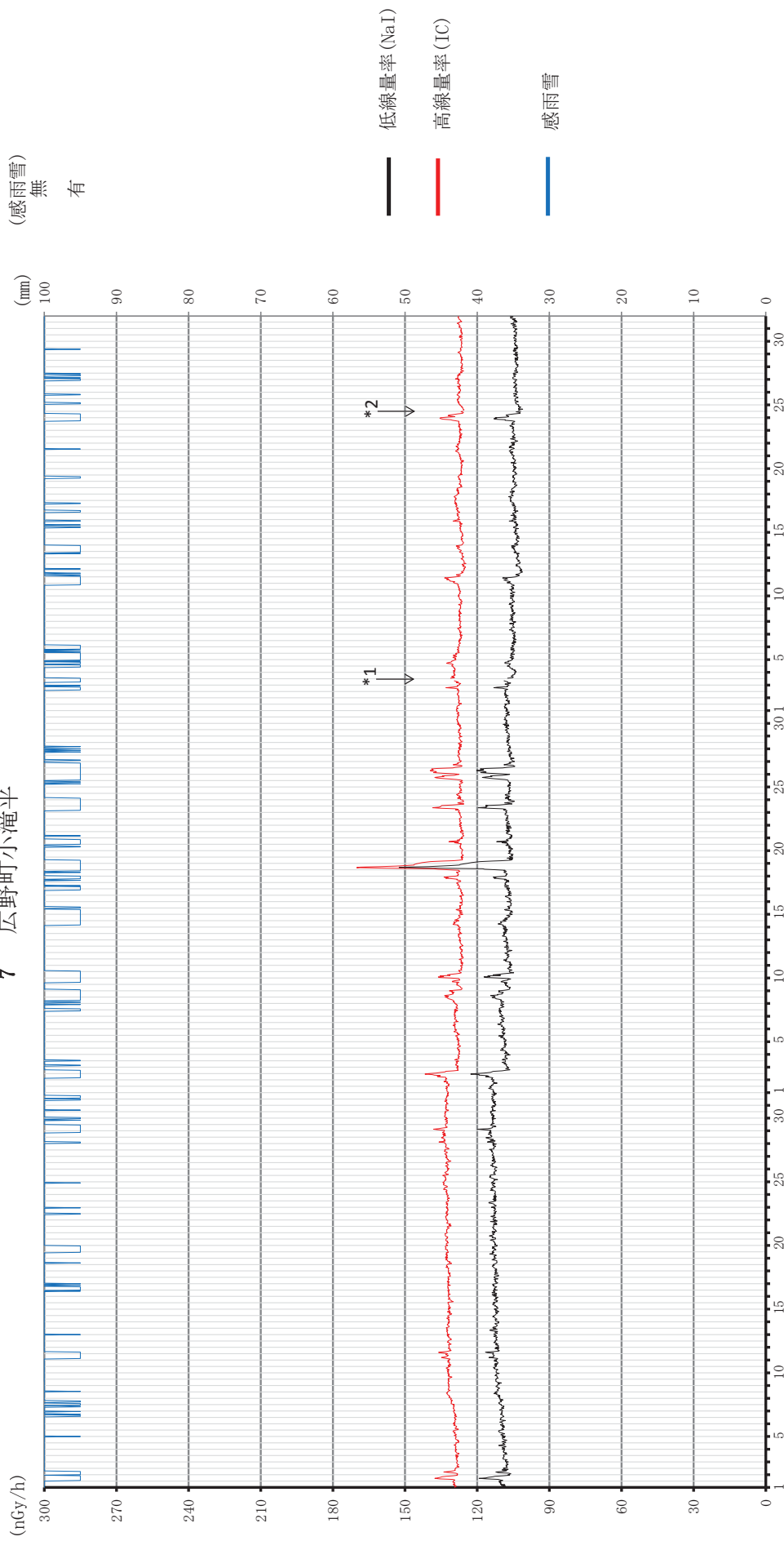
*1 12月1日はシステム点検(測定局)のため欠測、なお、低線量計の調整の影響により指示値が低下した
*2 12月22日はシステム改修作業のため欠測

空間線量率の変動グラフ
6 広野町二ツ沼



10月
11月
12月
*1 11月8日、11月14日、12月5日及び12月20日は局舎近傍に線量が高い車両が駐車したことに起因する線量率上昇と推測

空間線量率の変動グラフ
7 広野町小滝平

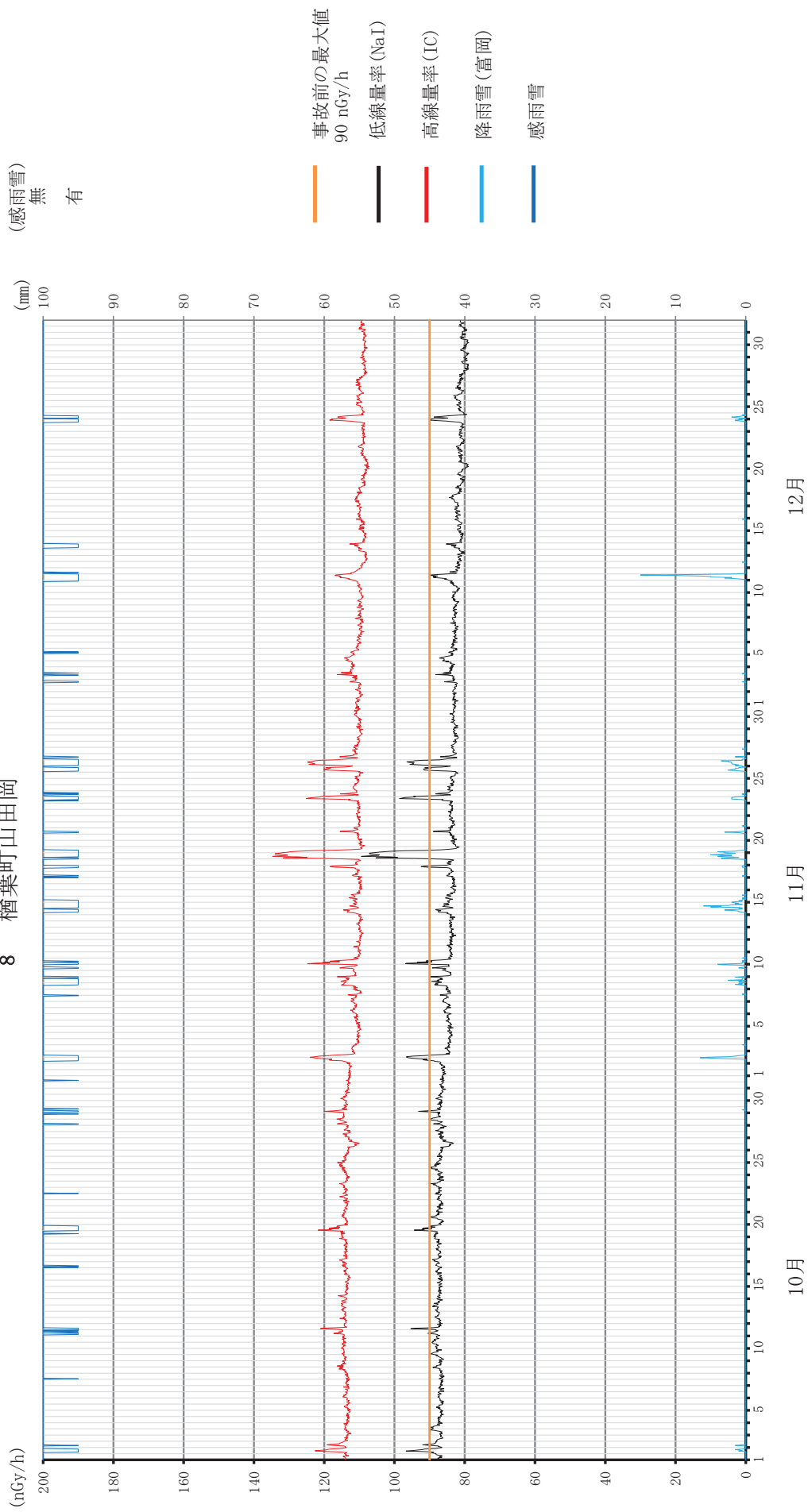


(感雨雪)
無
有

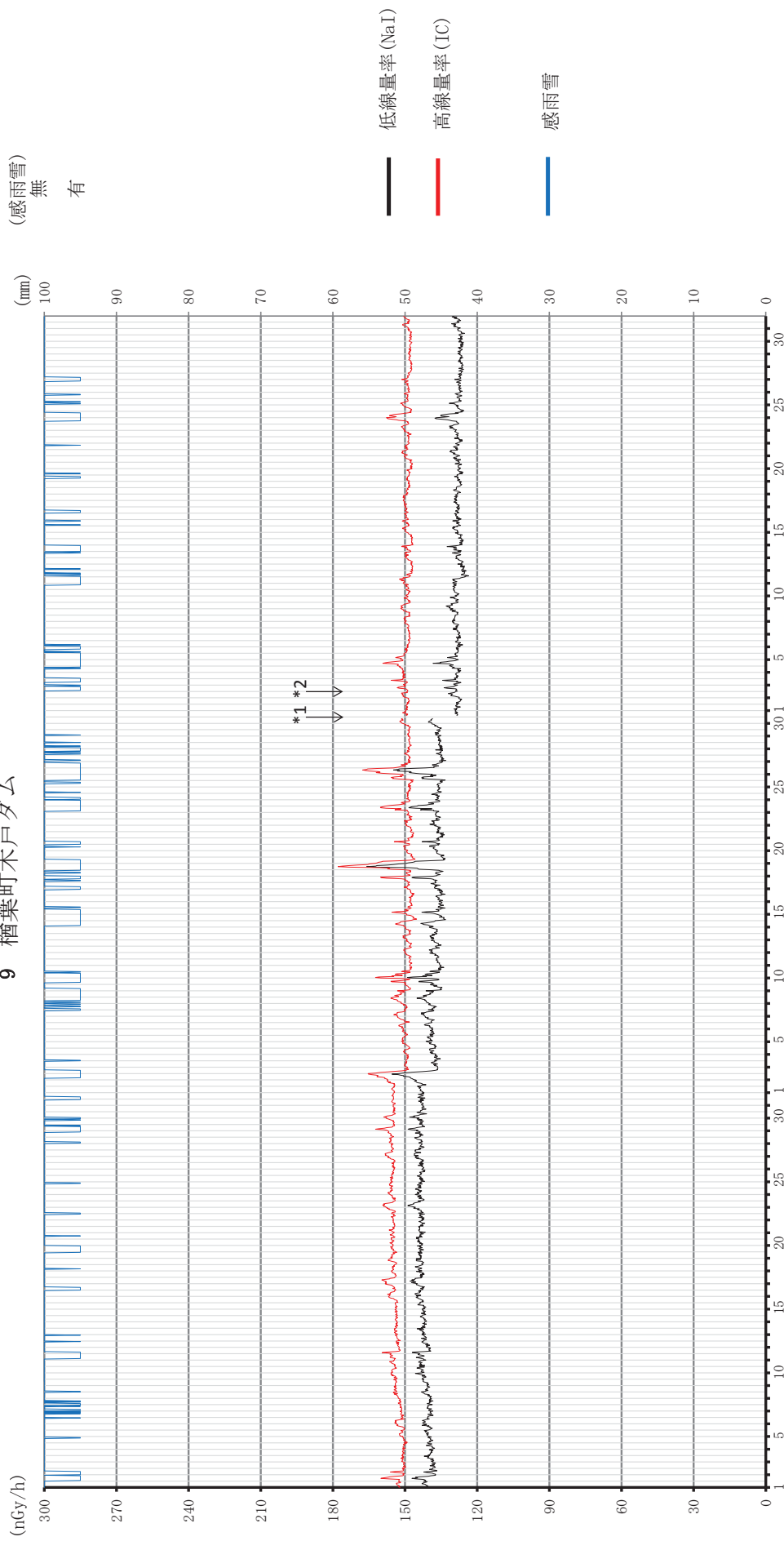
— 低線量率 (NaI)
— 高線量率 (IC)
— 感雨雪

10月 11月 12月
*1 12月3日はシステム点検(測定局)のため欠測
*2 12月24日はシステム改修作業のため欠測

空間線量率の変動グラフ
8 榎葉町山田岡



空間線量率の変動グラフ
9 榎葉町木戸ダム



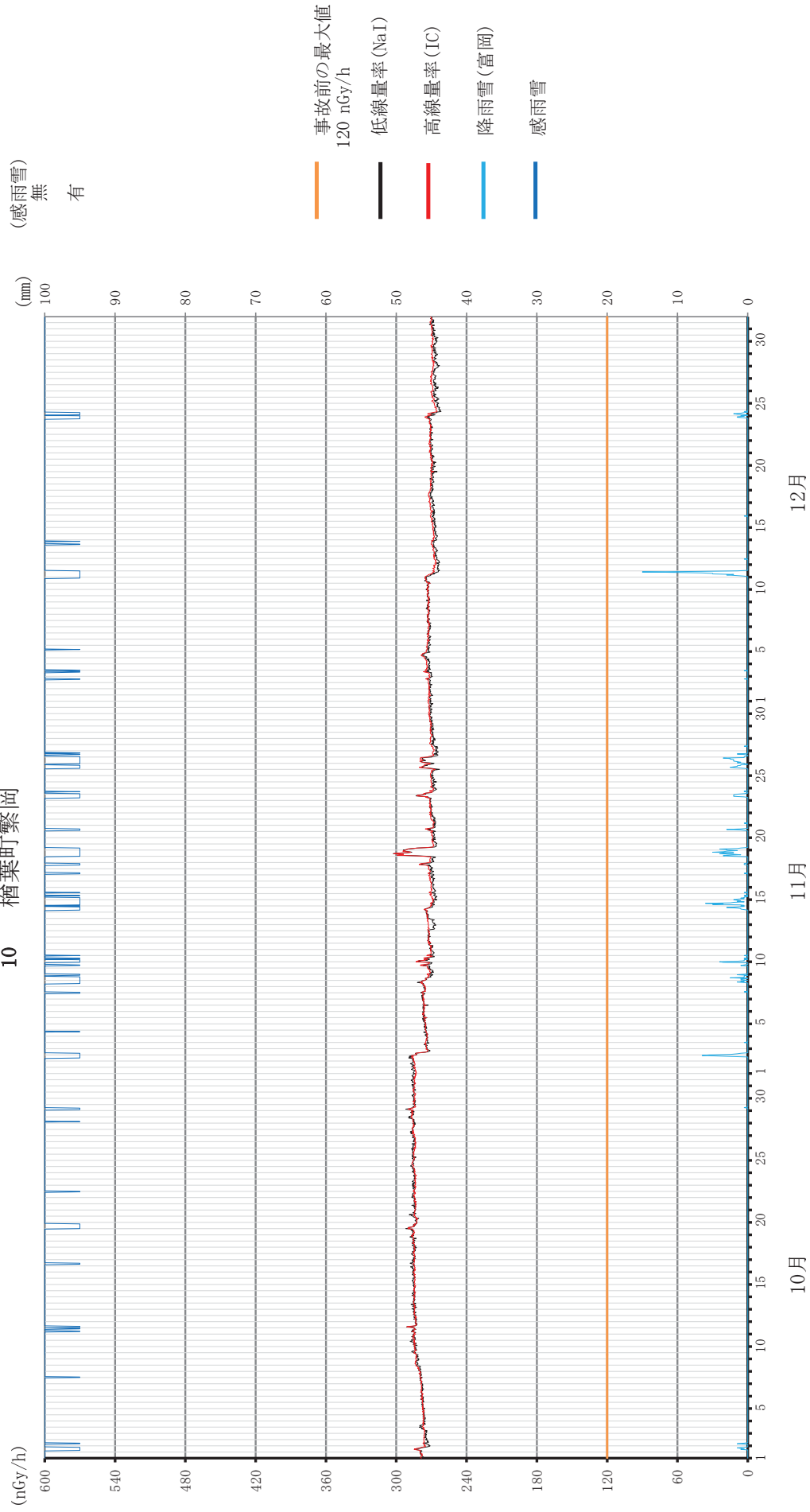
10月

11月

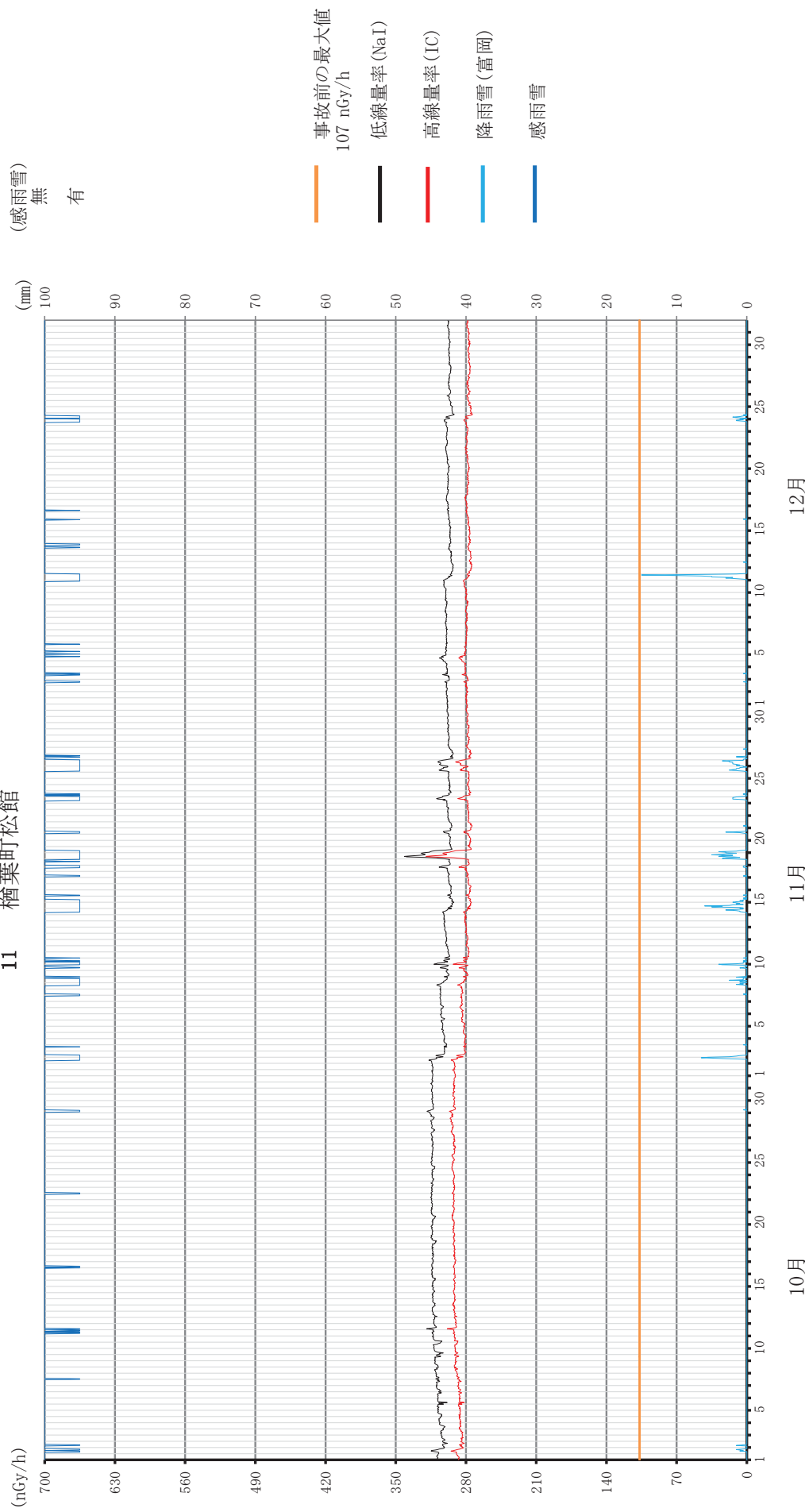
12月

*1 11月30日はシステム点検(測定局)のため欠測、なお、低線量計の調整の影響により指示値が低下した
*2 12月2日はシステム点検(データセンター)のため欠測

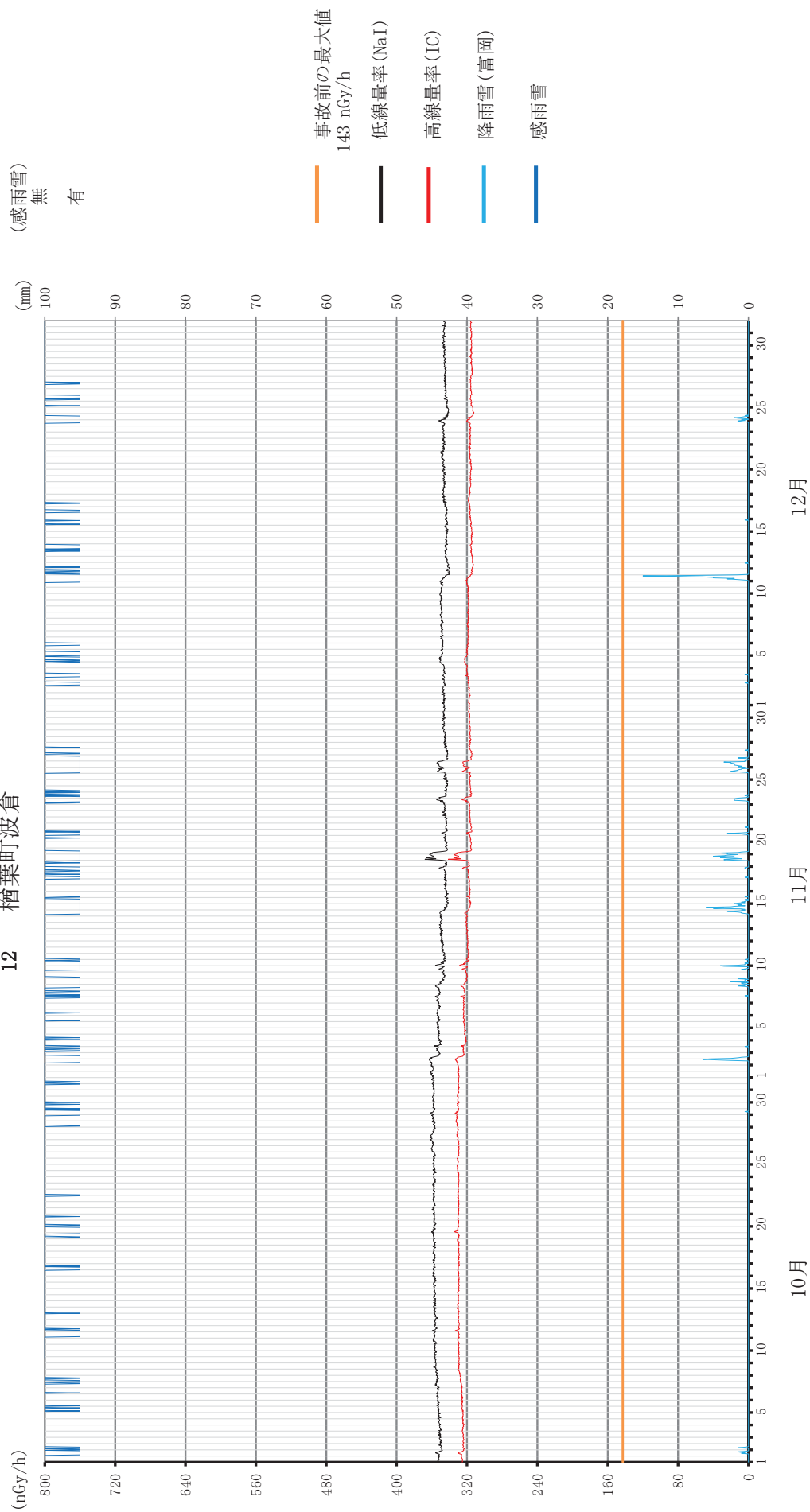
空間線量率の変動グラフ
10 榎葉町繁岡



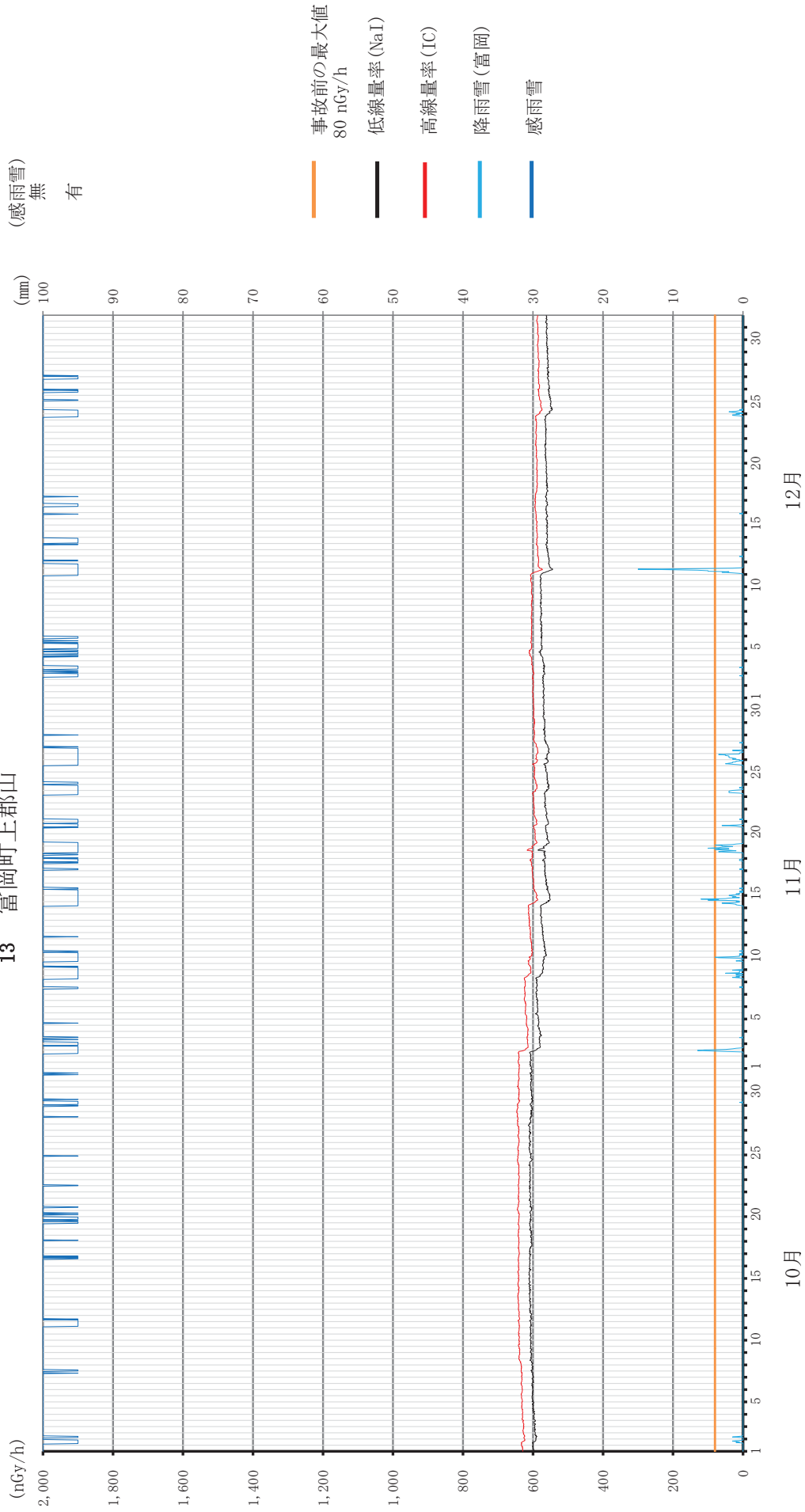
空間線量率の変動グラフ
11 榎葉町松館



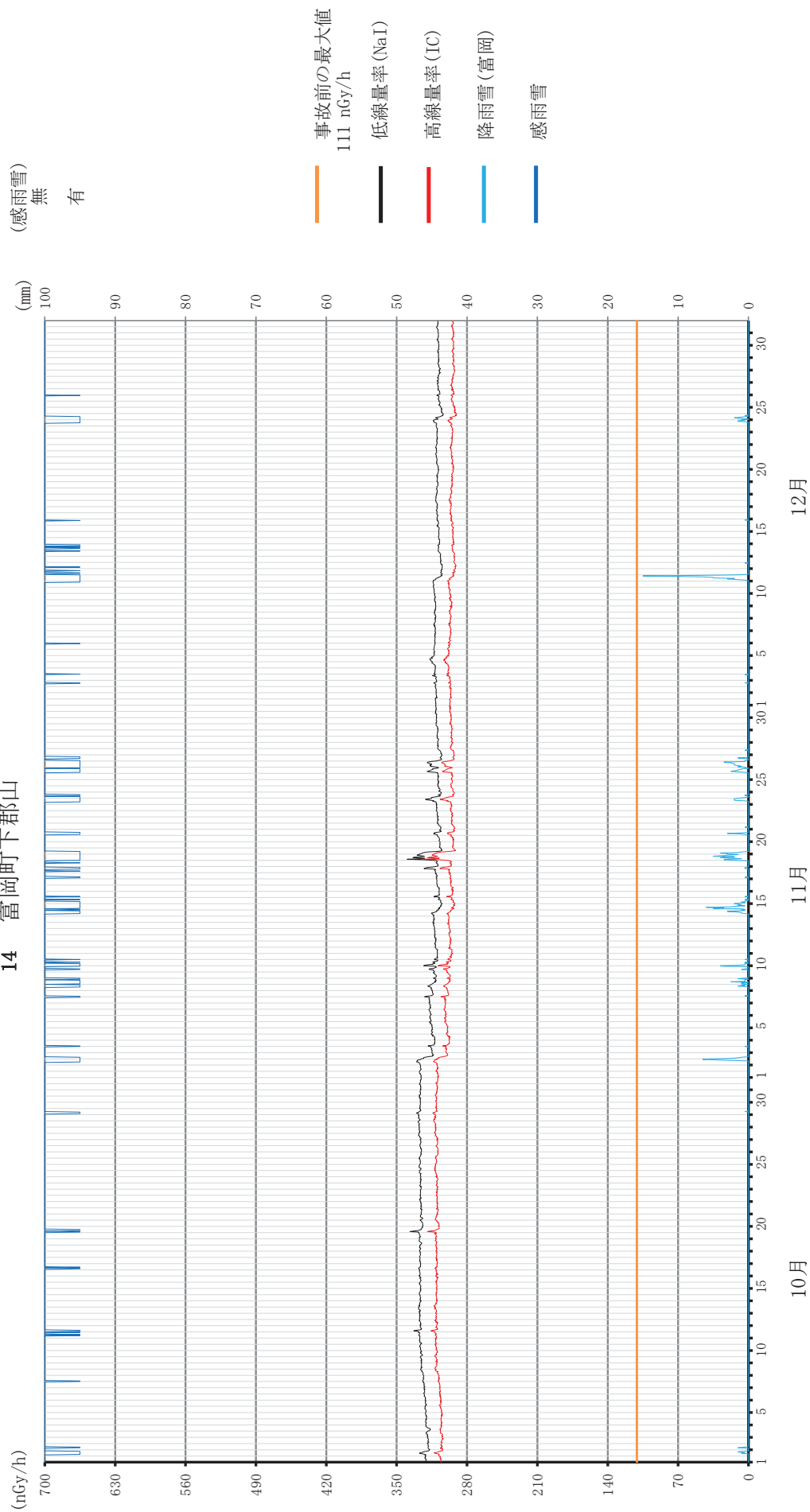
空間線量率の変動グラフ
12 榎葉町波倉



空間線量率の変動グラフ
13 富岡町上郡山

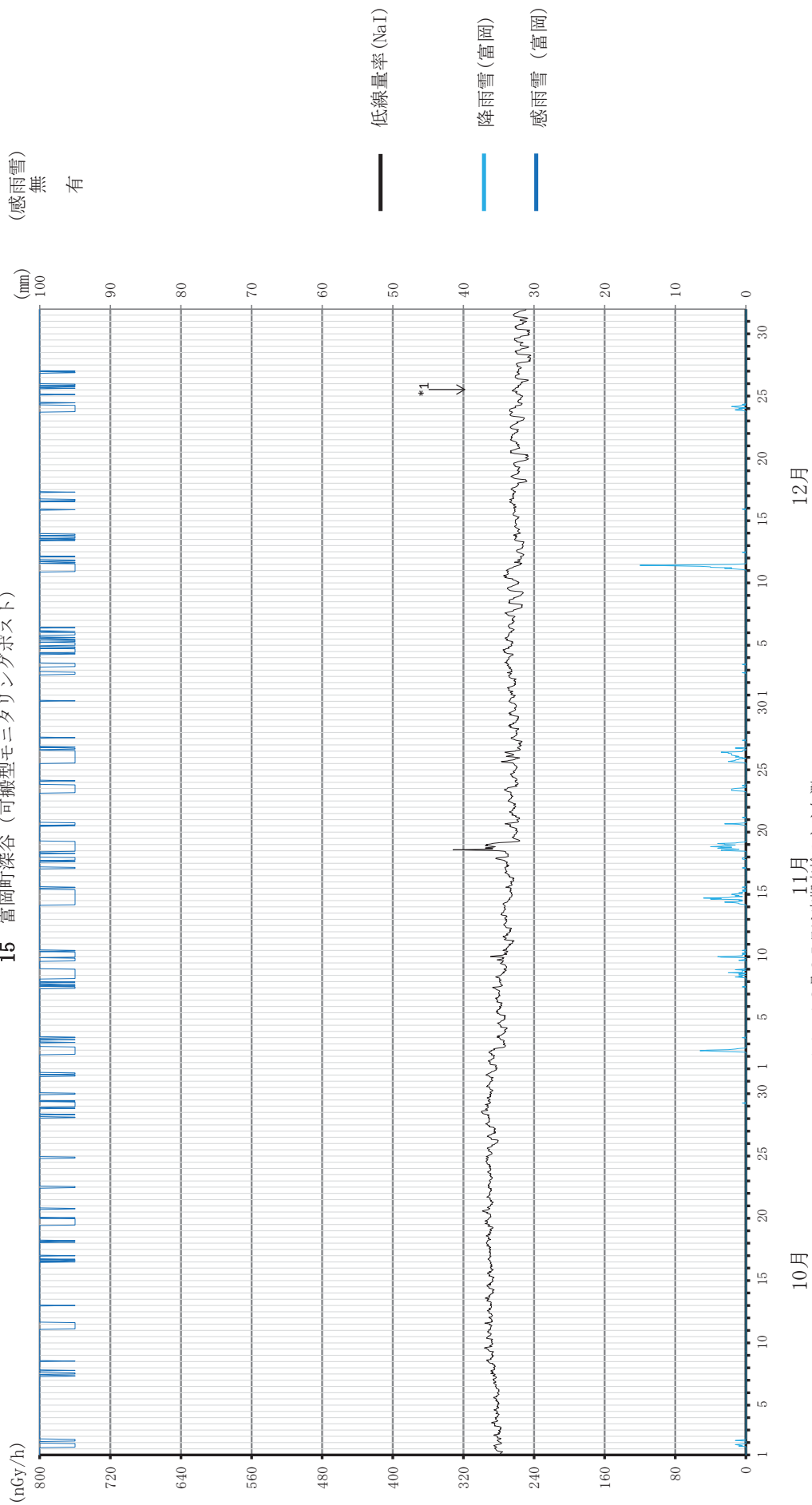


空間線量率の変動グラフ
14 富岡町下郡山



空間線量率の変動グラフ

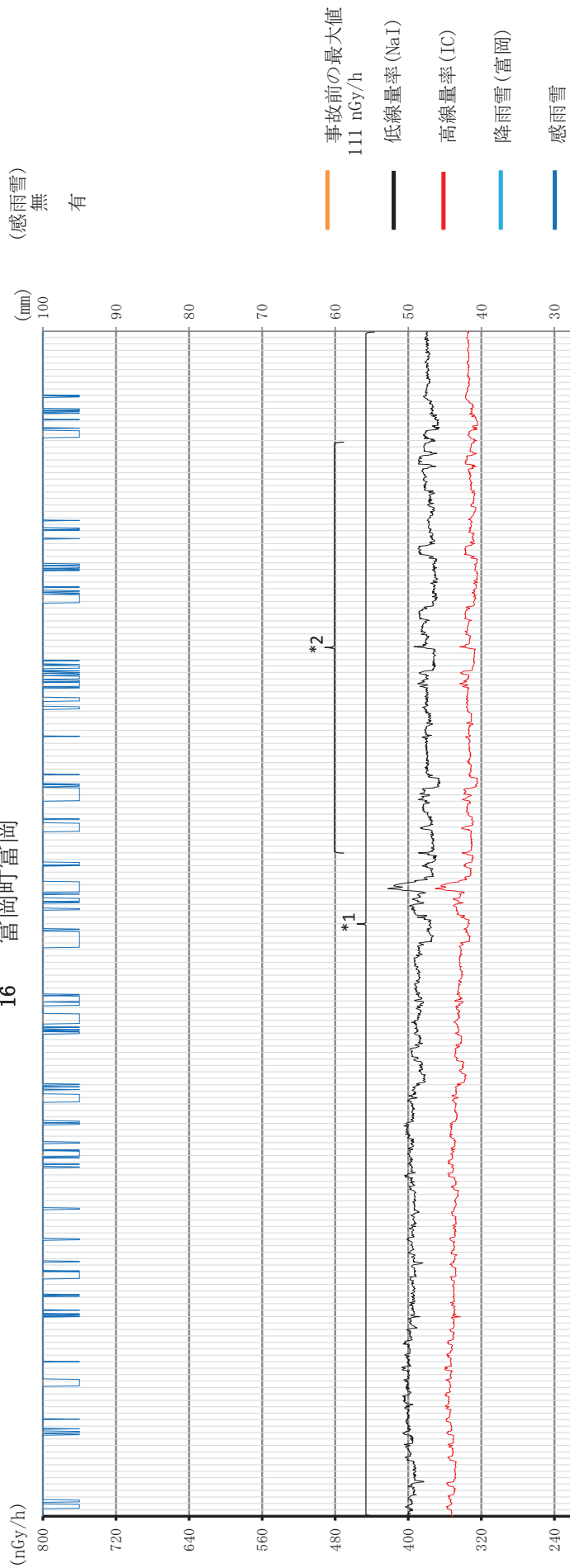
15 富岡町深谷（可搬型モニタリングポスト）



*1 11月25日は定期点検のため欠測

空間線量率の変動グラフ

16 富岡町富岡



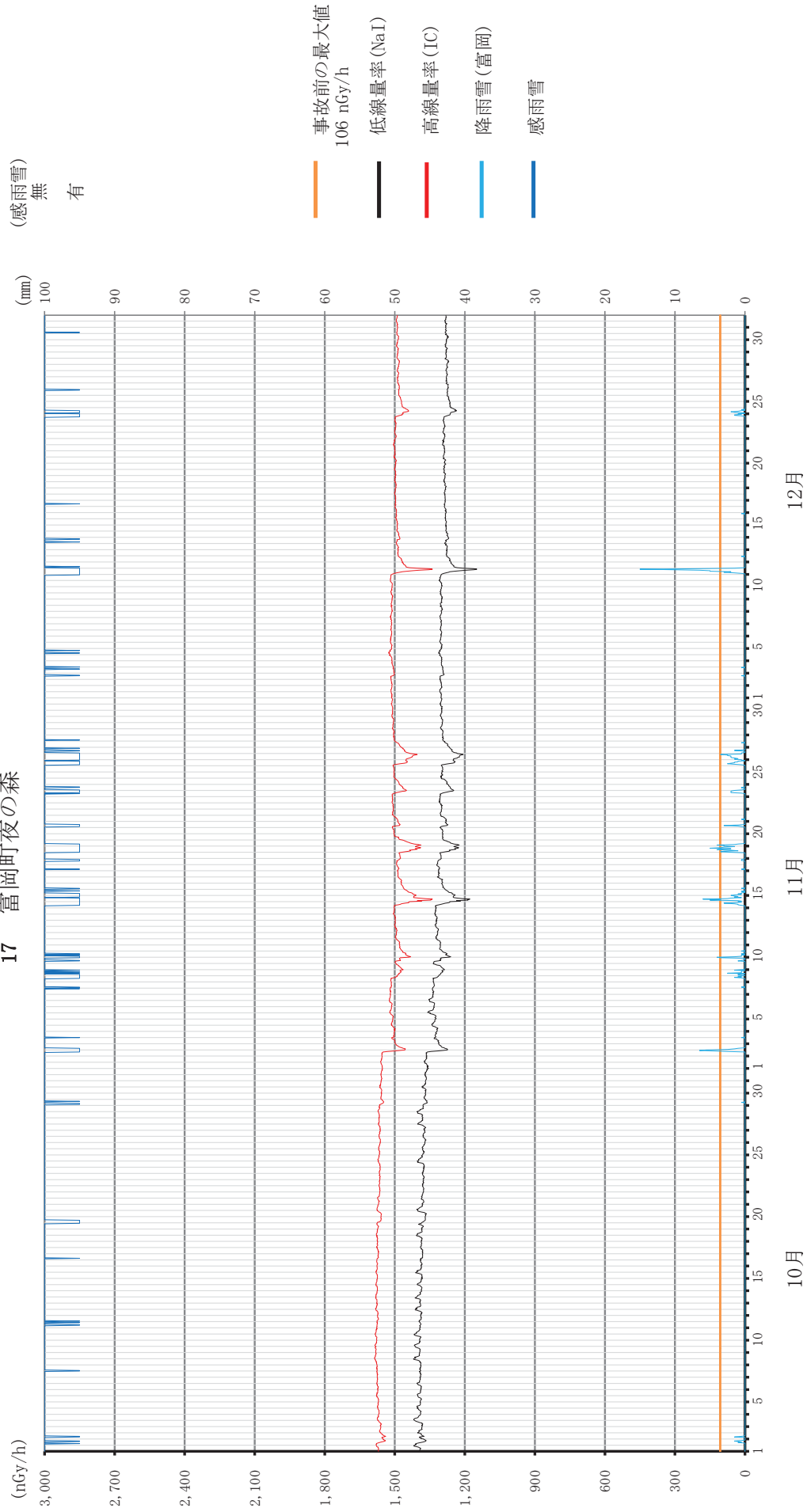
10月

11月

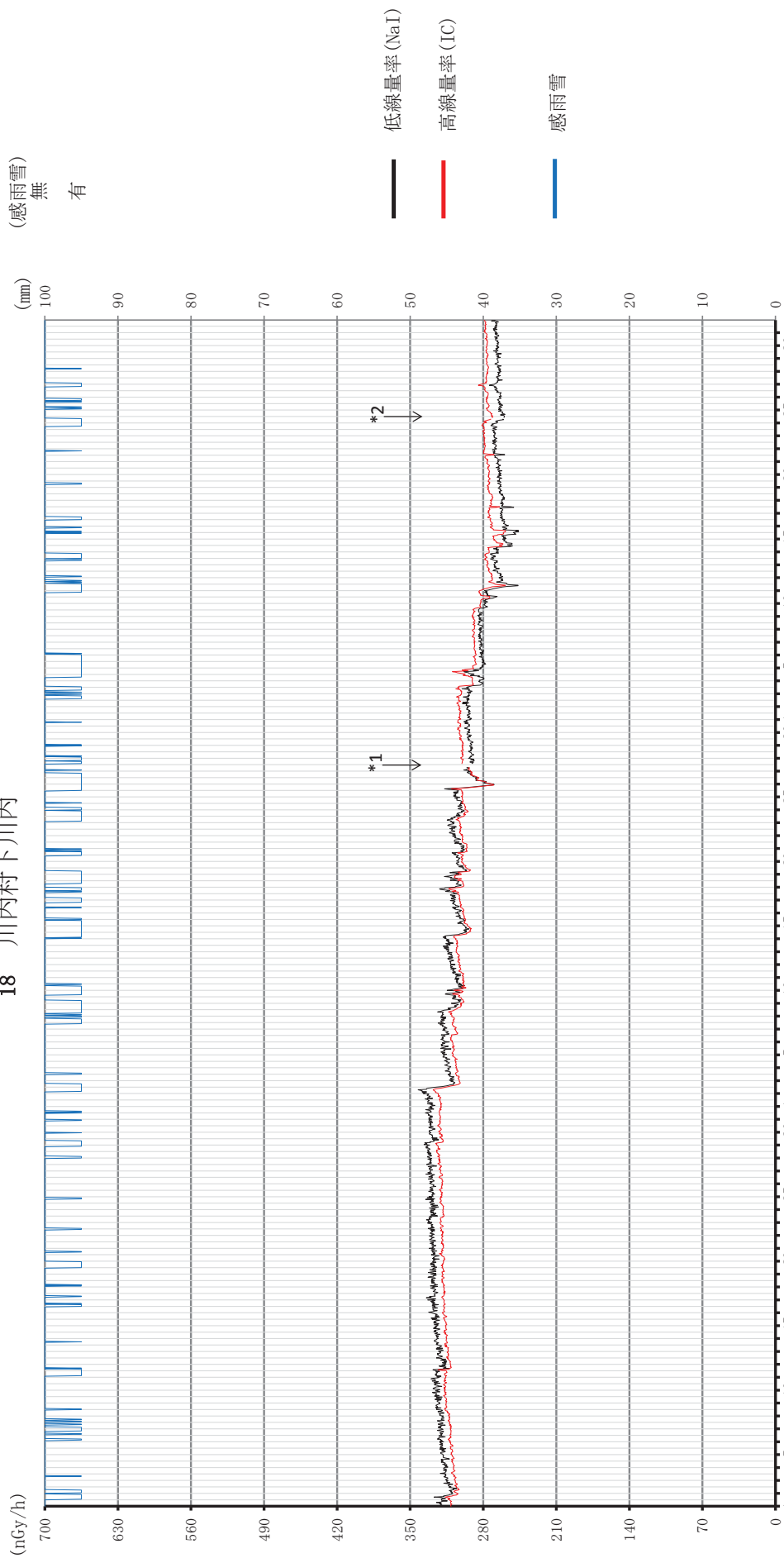
12月

*1 モニタリングポスト周辺で夜間等に停車した車両の遮蔽による線量率低下
*2 11月21日～12月24日は除染廃棄物積載車両駐車による線量率上昇

空間線量率の変動グラフ 17 富岡町夜の森



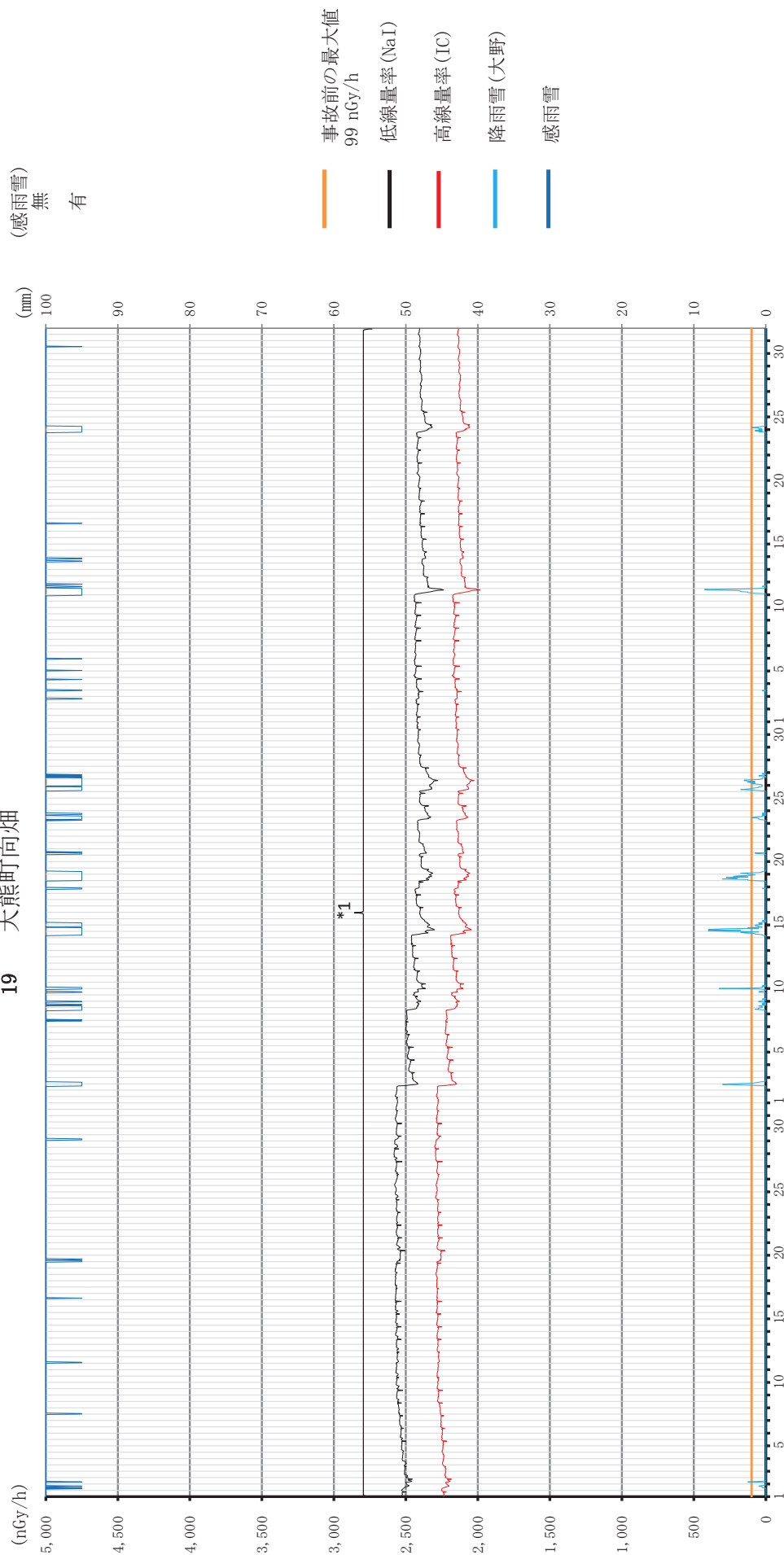
空間線量率の変動グラフ
18 川内村下川内



10月
11月
12月

*1 11月27日はシステム点検（測定局）のため欠測、なお、低線量計の調整の影響により指示値が低下した
*2 12月24日はシステム改修作業のため欠測

空間線量率の変動グラフ
19 大熊町向畑



10月

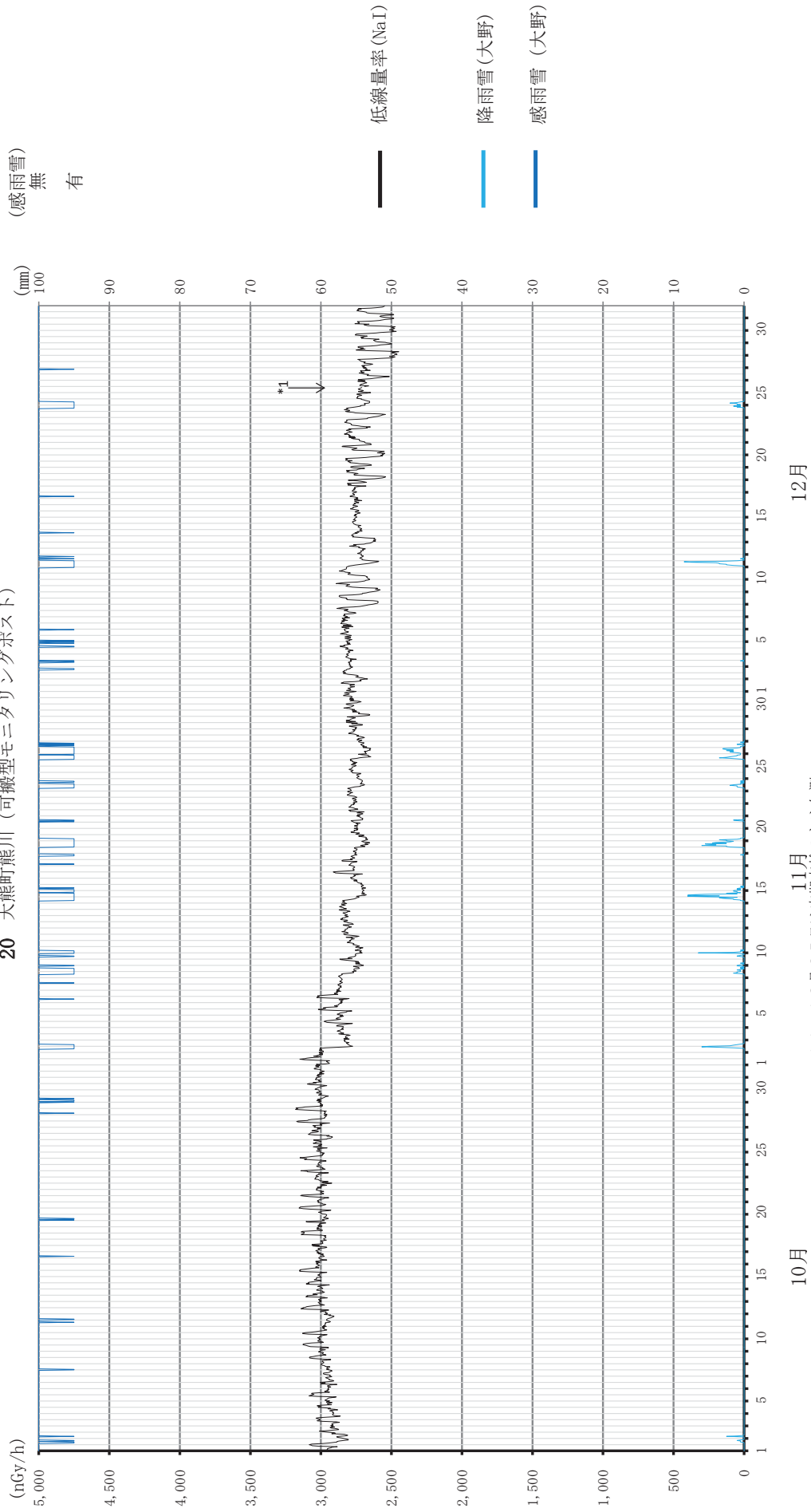
11月

12月

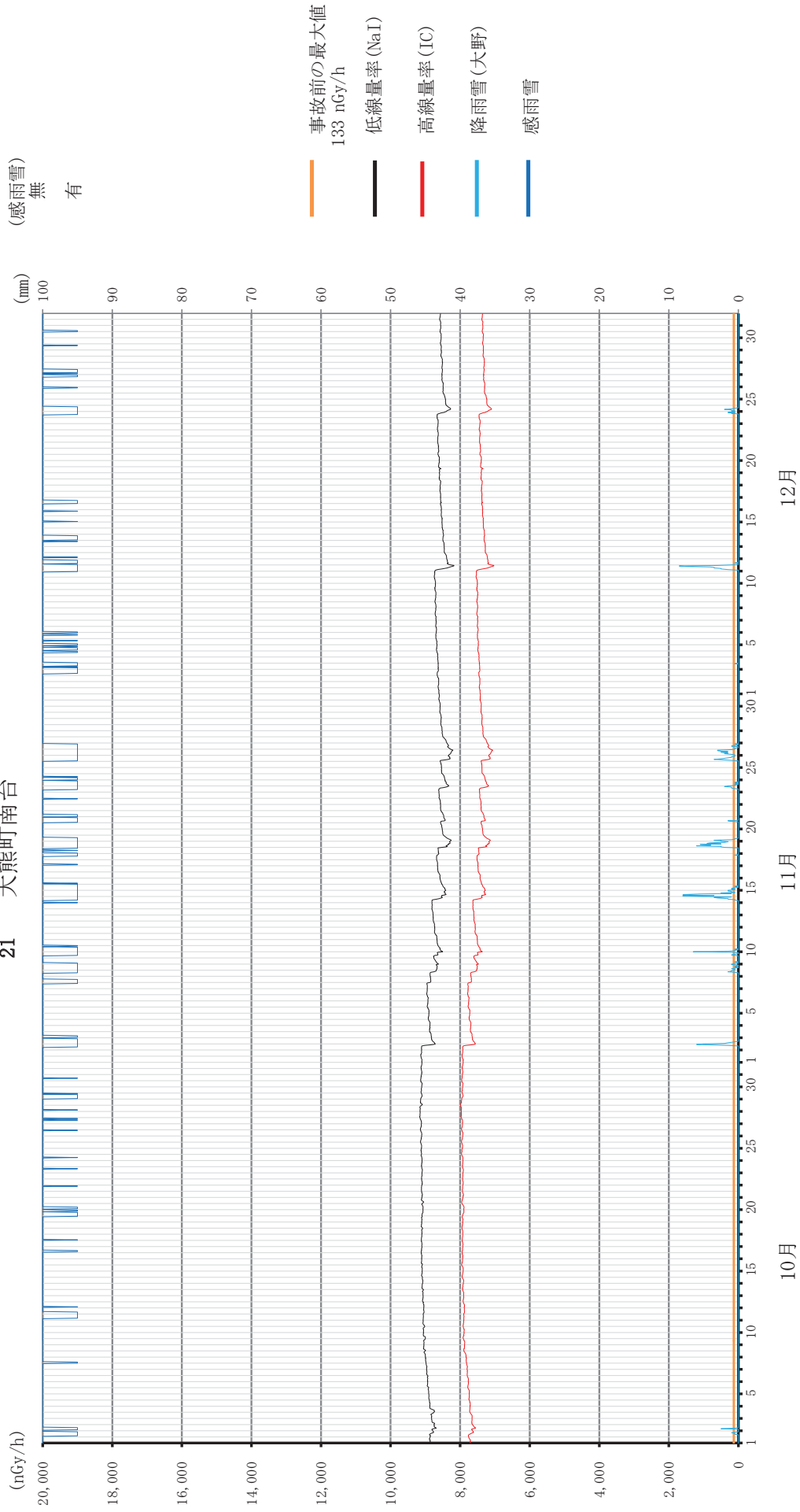
*1 入域ゲート通過渋滞に伴う車面の遮蔽効果による定期的な線量率低下

空間線量率の変動グラフ

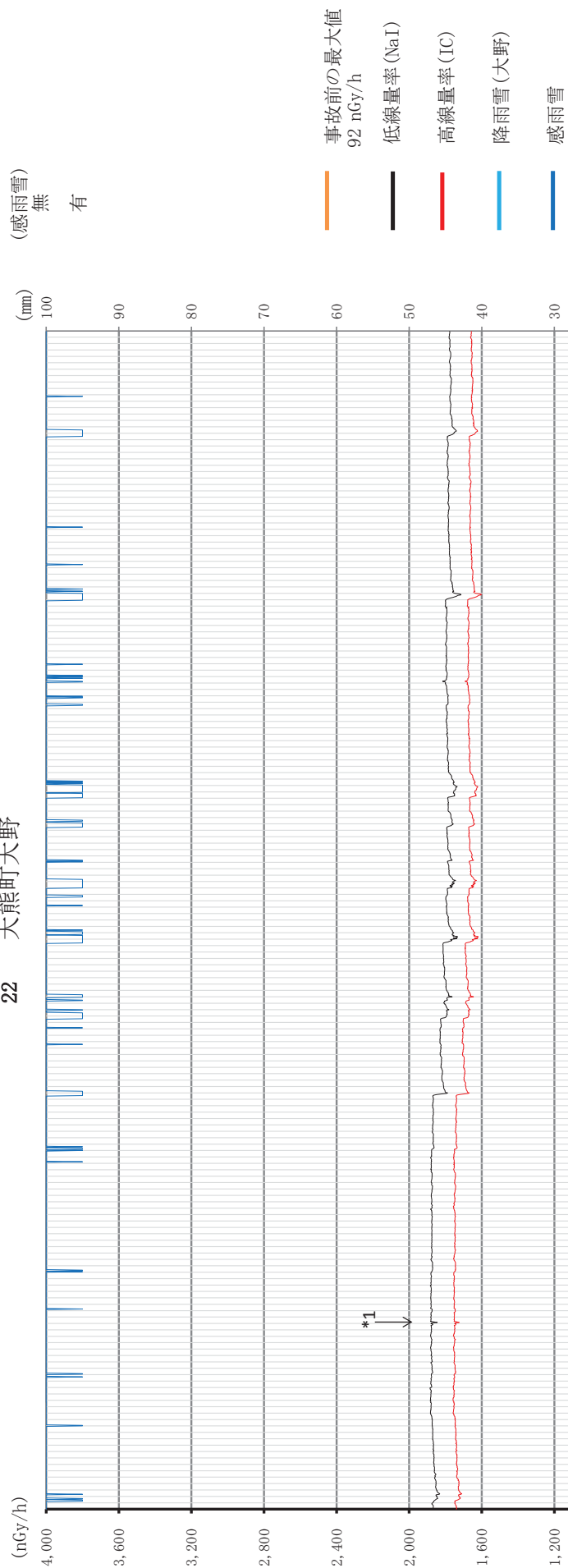
20 大熊町熊川 (可搬型モニタリングポスト)



空間線量率の変動グラフ
21 大熊町南台



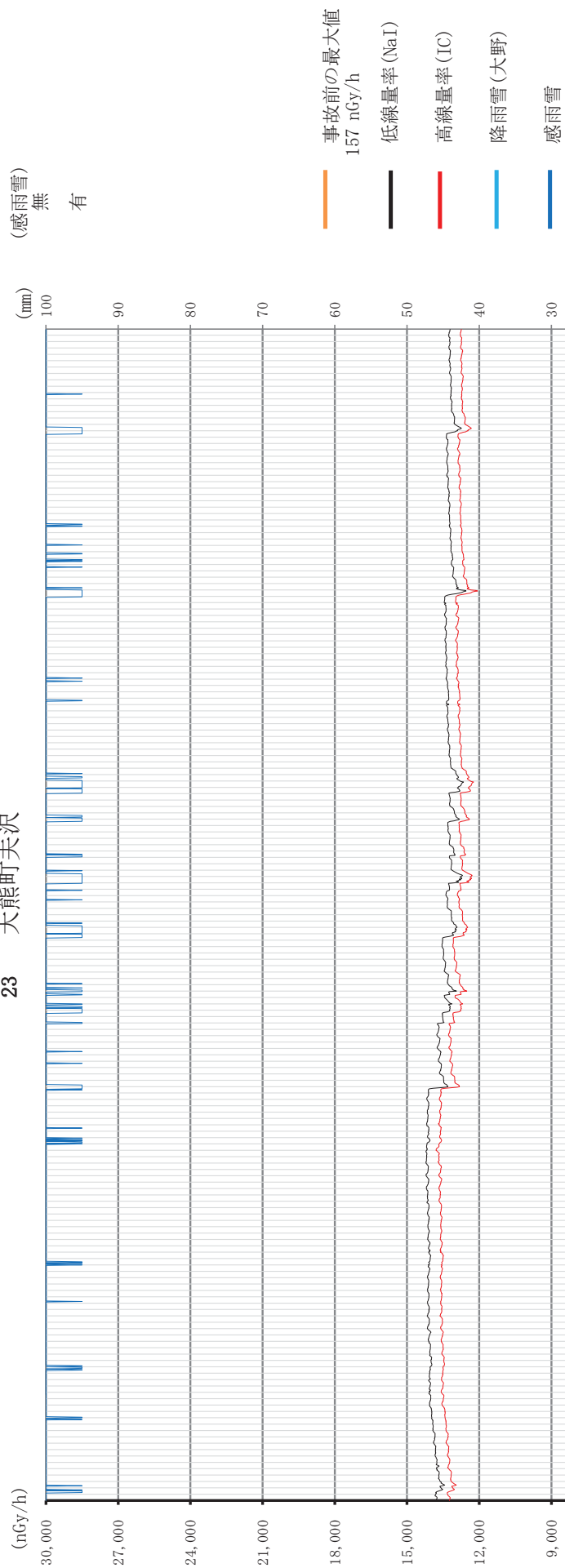
空間線量率の変動グラフ
22 大熊町大野



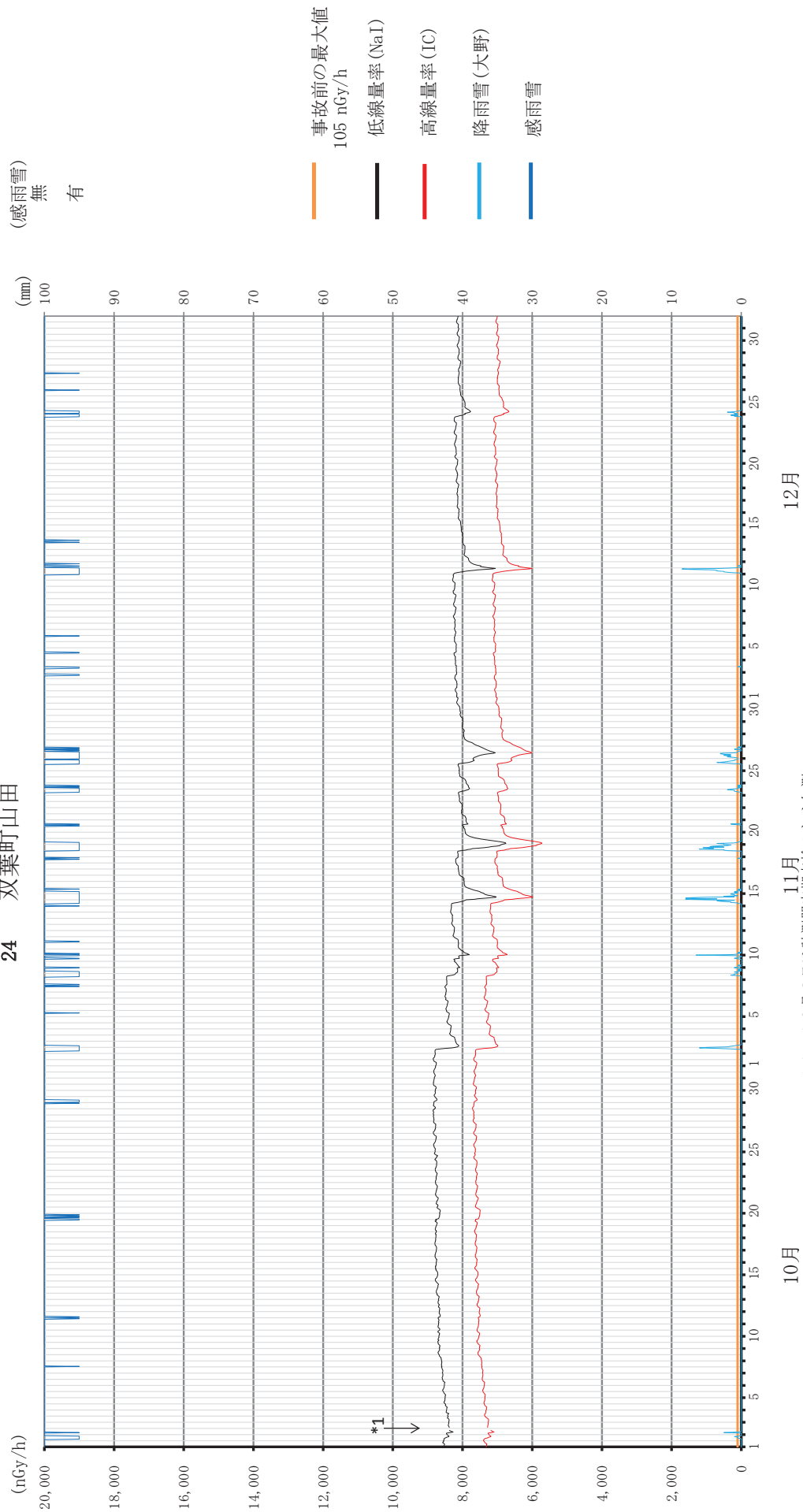
10月 11月 12月
*1 10月15日は局舎近傍への車両駐車に伴う遮蔽効果による線量率低下

空間線量率の変動グラフ

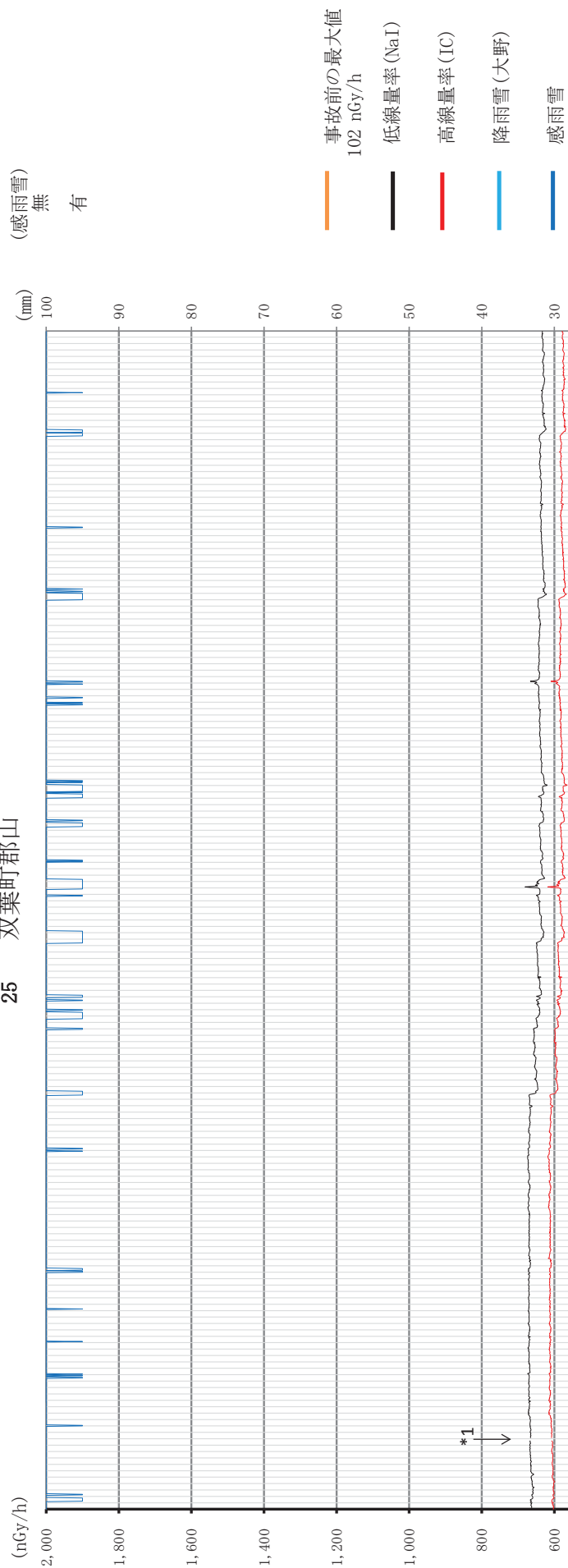
23 大熊町夫沢



空間線量率の変動グラフ
24 双葉町山田

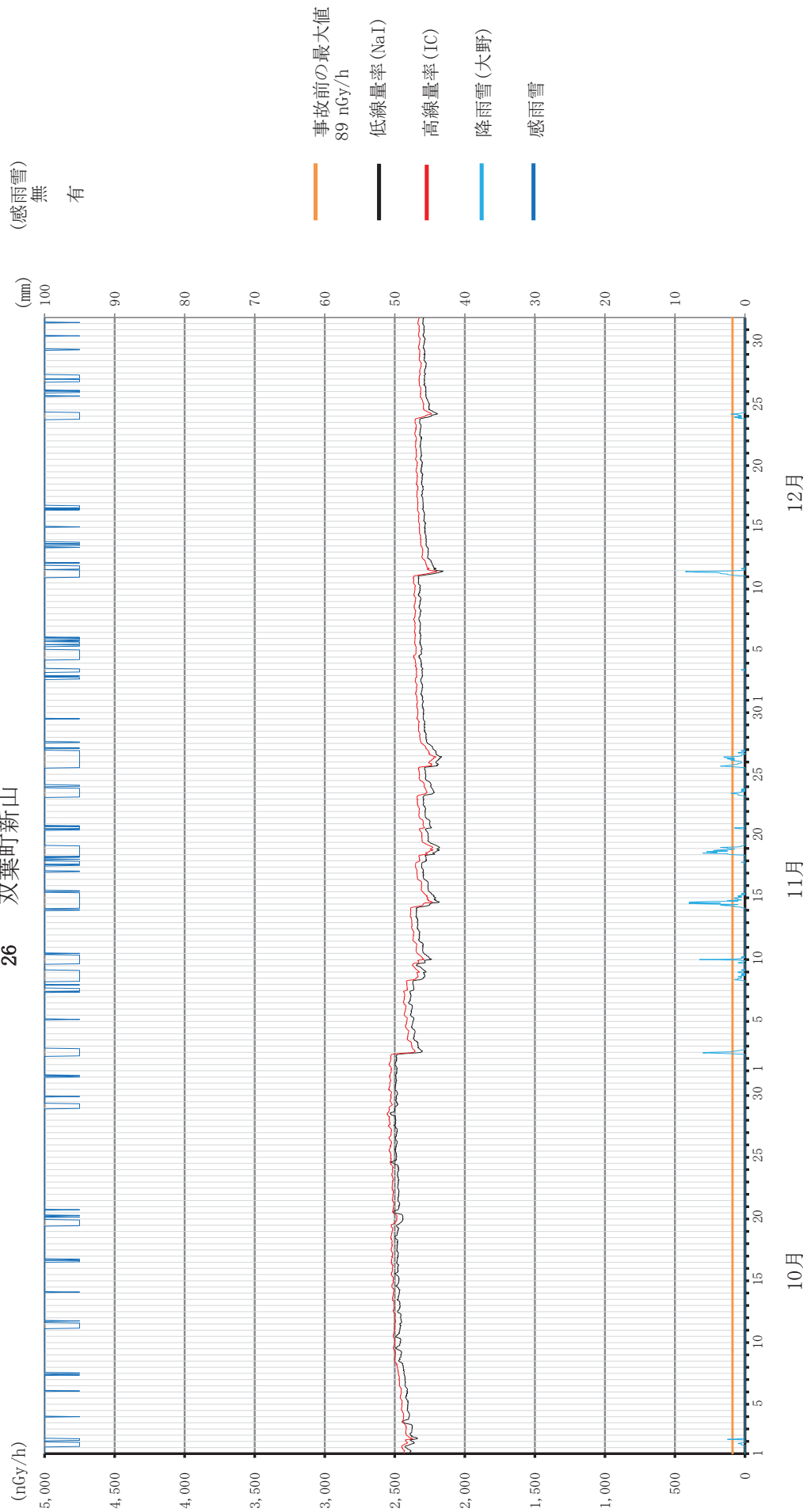


空間線量率の変動グラフ
25 双葉町郡山

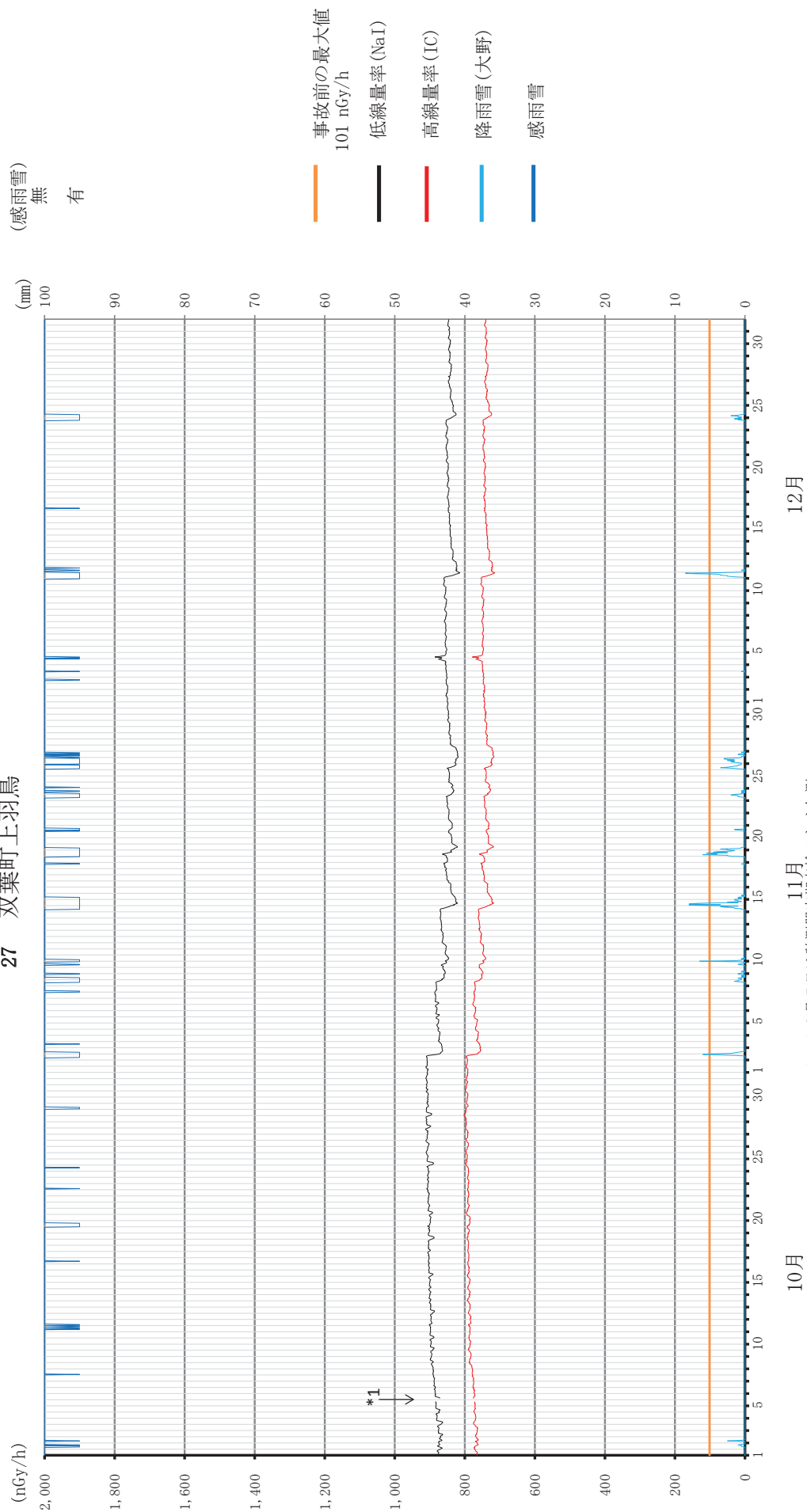


11月
*1 10月6日は計測器定期点検のため欠測

空間線量率の変動グラフ
26 双葉町新山

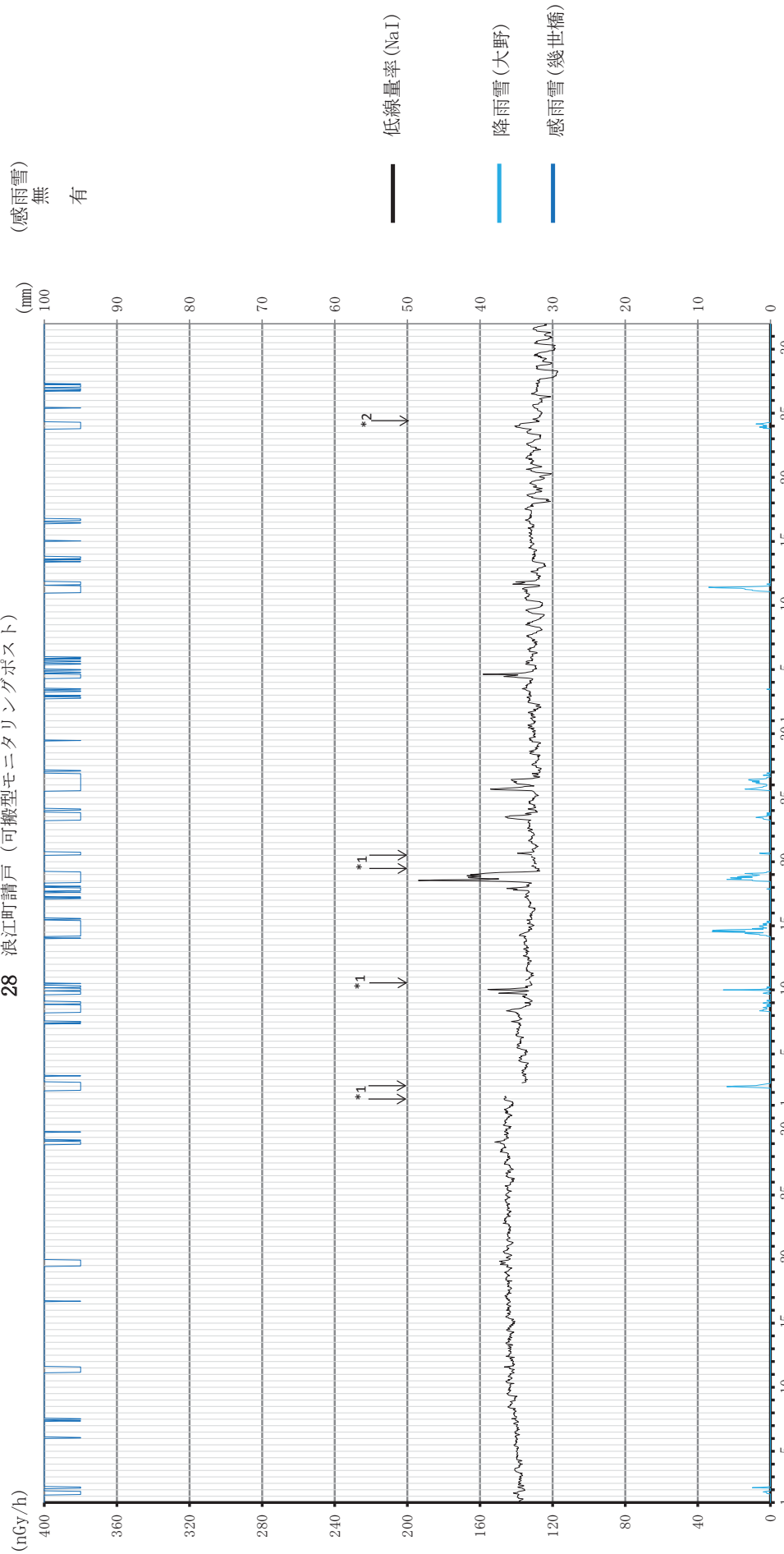


空間線量率の変動グラフ
27 双葉町上羽鳥



空間線量率の変動グラフ

28 浪江町請戸（可搬型モニタリングポスト）



10月

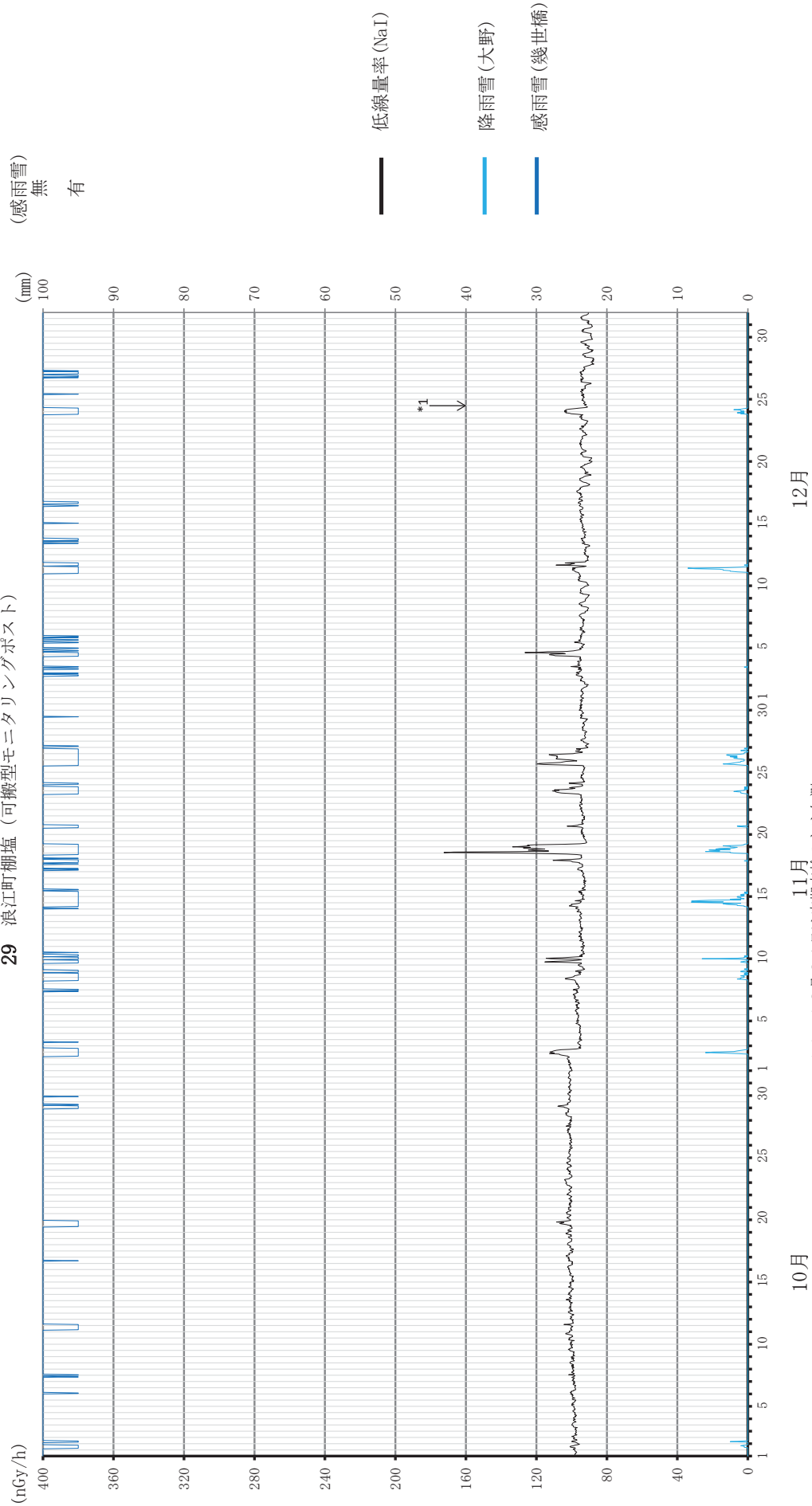
11月

12月

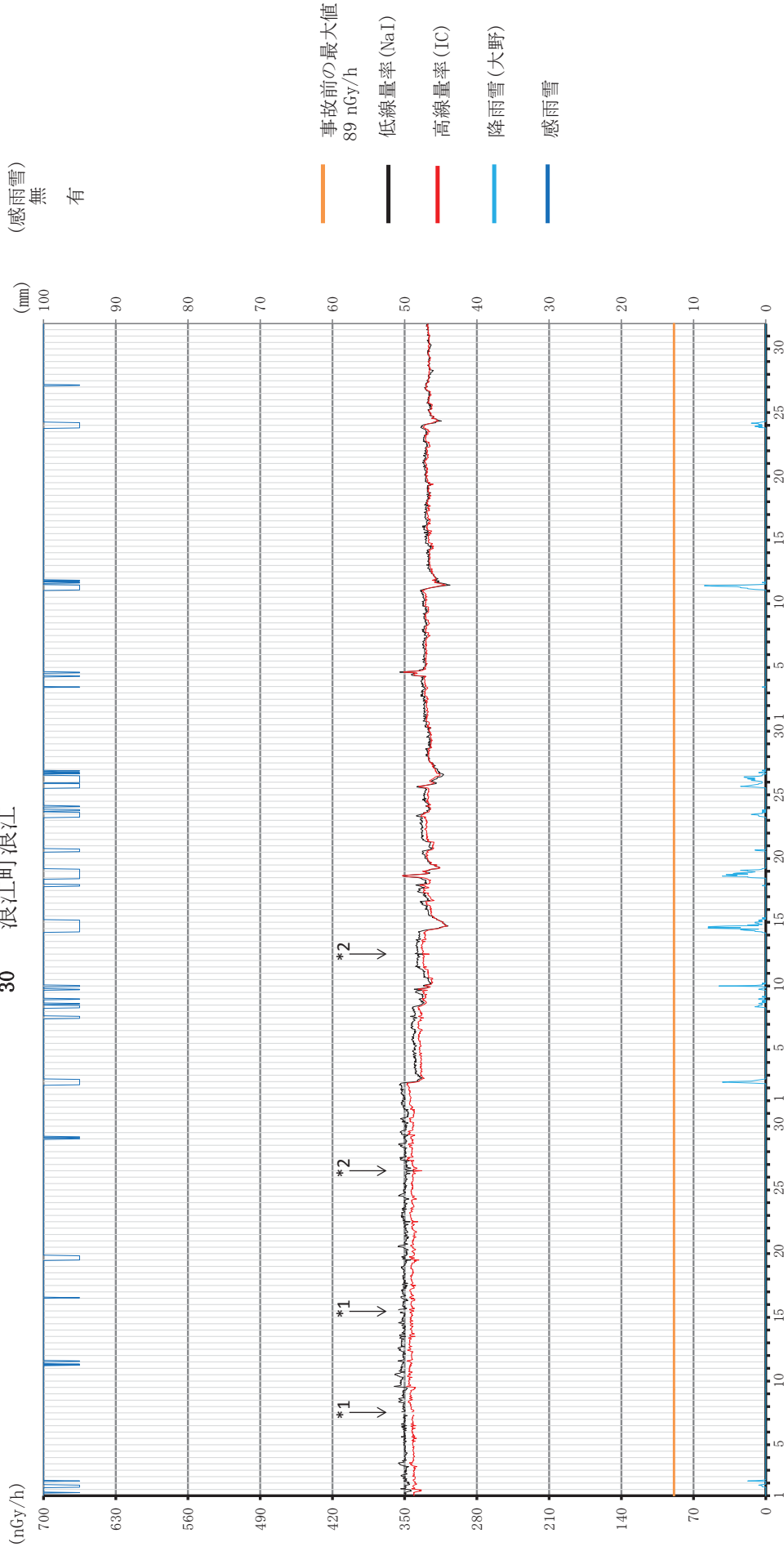
*1 11月1日、11月2日、11月10日、11月19日及び11月20日は故障（通信異常）のため欠測
 *2 12月24日は定期点検のため欠測

空間線量率の変動グラフ

29 浪江町棚塩 (可搬型モニタリングポスト)



空間線量率の変動グラフ
30 浪江町浪江



10月

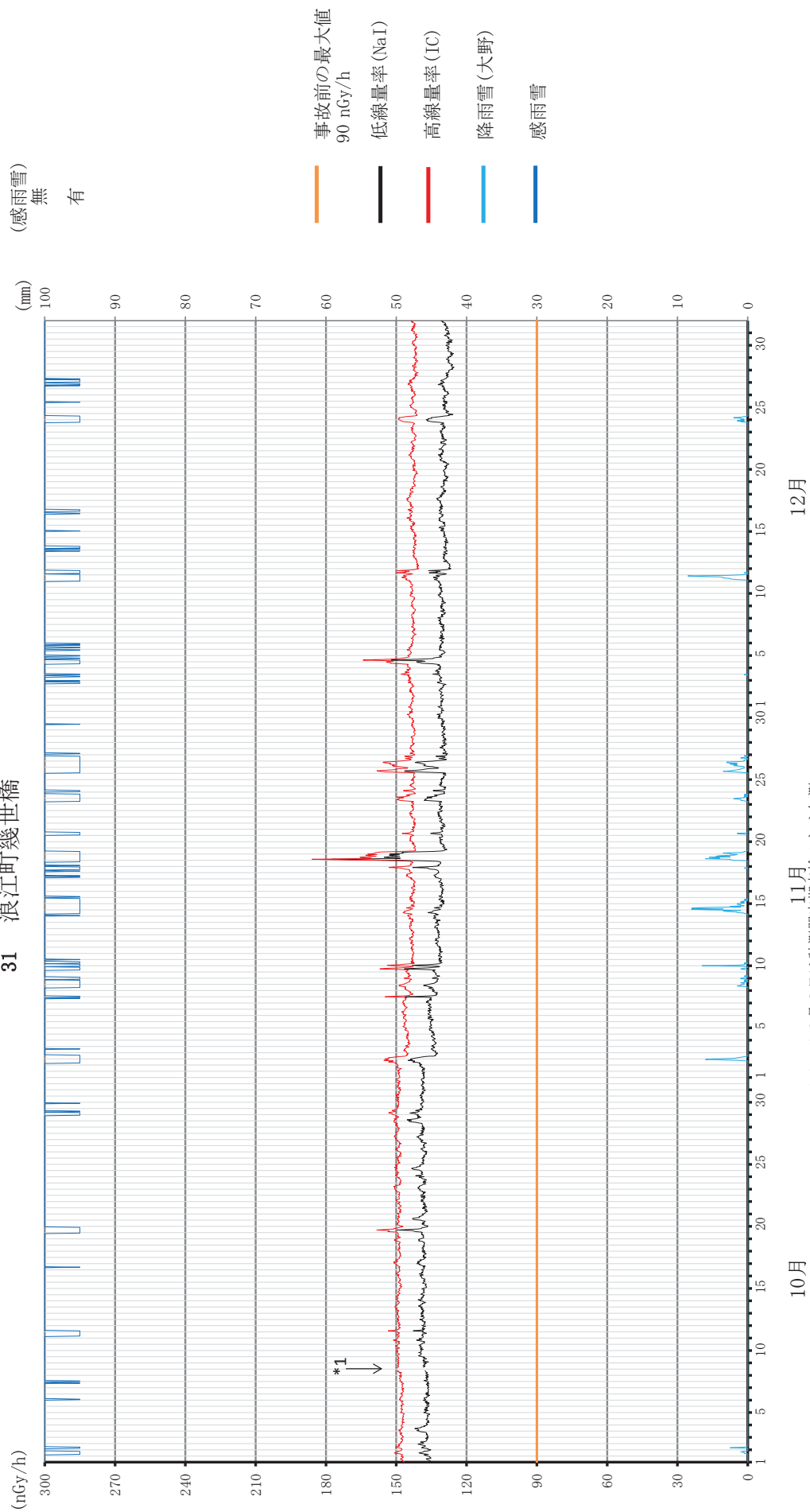
11月

12月

*1 10月7日及び10月15日は計測器定期点検のため欠測

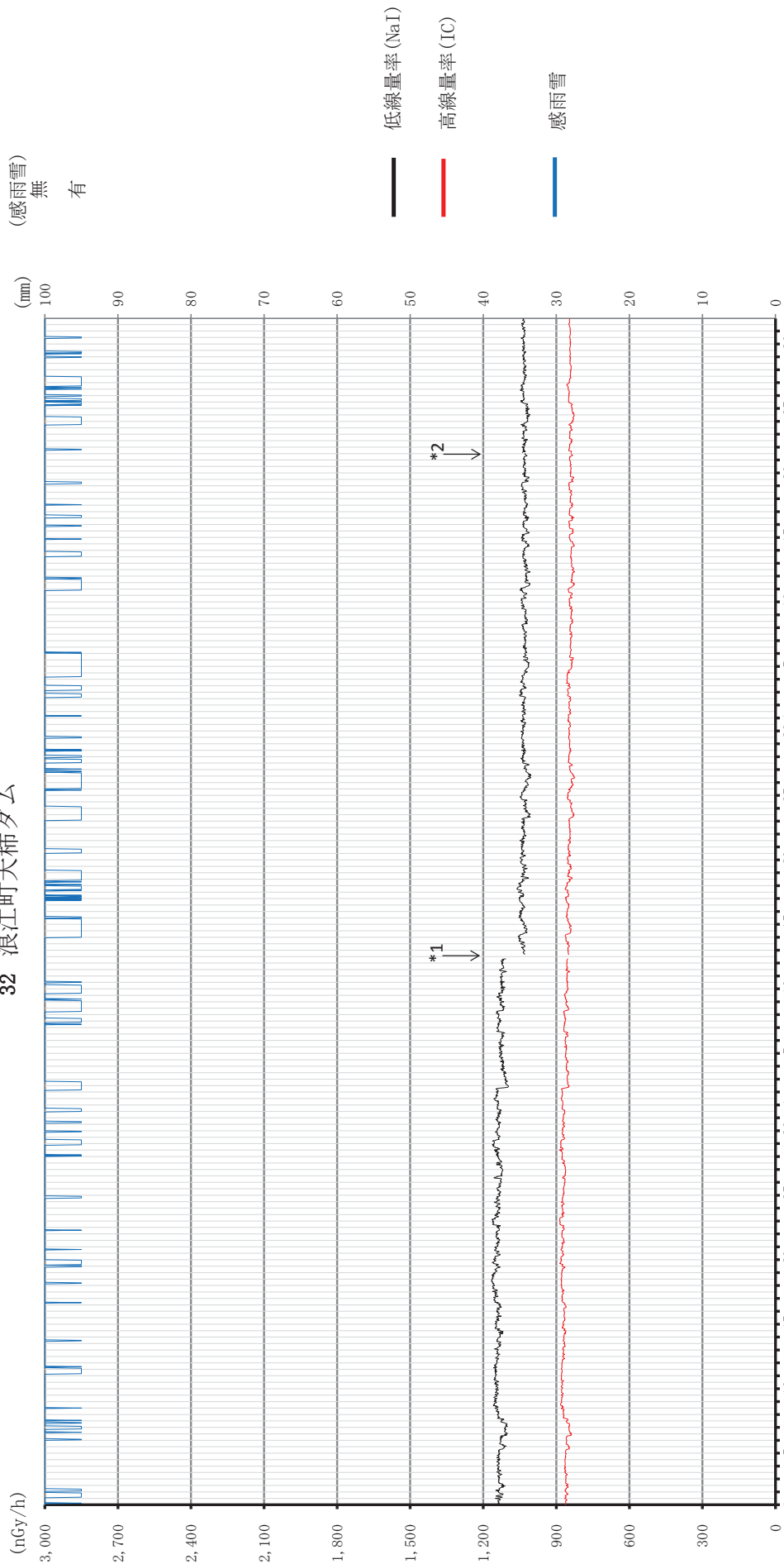
*2 10月26日及び11月12日は局舎近傍への車両駐車に伴う遮蔽効果による線量率低下

空間線量率の変動グラフ
31 浪江町幾世橋



*1 10月8日は計測器定期点検のため欠測

空間線量率の変動グラフ
32 浪江町大柿ダム



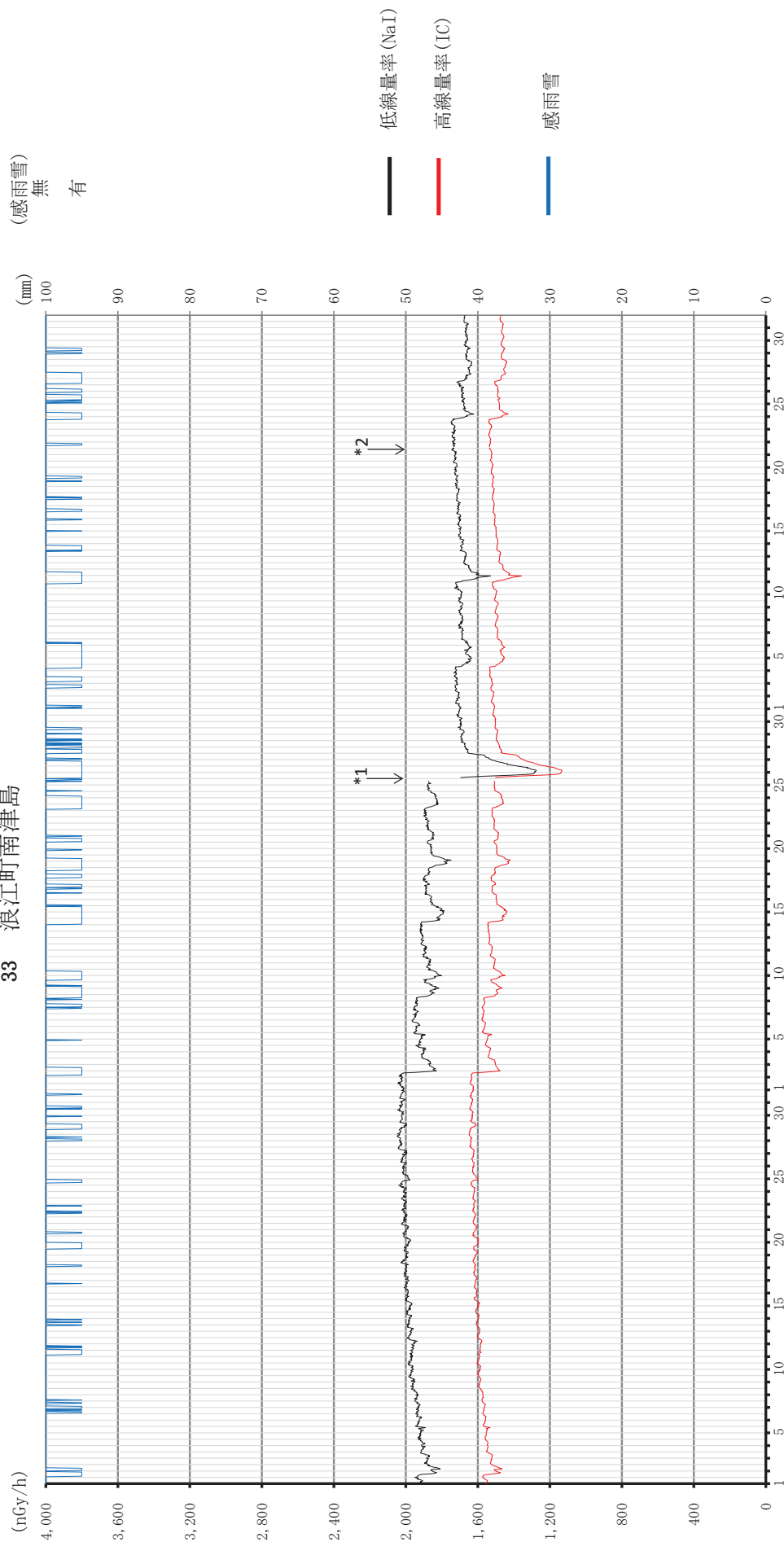
10月

11月

12月

*1 11月12日はシステム点検(測定局)のため欠測、なお、低線量計の調整の影響により指示値が低下した
*2 12月21日はシステム改修作業のため欠測

空間線量率の変動グラフ
33 浪江町南津島



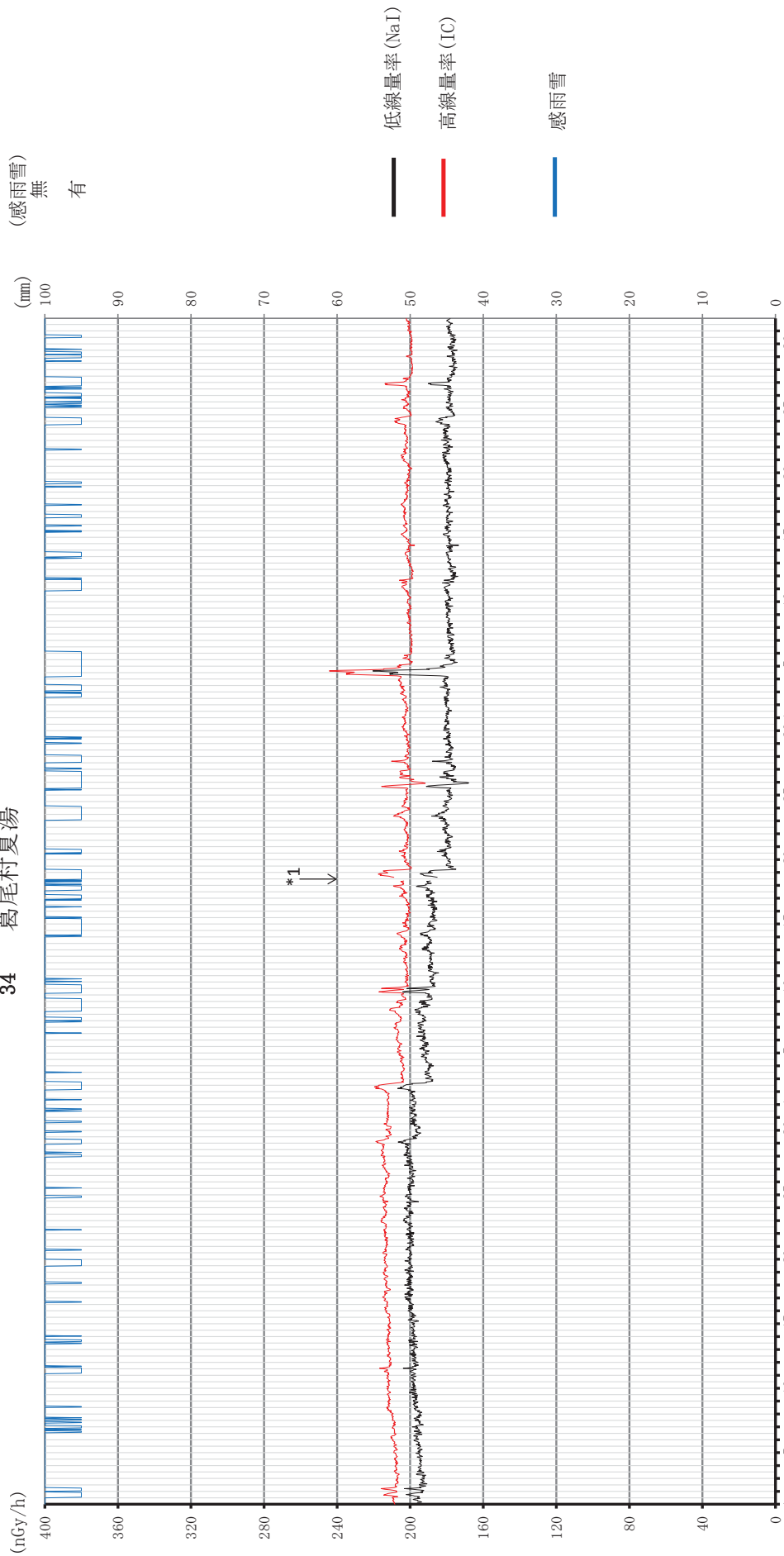
10月

11月

12月

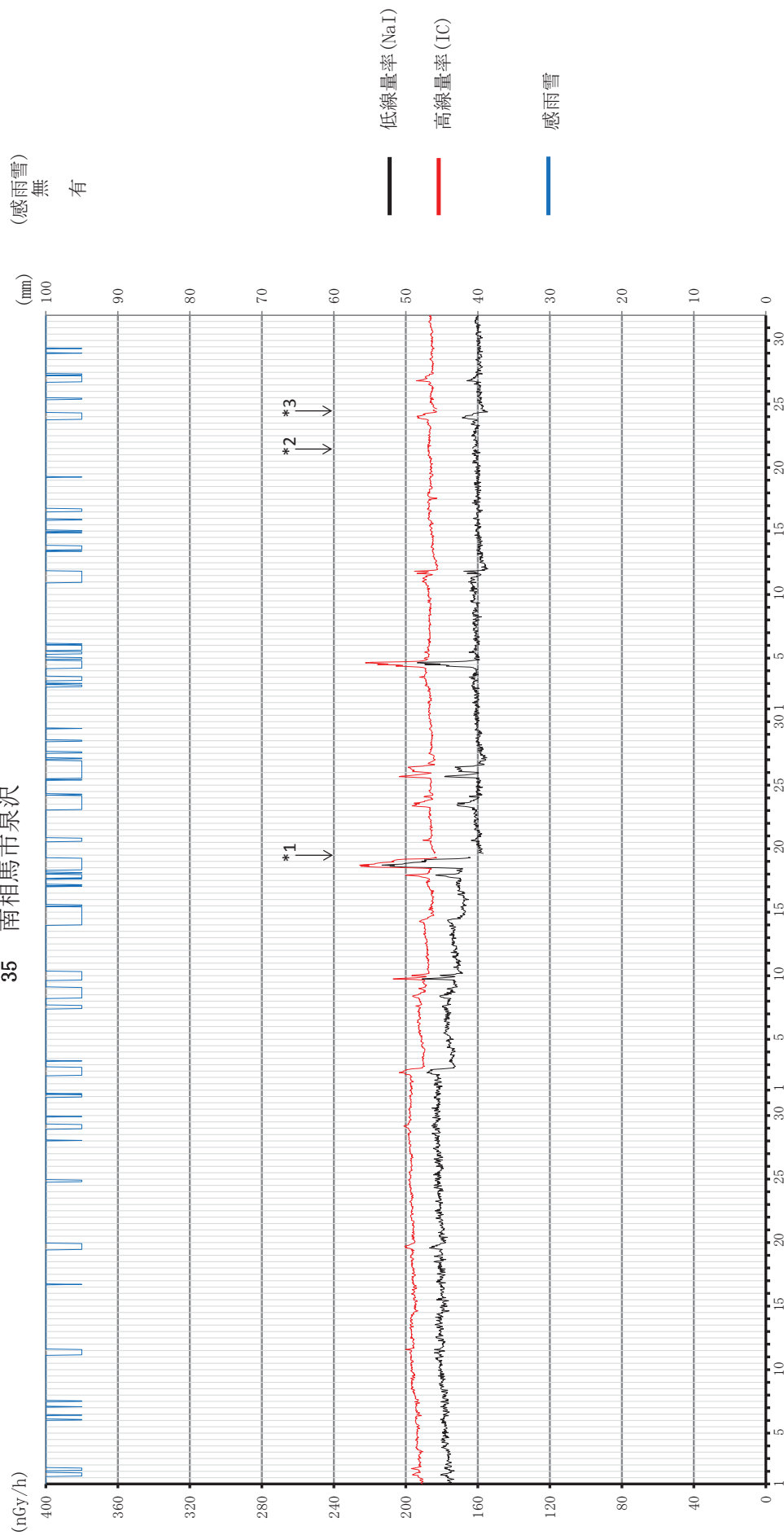
*1 11月25日はシステム点検(測定局)のため欠測、なお、低線量計の調整の影響により指示値が低下した
*2 12月21日はシステム改修作業のため欠測

空間線量率の変動グラフ
34 葛尾村夏湯



10月 11月 12月
*1 11月18日はシステム点検（測定局）のため欠測、なお、低線量計の調整の影響により指示値が低下した

空間線量率の変動グラフ
35 南相馬市泉沢



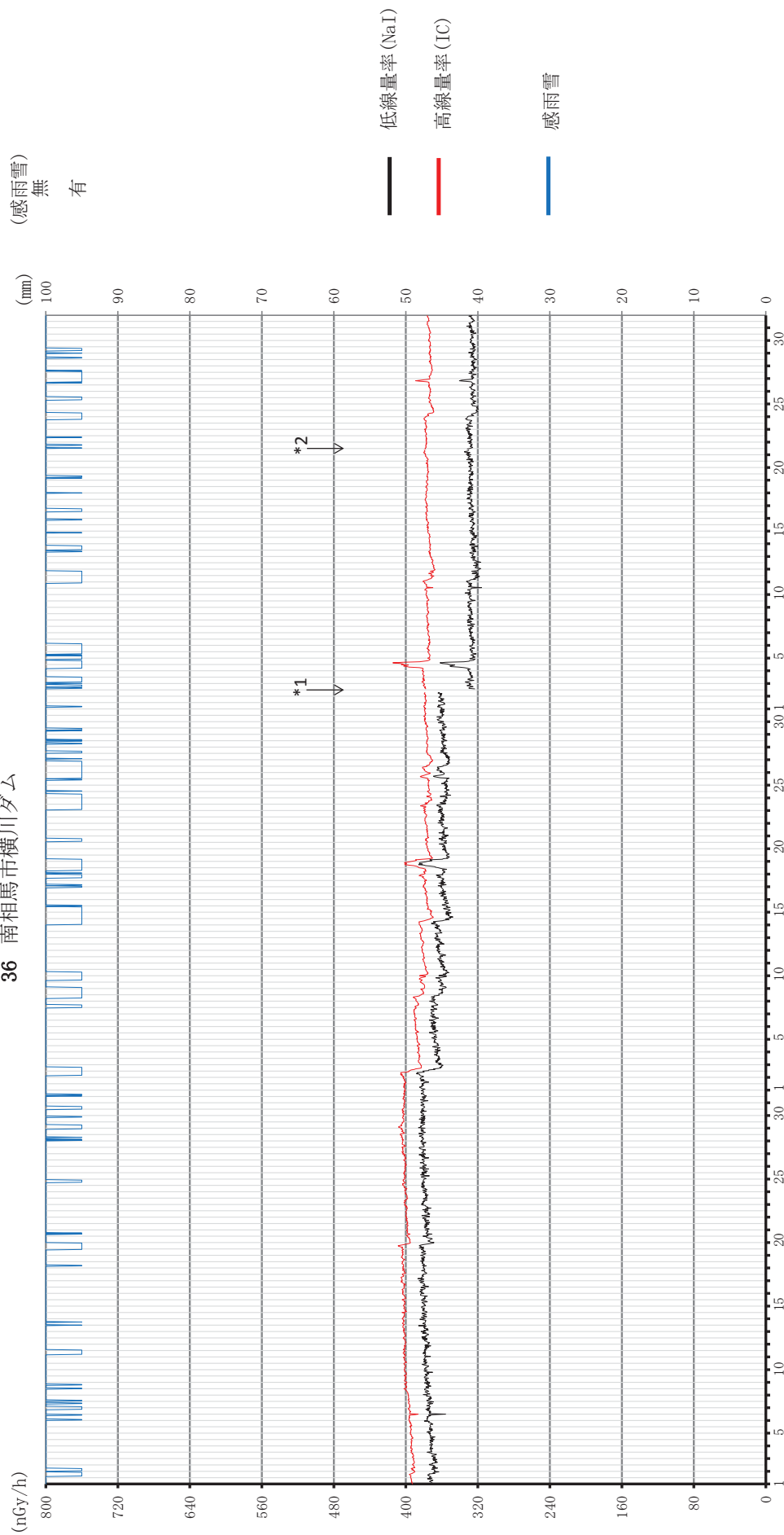
10月

11月

12月

- *1 11月19日はシステム点検(測定局)のため欠測、なお、低線量計の調整の影響により指示値が低下した
- *2 12月21日はシステム改修作業のため欠測
- *3 12月24日はシステム改修作業のため欠測

空間線量率の変動グラフ
36 南相馬市横川ダム



10月

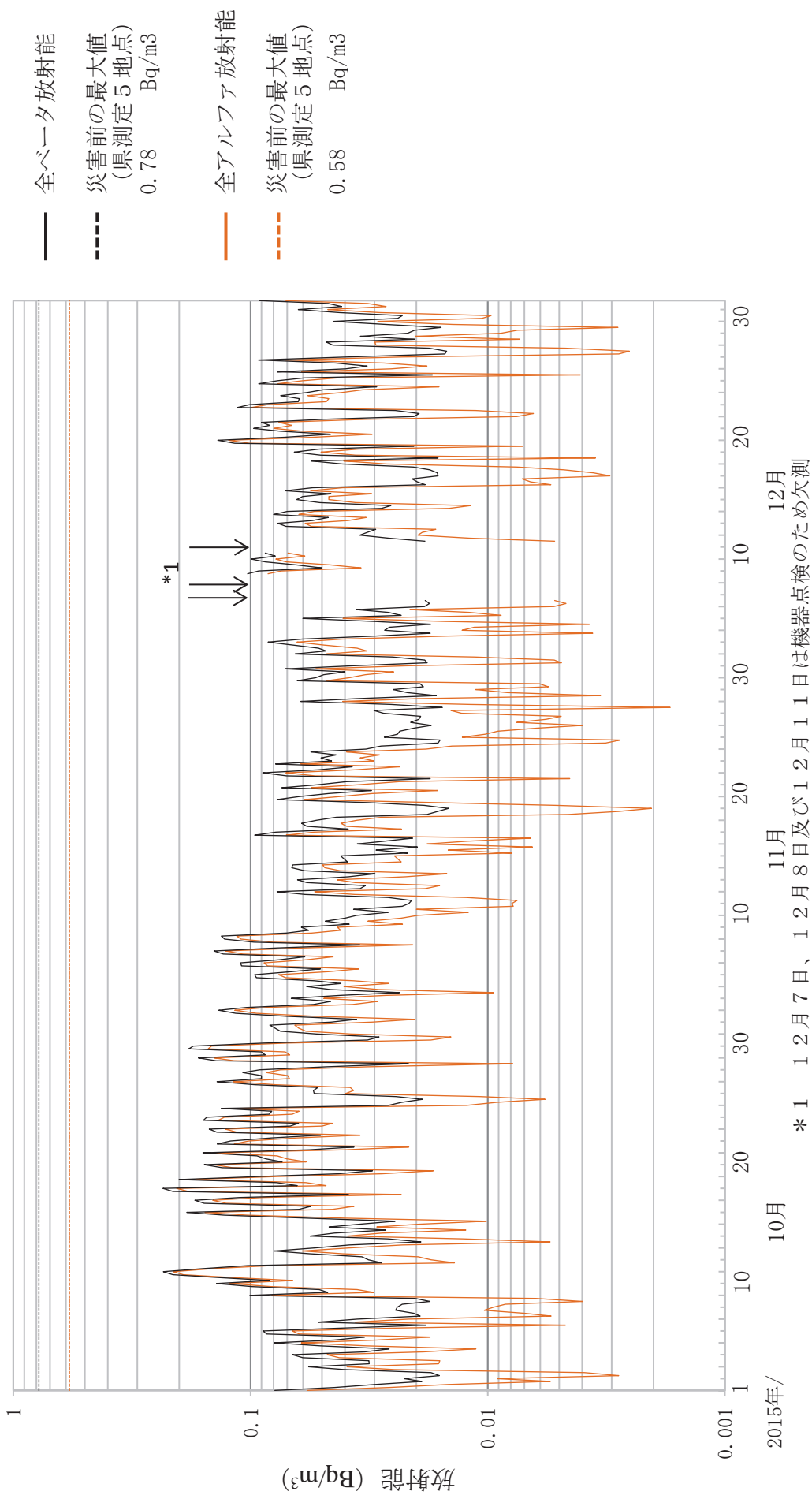
11月

12月

- *1 12月2日はシステム点検(測定局)のため欠測、なお、低線量計の調整の影響により指示値が低下した
- *2 12月21日はシステム改修作業のため欠測

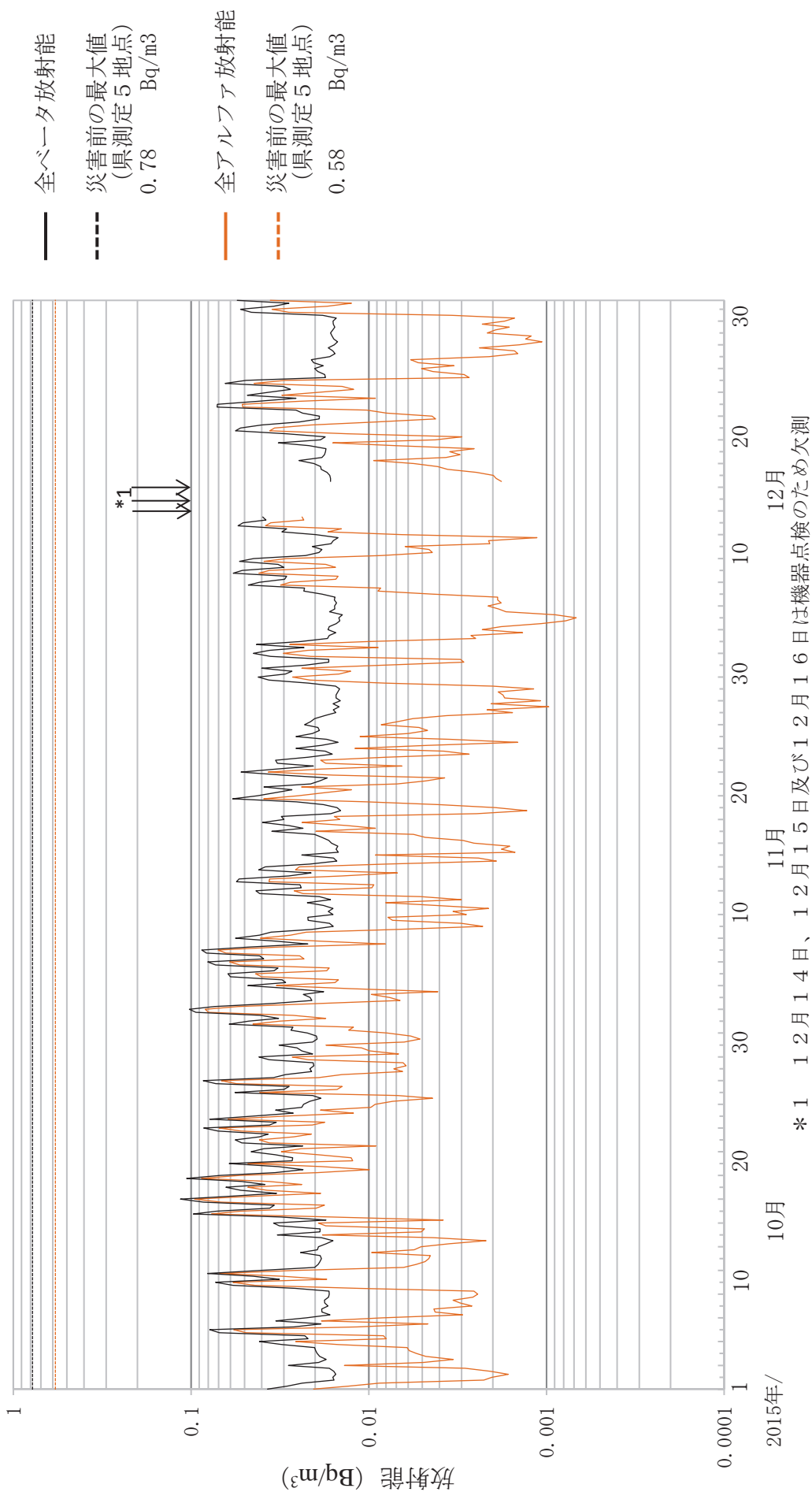
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

1 いわき市小川
(平成27年10月01日～12月31日)



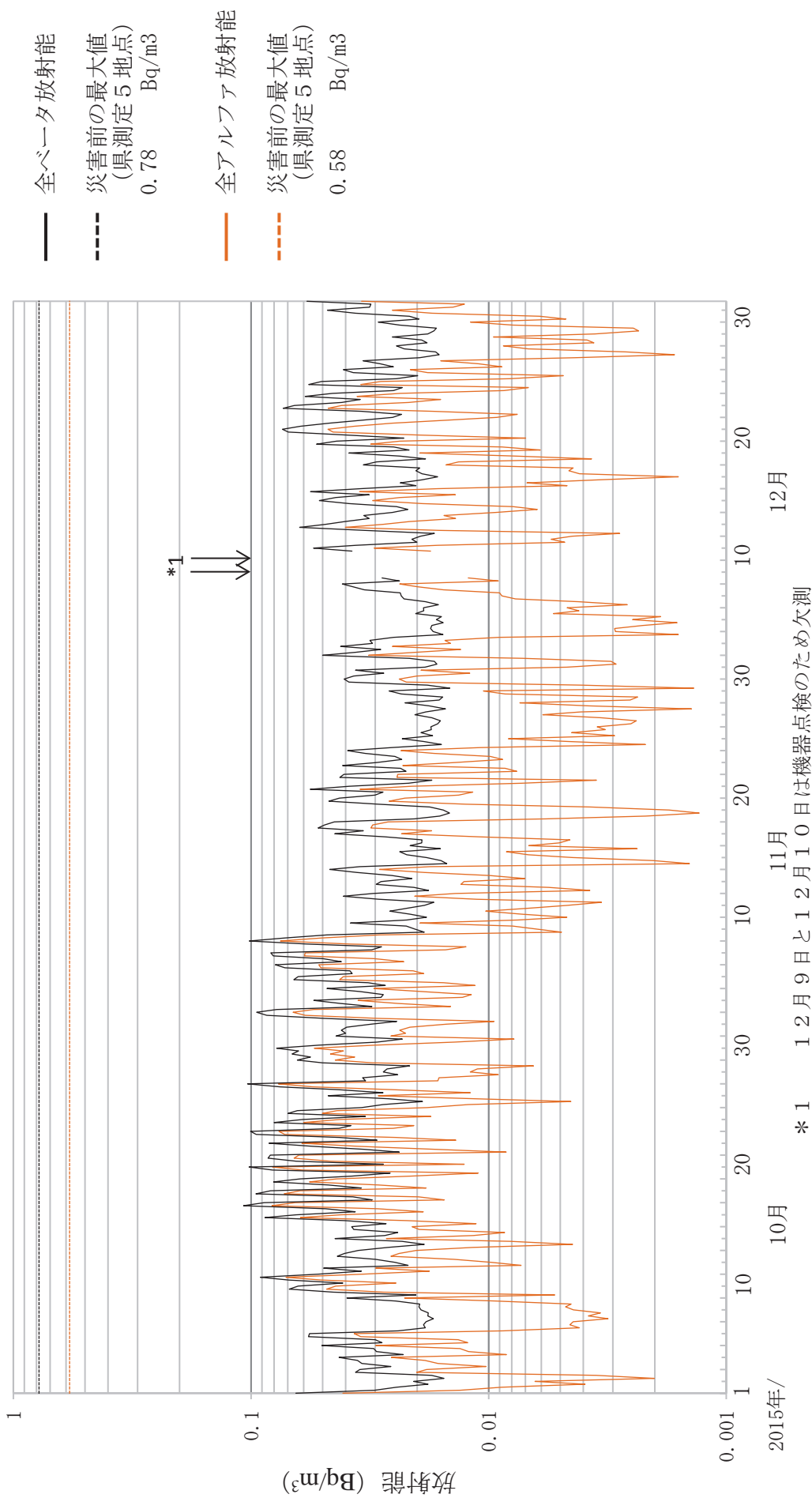
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

2 田村市都路馬洗戸
(平成27年10月01日～12月31日)



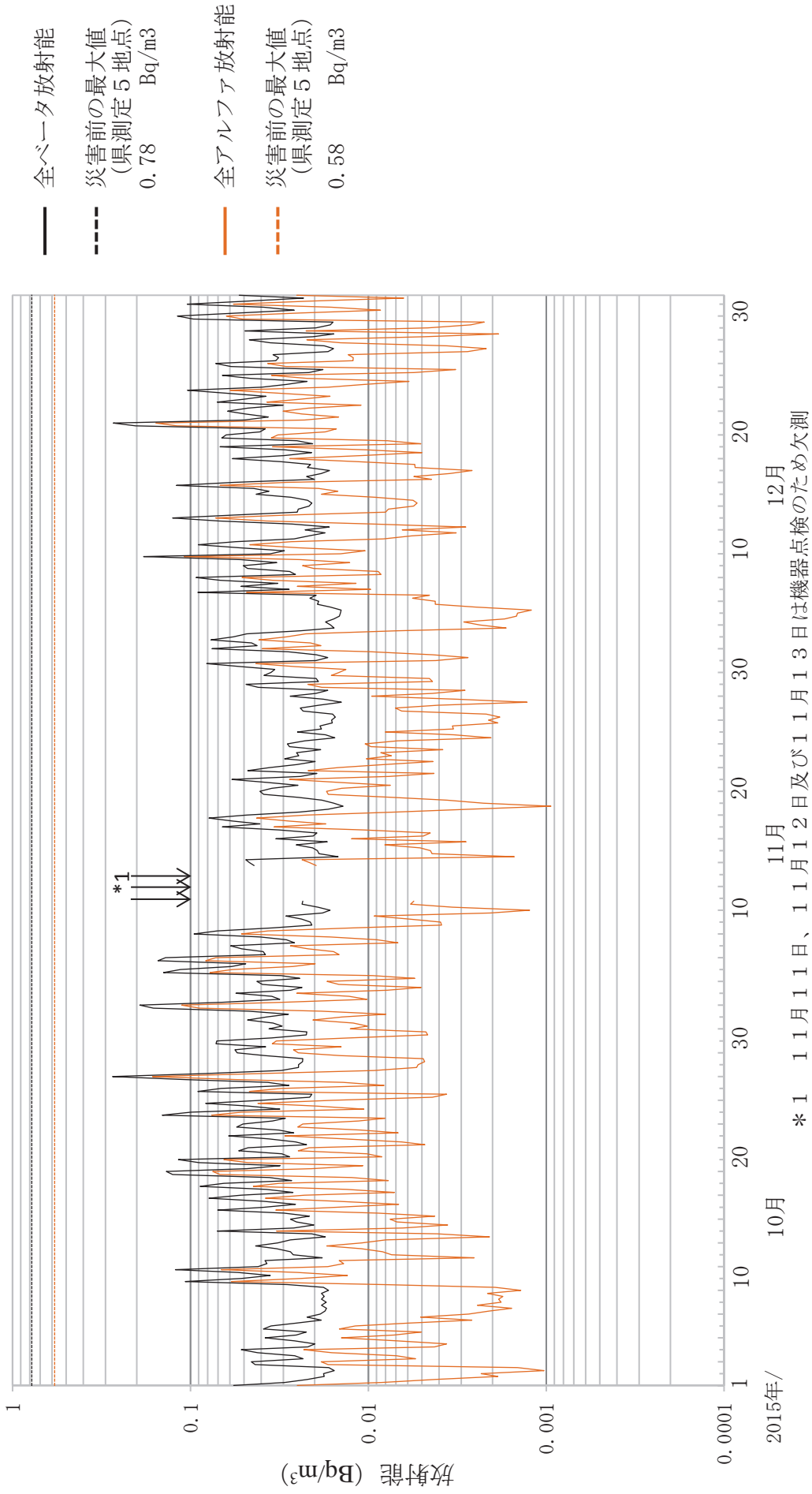
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

3 広野町小滝平
(平成27年10月01日～12月31日)



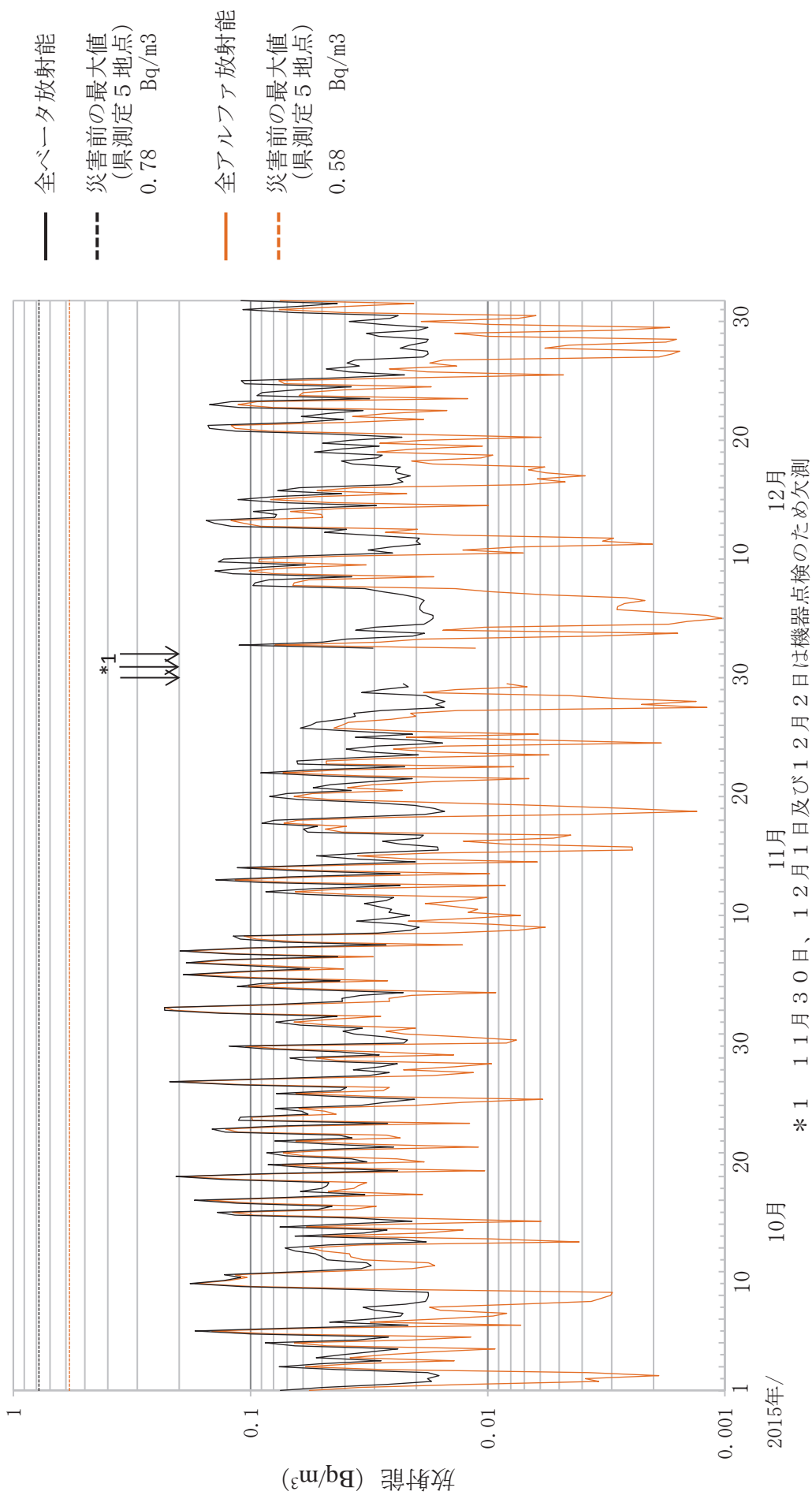
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

5 檜葉町繁岡
(平成27年10月01日～12月31日)



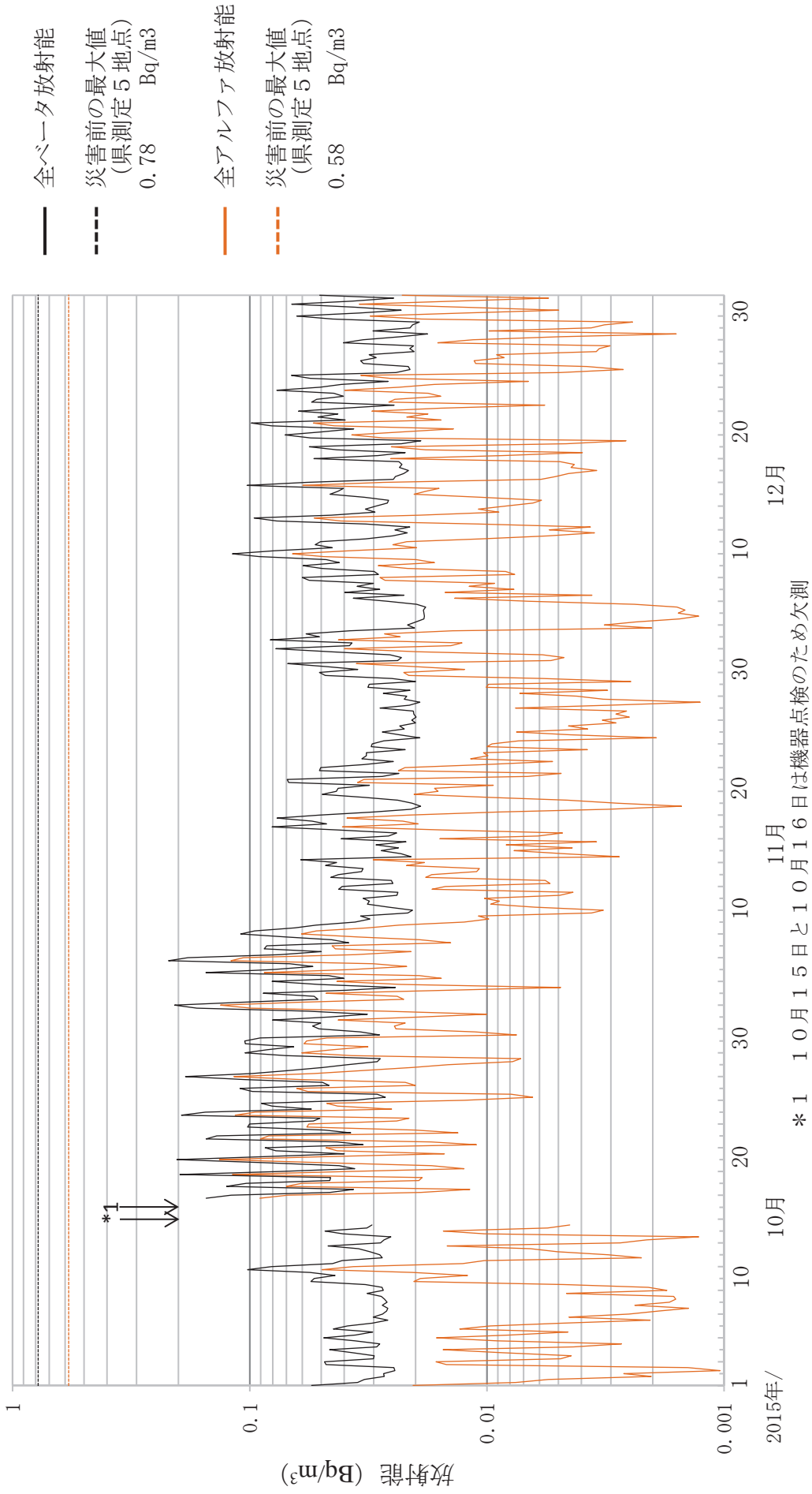
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

7 川内村下川内
(平成27年10月01日～12月31日)



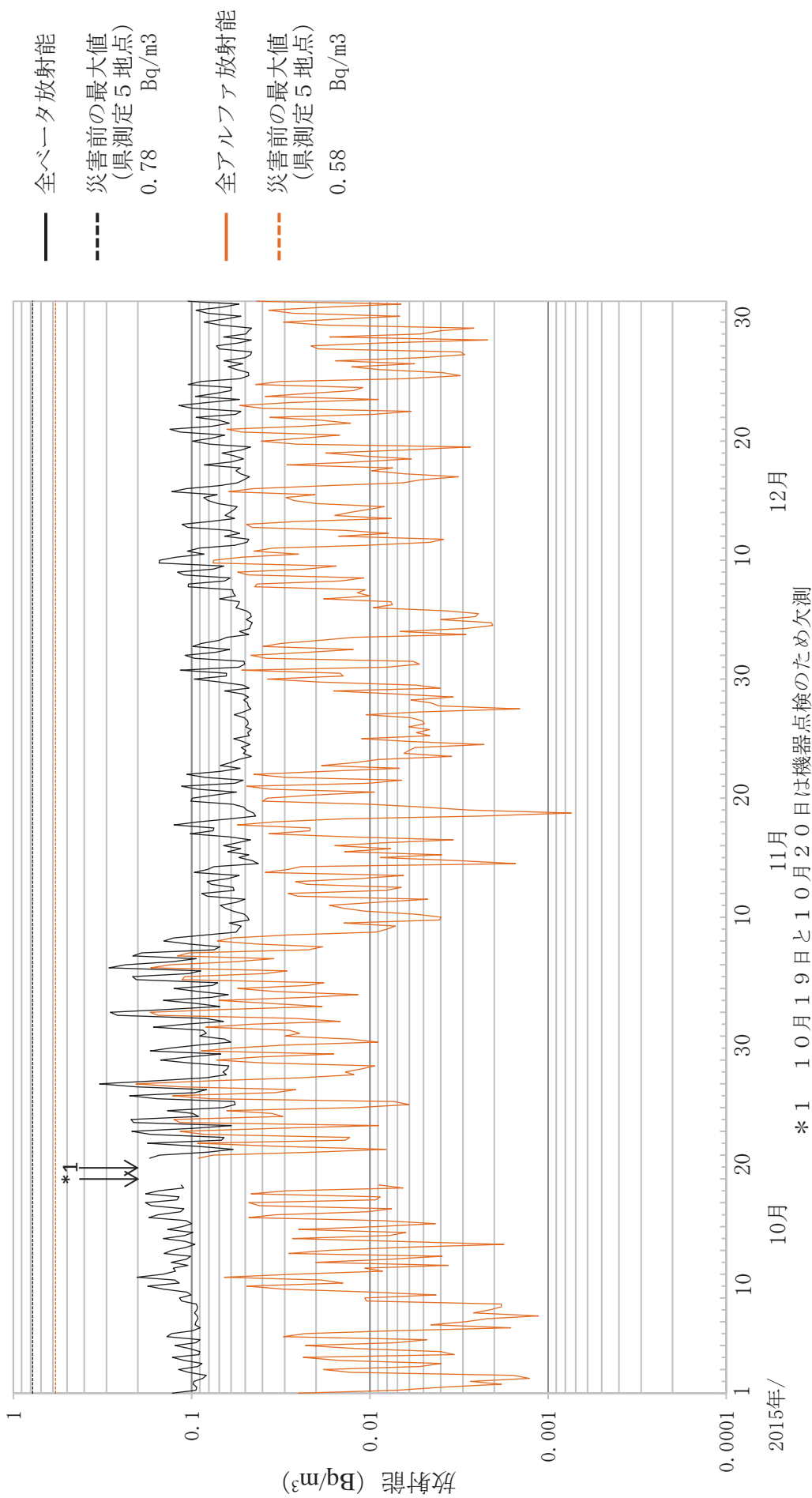
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

8 大熊町大野
(平成27年10月01日～12月31日)



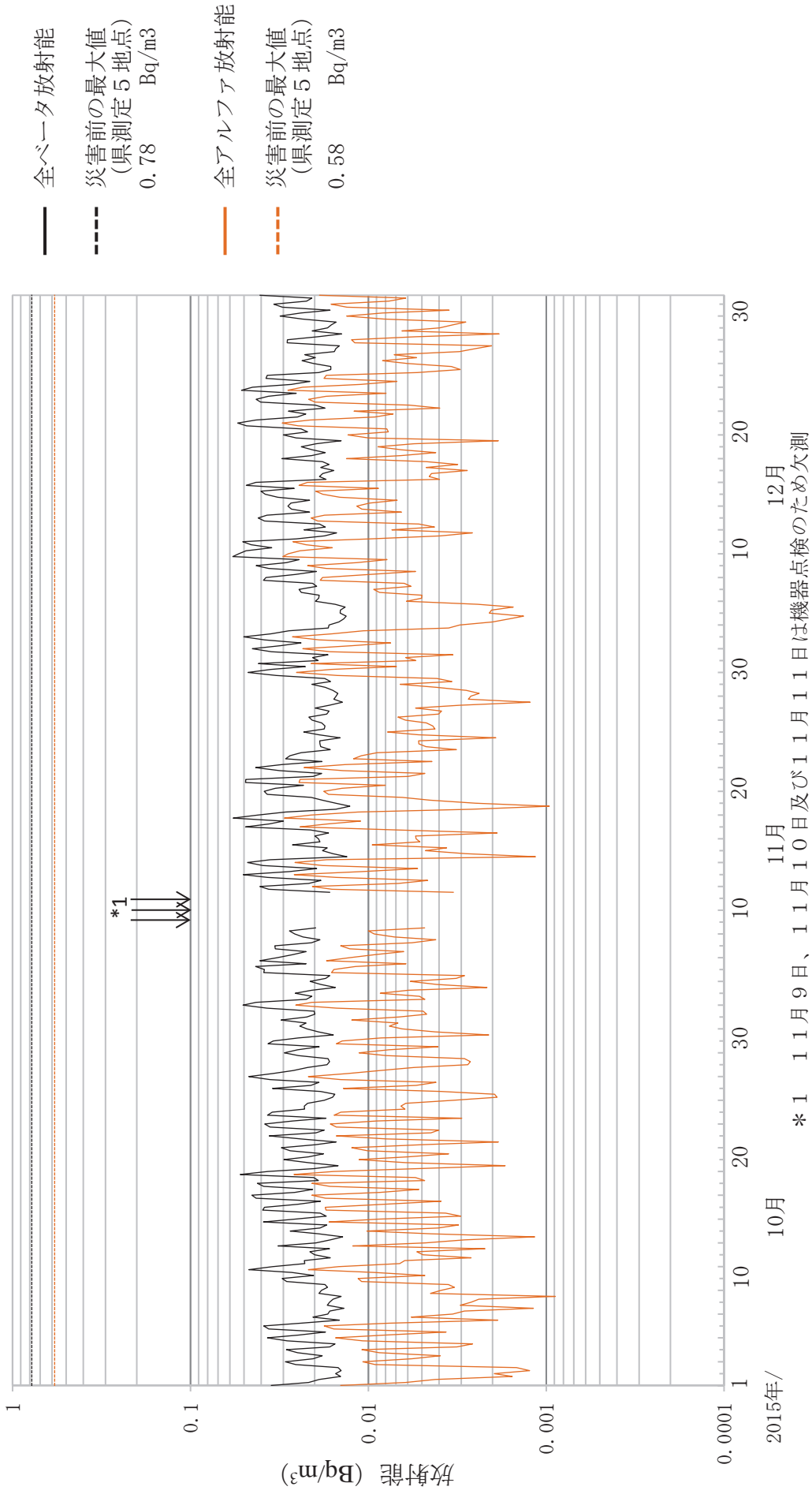
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

9 大熊町夫沢
 (平成27年10月01日～12月31日)



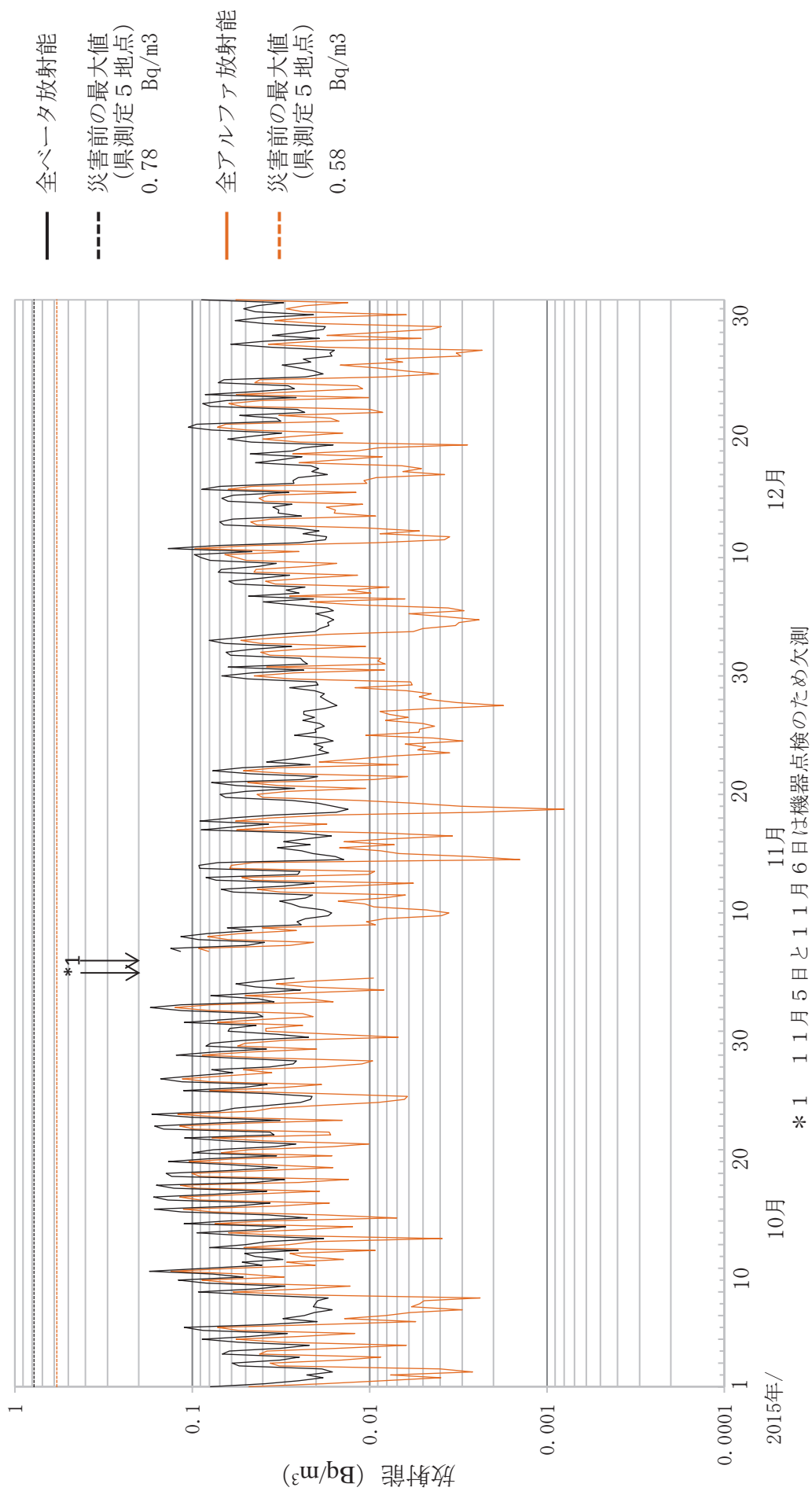
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

10 双葉町郡山
(平成27年10月01日～12月31日)



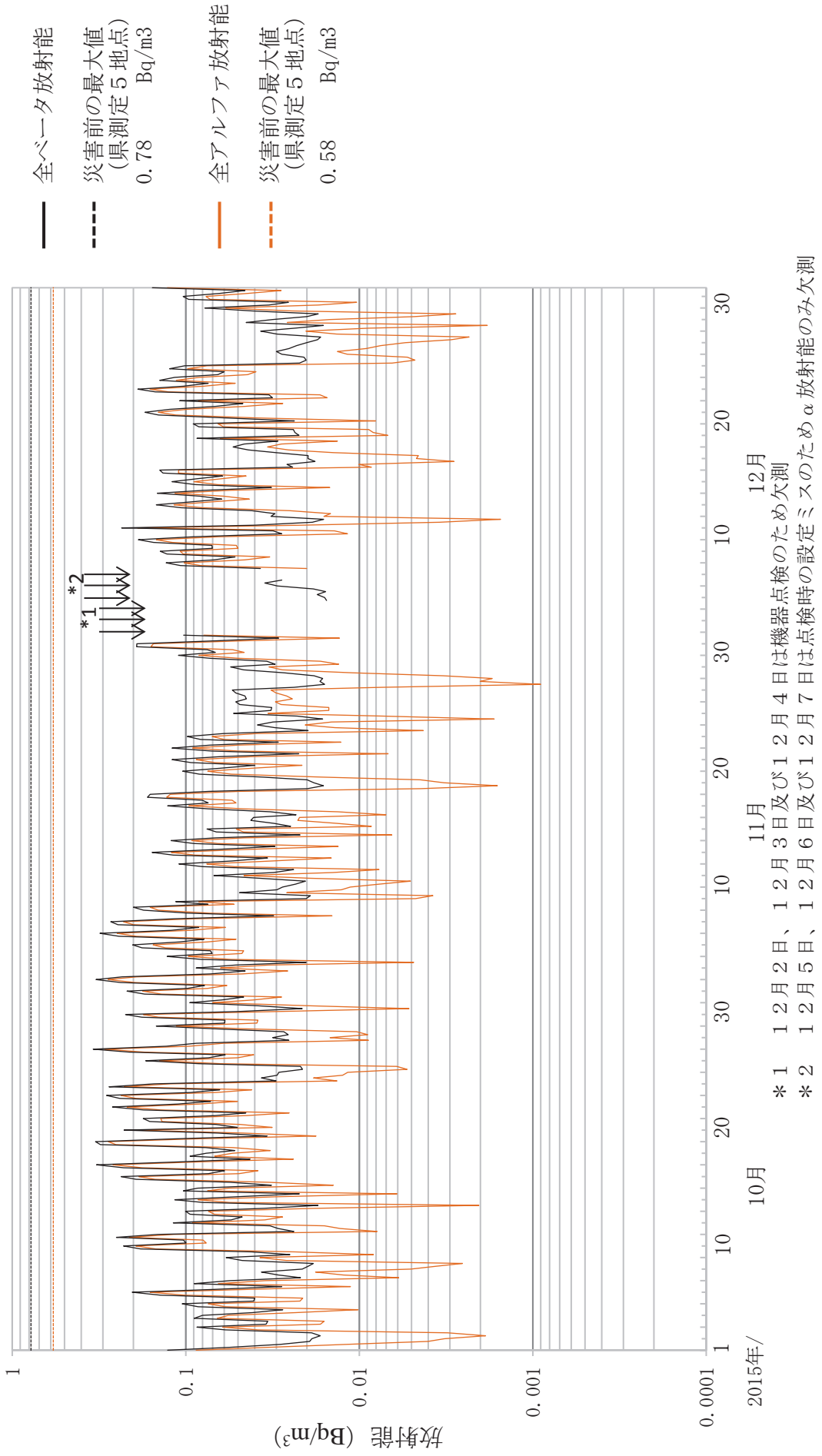
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

11 浪江町幾世橋
(平成27年10月01日～12月31日)



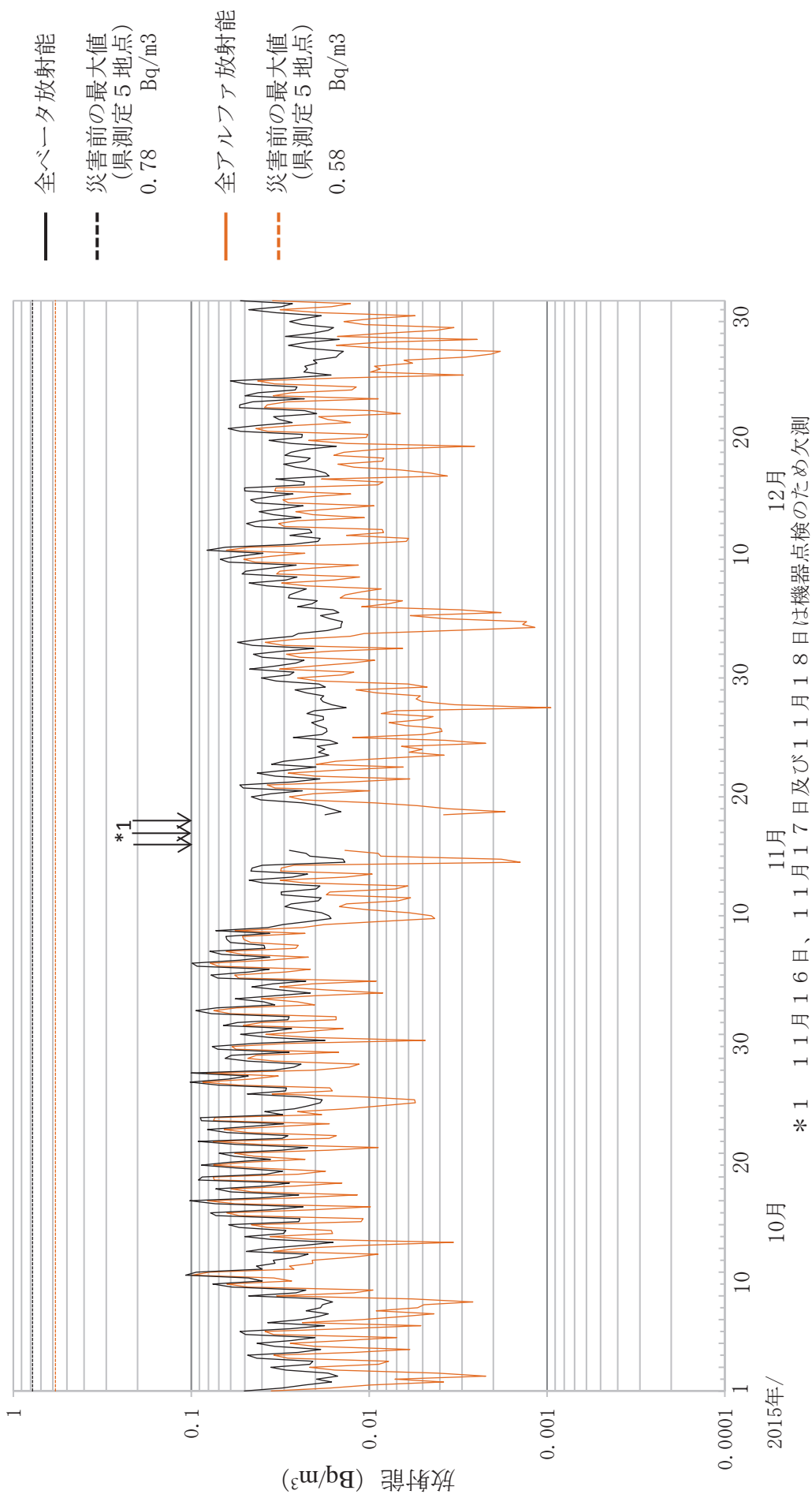
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

13 葛尾村夏湯
(平成27年10月01日～12月31日)



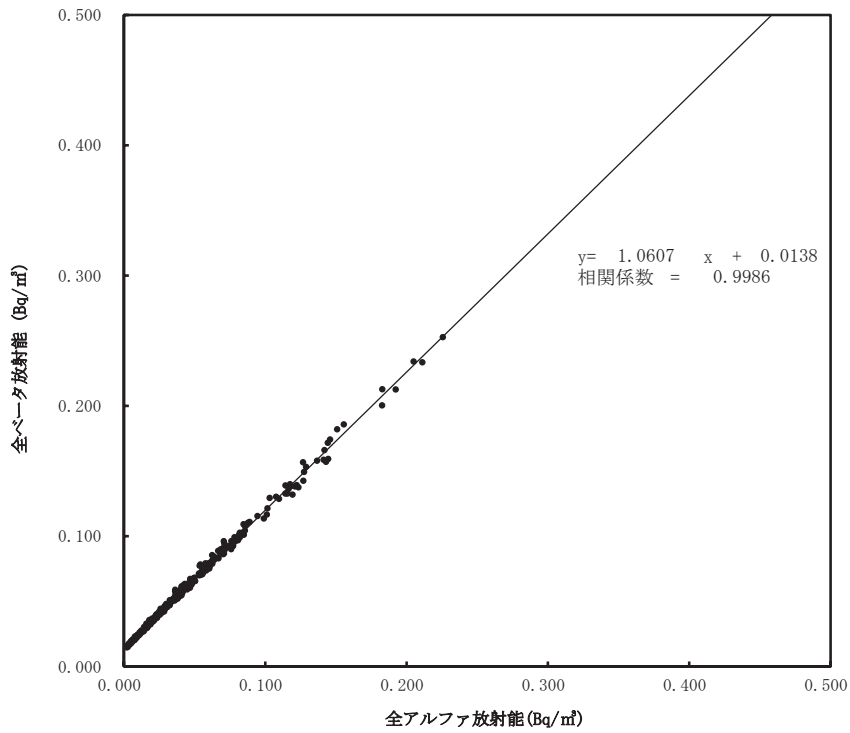
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

14 南相馬市泉沢
(平成27年10月01日～12月31日)



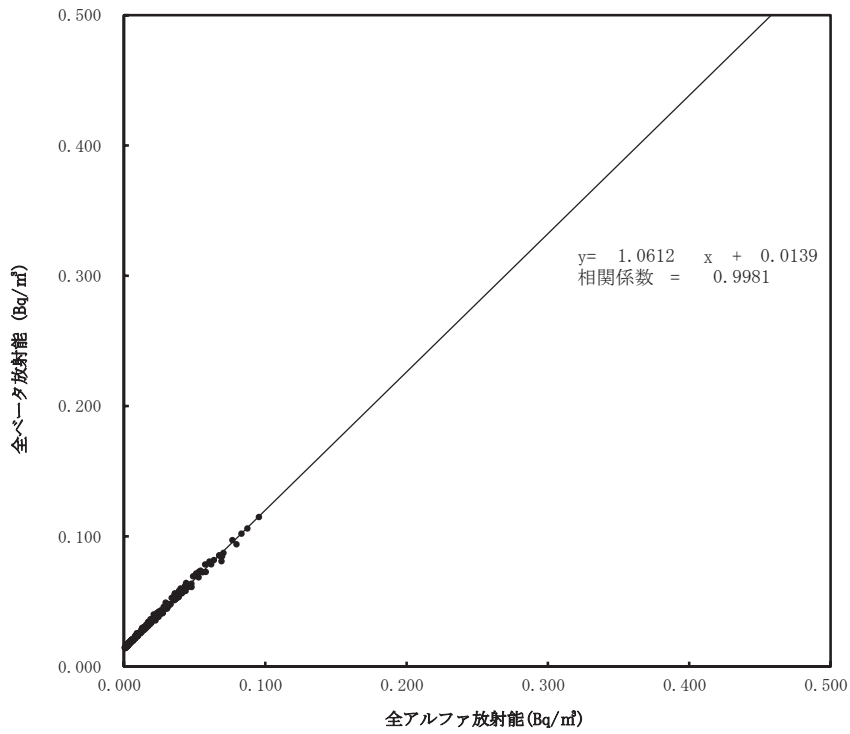
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成27年10月～12月)
(いわき市小川)



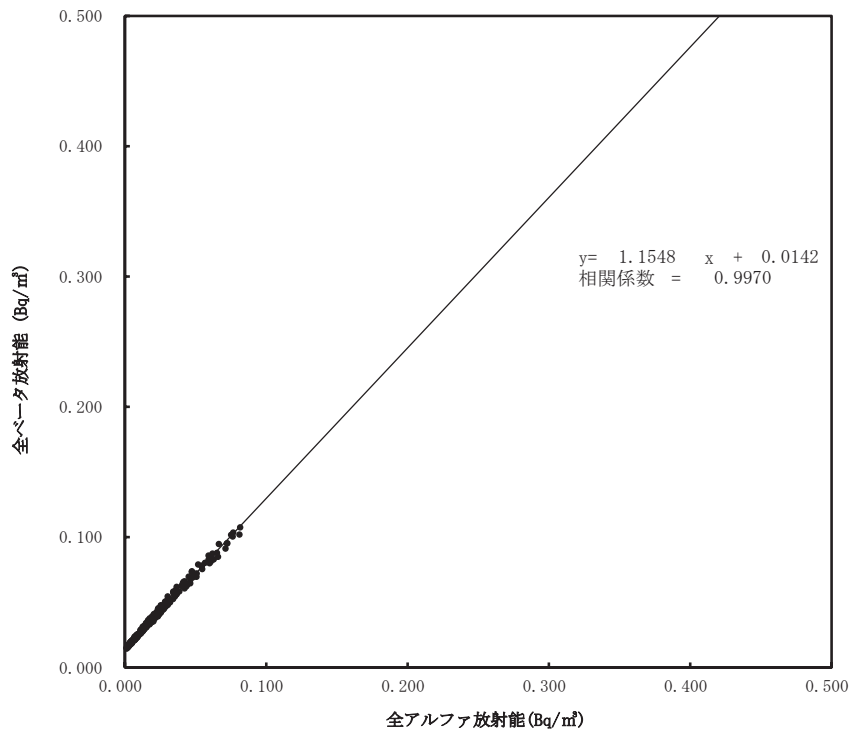
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成27年10月～12月)
(田村市都路馬洗戸)



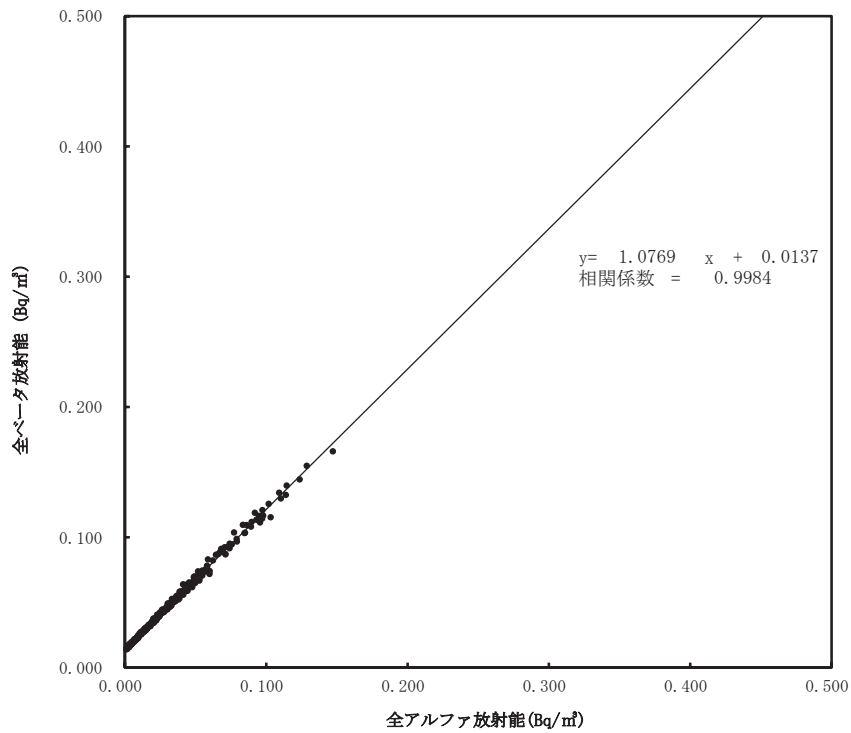
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成27年10月～12月)
(広野町小滝平)



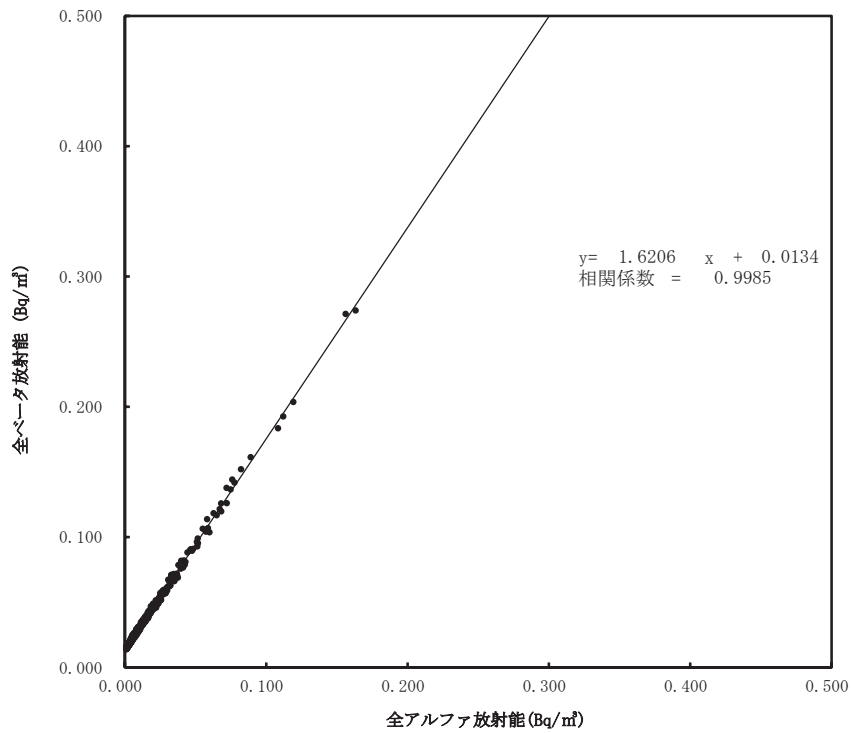
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成27年10月～12月)
(檜葉町木戸ダム)



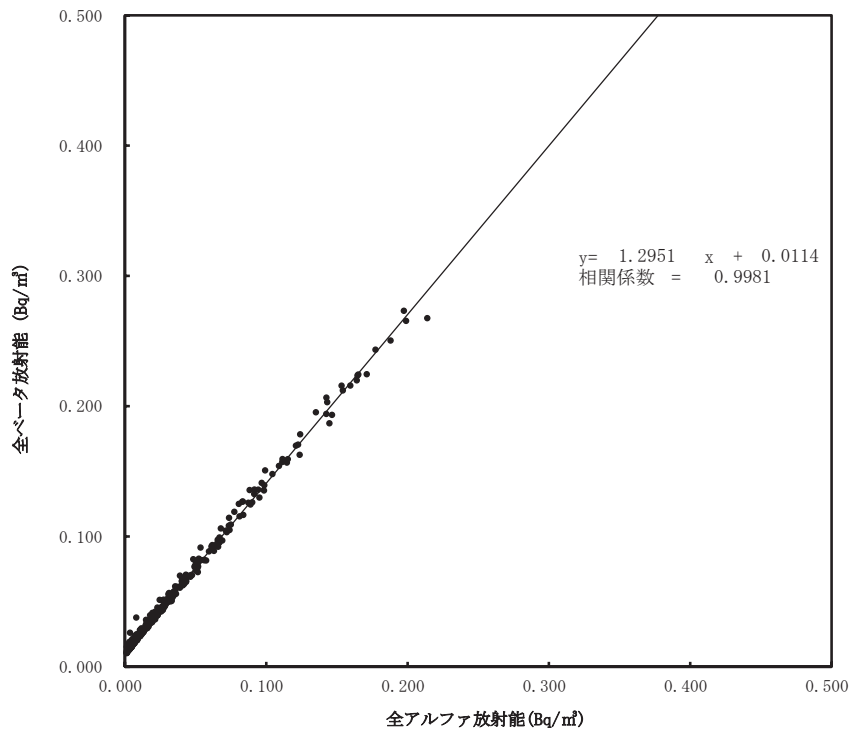
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成27年10月～12月)
(檜葉町繁岡)



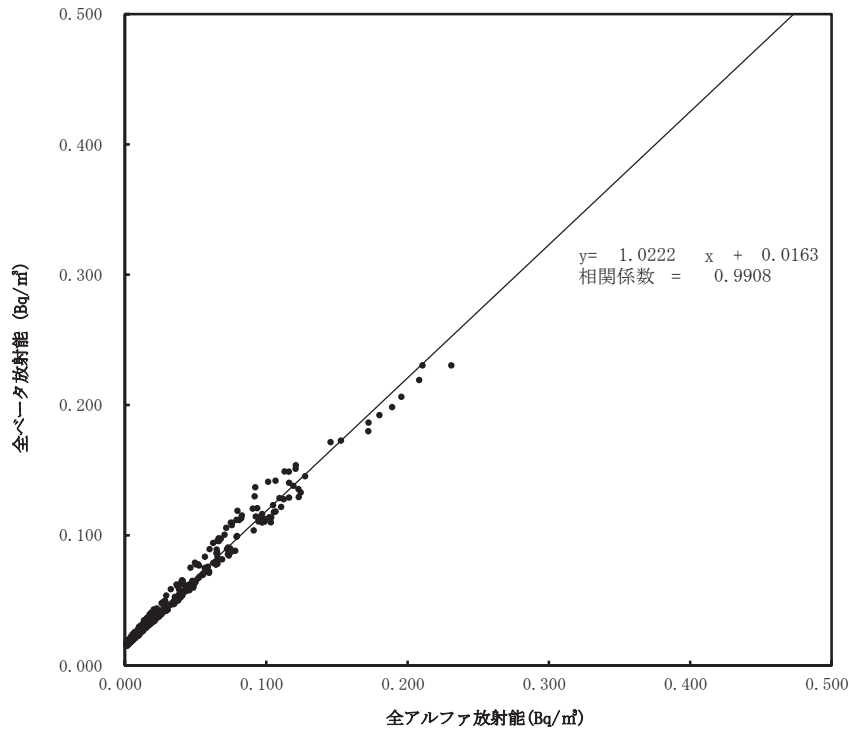
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成27年10月～12月)
(富岡町富岡)



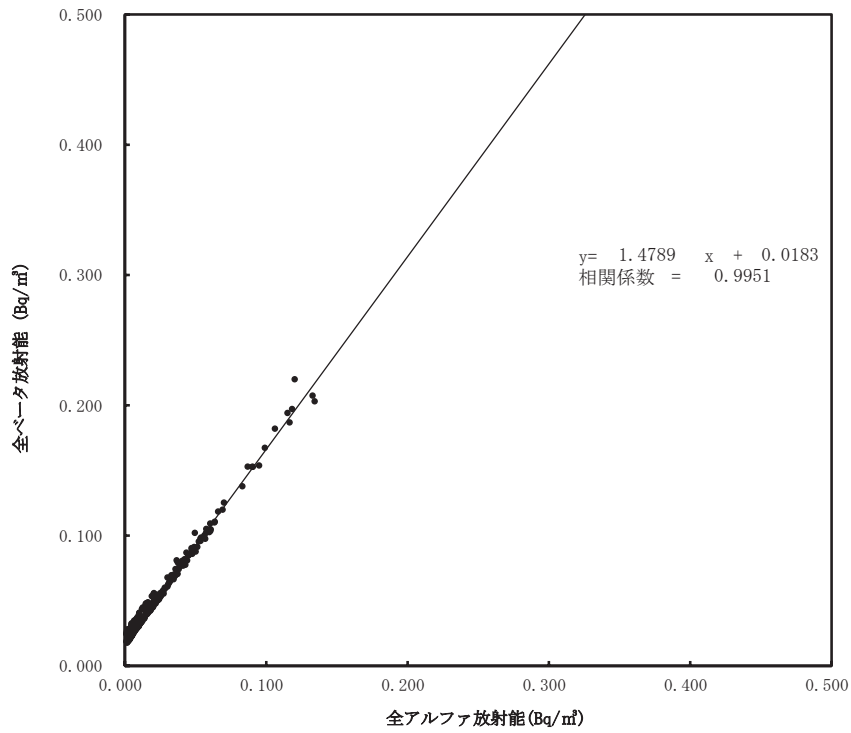
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成27年10月～12月)
(川内村下川内)



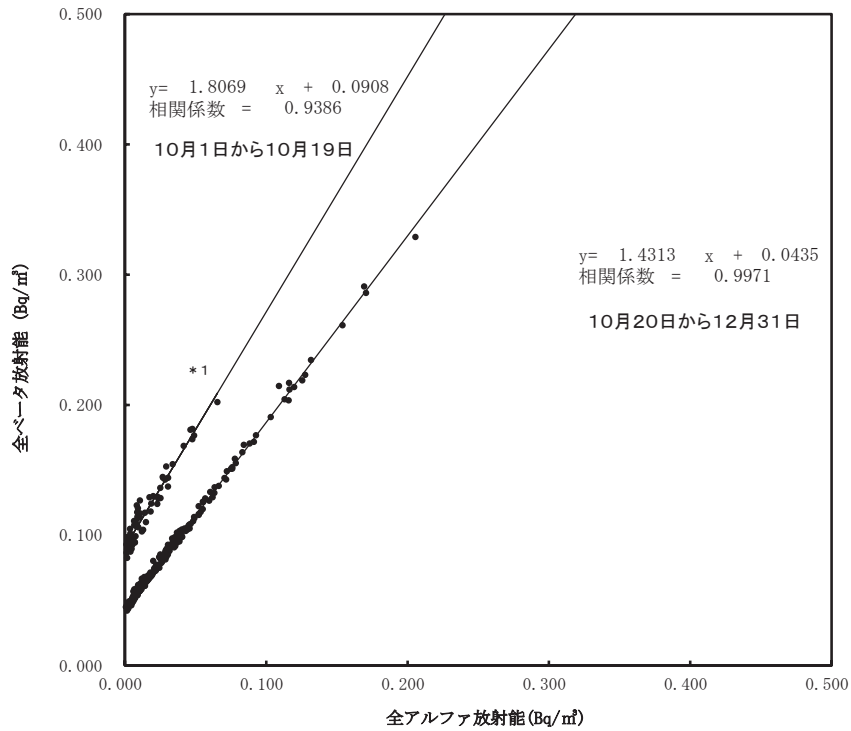
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成27年10月～12月)
(大熊町大野)



大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

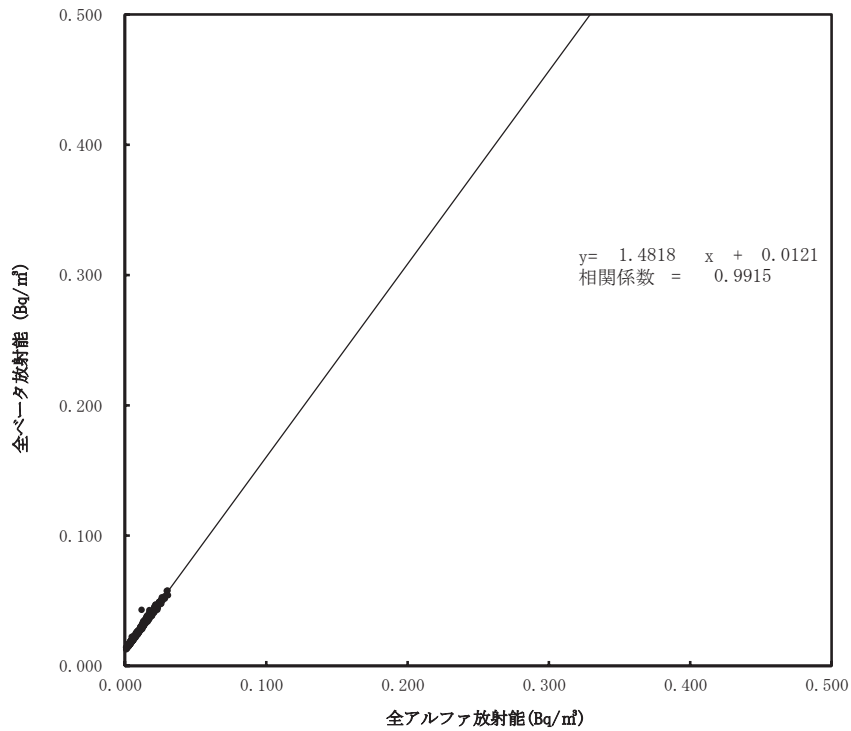
(平成27年10月～12月)
(大熊町夫沢)



*1 ダストモニタ吸引口の掃除により流量が変化し、相関直線が2本になった。

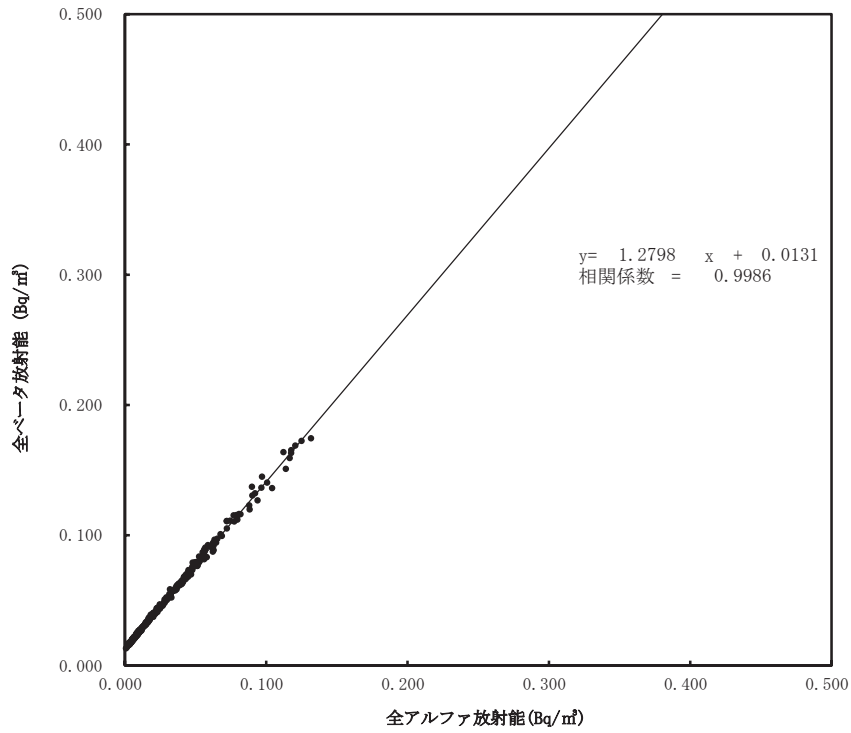
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成27年10月～12月)
(双葉町郡山)



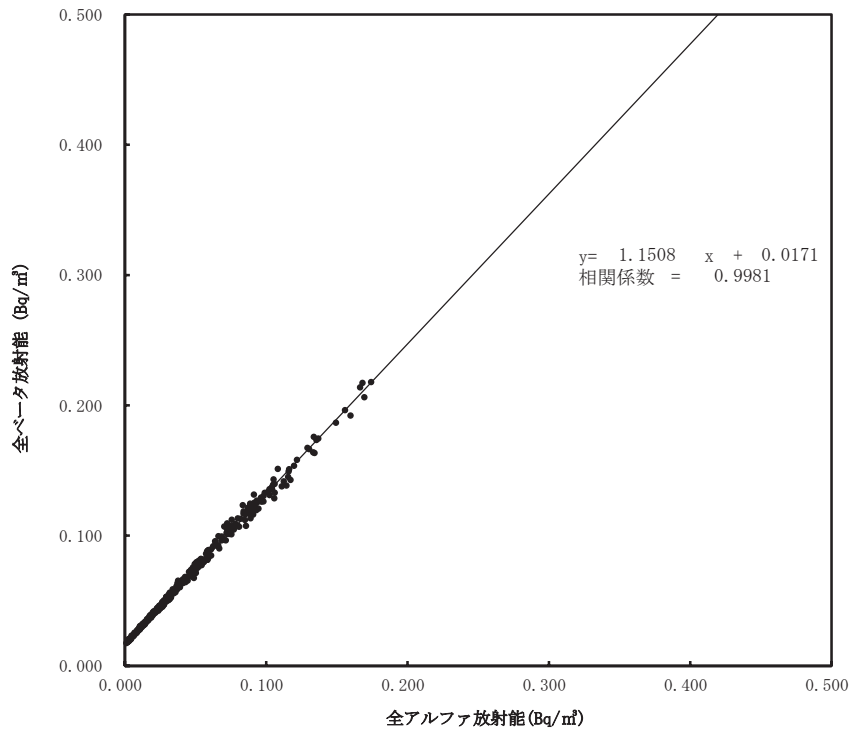
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成27年10月～12月)
(浪江町幾世橋)



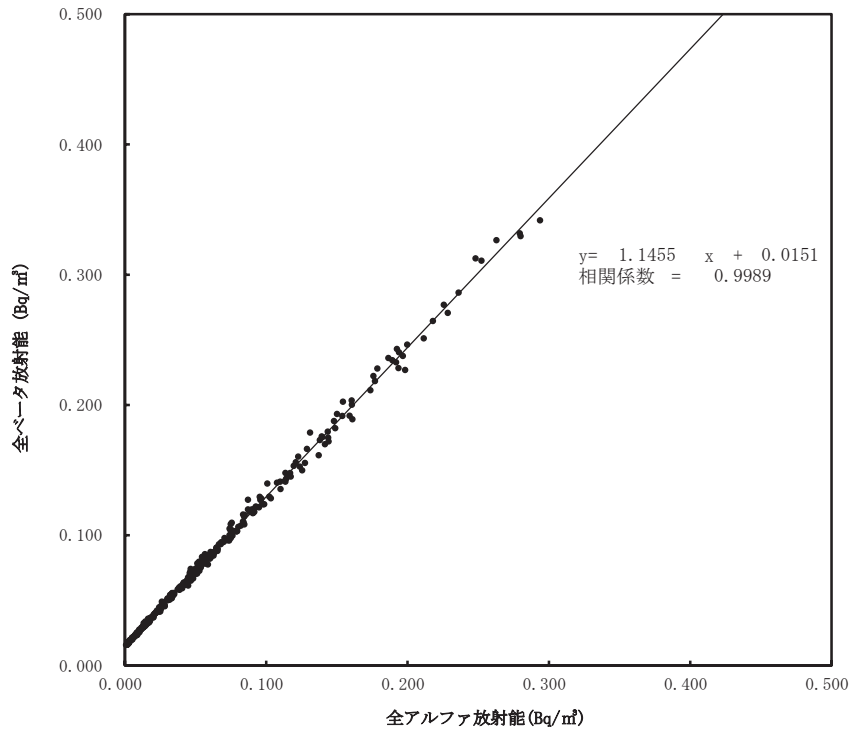
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成27年10月～12月)
(浪江町大柿ダム)



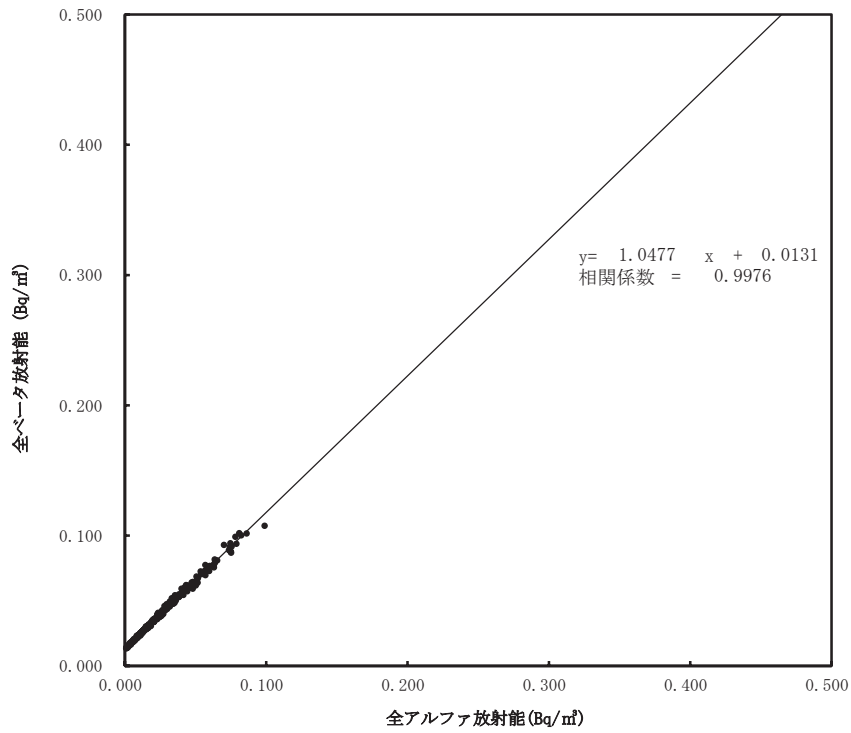
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成27年10月～12月)
(葛尾村夏湯)

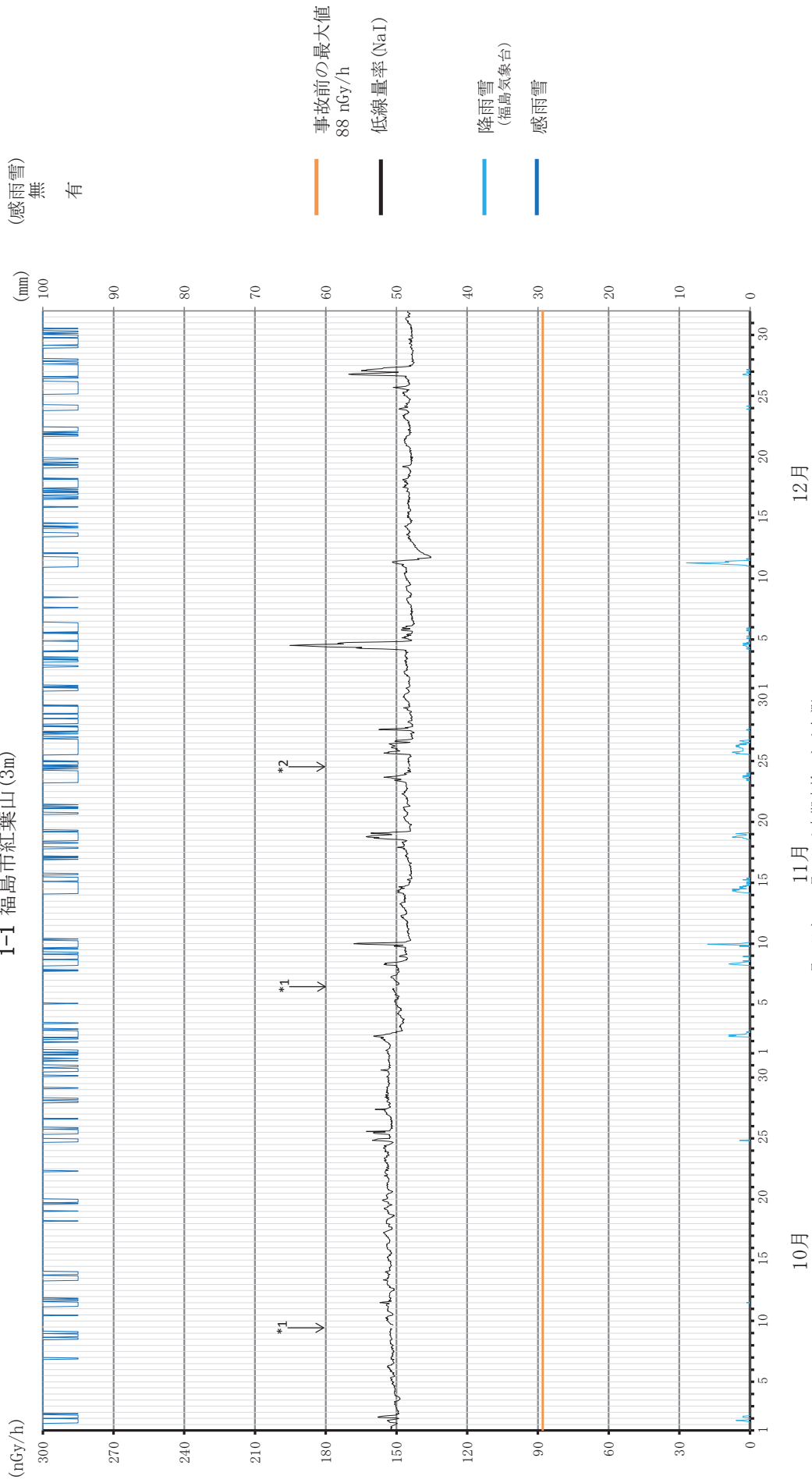


大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成27年10月～12月)
(南相馬市泉沢)

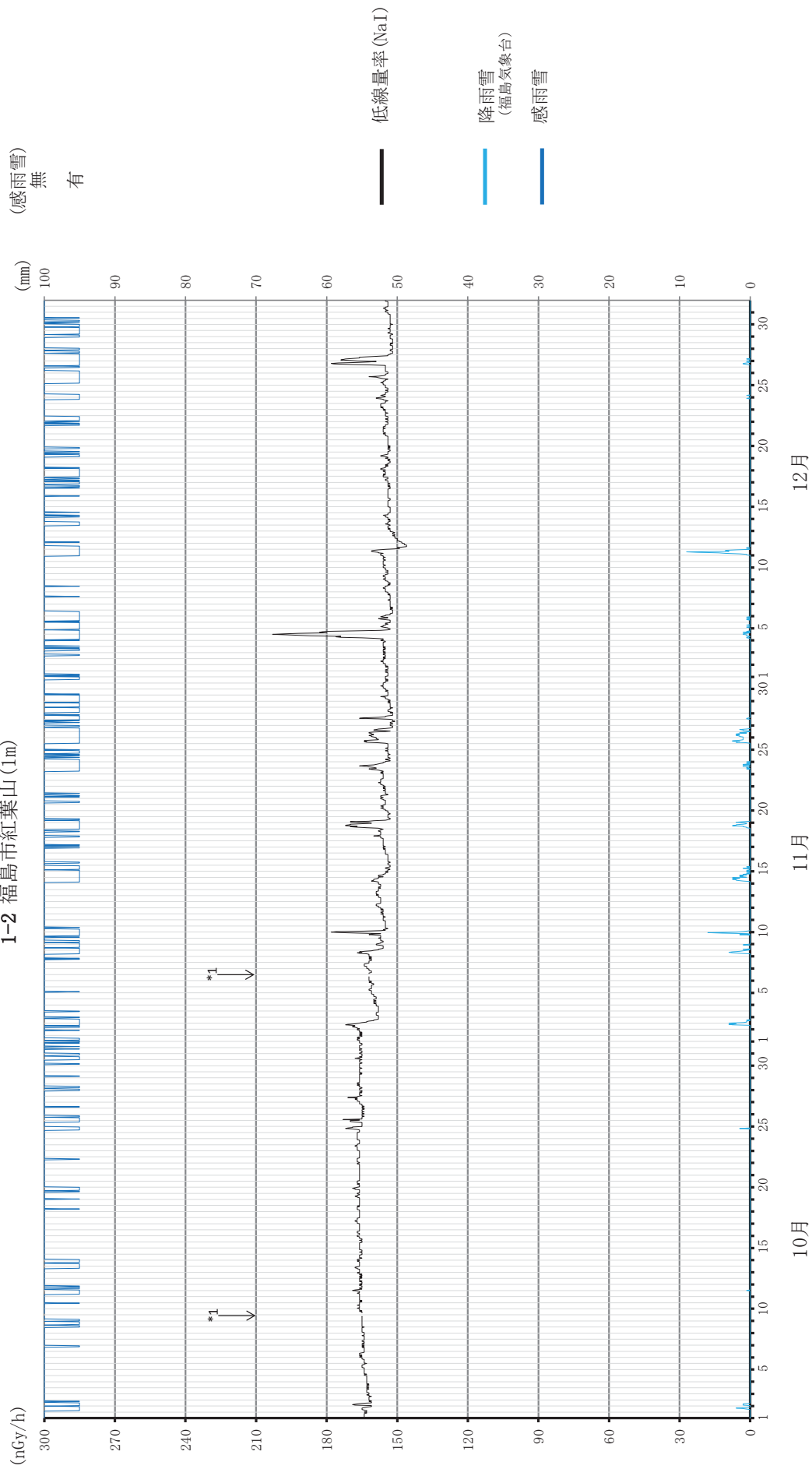


空間線量率の変動グラフ
1-1 福島市紅葉山(3m)



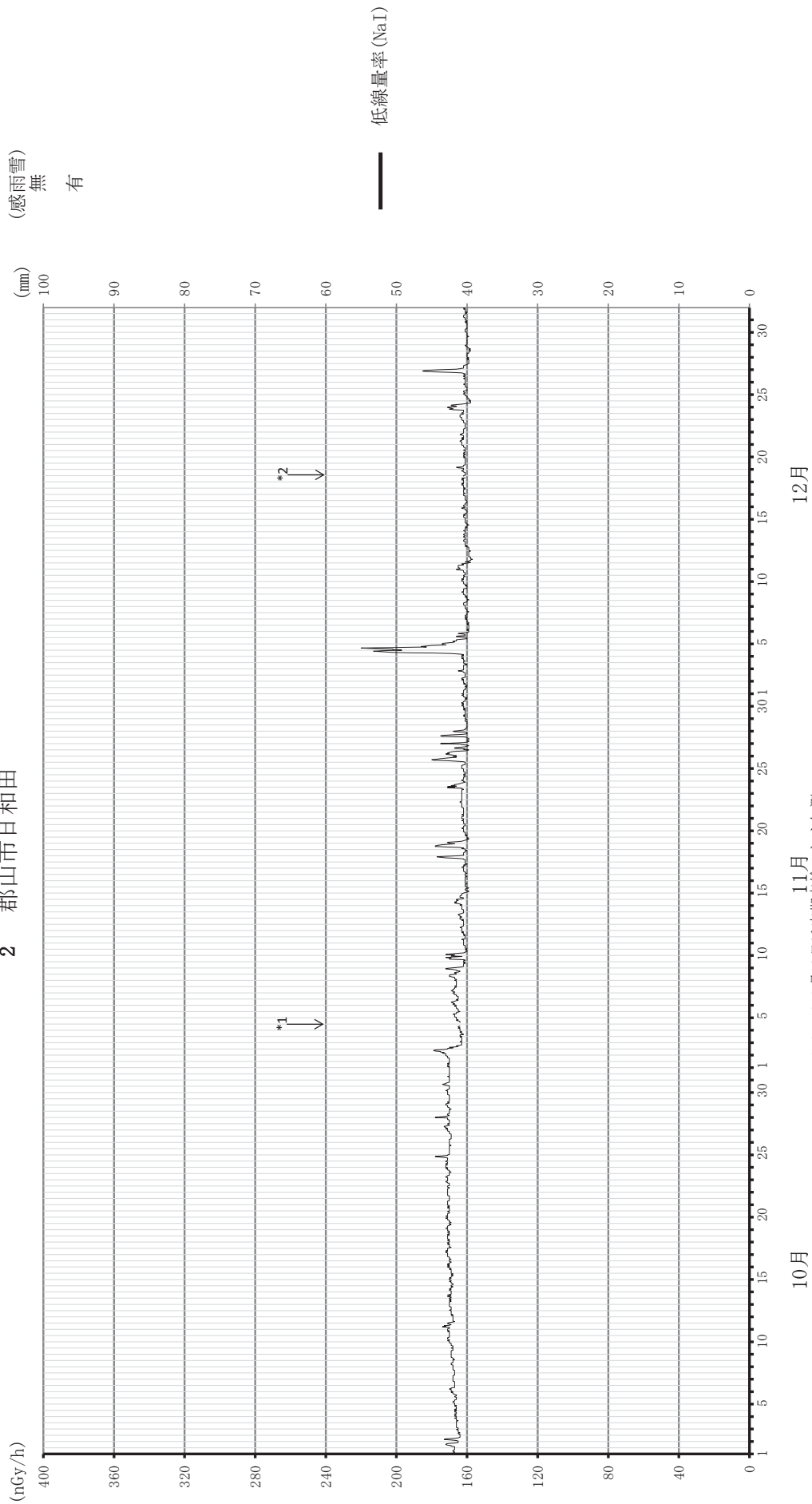
11月
*1 10月9日と11月6日は定期点検のため欠測
*2 11月24日はシステム点検のため欠測

空間線量率の変動グラフ
1-2 福島市紅葉山(1m)



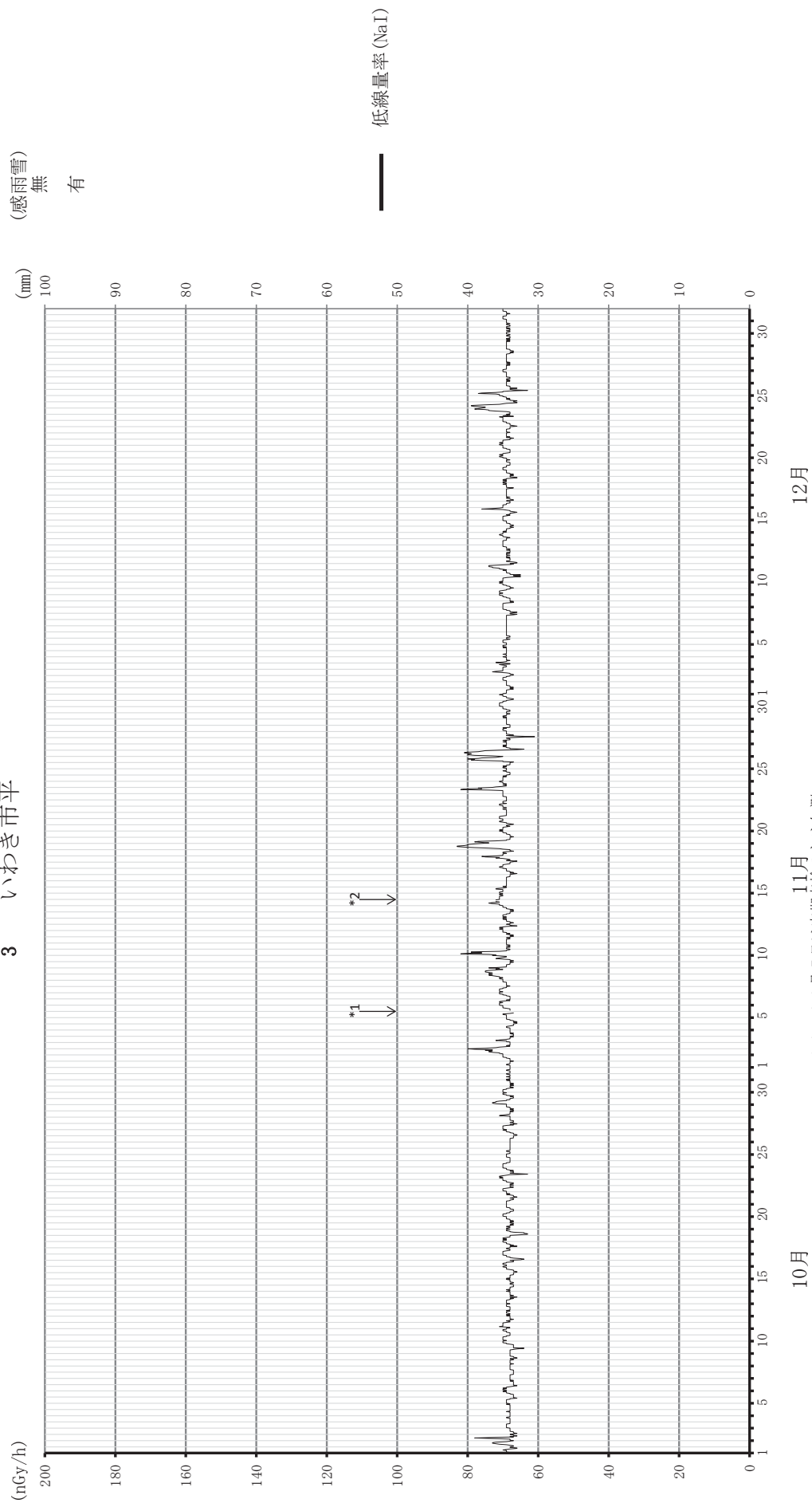
*1 10月9日と11月6日は定期点検のため欠測

空間線量率の変動グラフ
2 郡山市日和田



11月
*1 11月4日は定期点検のため欠測
*2 12月18日は停電のため欠測

空間線量率の変動グラフ
3 いわき市平



11月
*1 11月5日は定期点検のため欠測
*2 11月14日は停電のため欠測

10月

12月